

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査項目	1
4	回収結果	2
5	基本属性	2
6	報告書を見る際の注意	3
II	単純集計結果	5
III	調査結果の分析	19
1	家庭生活などについて	19
1-1	男女の役割に対する考え方	19
1-2	実際の夫婦の役割分担	22
1-3	夫婦の役割分担に対する満足度	24
1-4	男性の家庭参加に必要なこと	27
2	介護や老後について	29
2-1	介護経験の有無	29
2-2	介護の担い手に対する考え方	31
3	子育てや教育について	33
3-1	回答者自身の育てられ方	33
3-2	自分の子どもの育て方	36
3-3	学校教育において力をいれてほしいこと	39
4	就労について	40
4-1	女性が職業をもつこと	40
4-2	女性が仕事を続けるうえでの障害	42
4-3	女性の再就職支援に必要なこと	43
4-4	勤務状況	44
4-5	事業所における女性の状況	46

5	地域活動について	48
5-1	地域活動への参加状況	48
5-2	参加している地域活動	49
5-3	参加していない理由	50
5-4	今後参加したい地域活動	51
6	人権について	53
6-1	女性の人権が尊重されていないと感じるとき	53
6-2	女性に対する暴力をなくすために必要なこと	54
6-3	ドメスティック・バイオレンスだと思う行為	55
7	政治や政策への参加について	58
7-1	政治への関心	58
7-2	町政における女性の意見の反映度	60
7-3	女性の参画促進のために必要なこと	62
8	男女の地位の平等について	63
8-1	各分野における男女の平等	63
9	町政への要望について	66
9-1	男女共同参画を進めるために必要なこと	66
IV	調査結果のまとめ	67
(1)	男女の役割分担と家庭生活について	67
(2)	子育てや教育について	68
(3)	就労について	69
(4)	人権について	69
(5)	地域活動とまちづくりについて	70
V	自由記入欄のまとめ	73

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、21世紀のよりよいまちづくりを進め、女性と男性が共にいきいきと暮らせる社会（男女共同参画社会）を実現するための計画づくりの基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 壬生町全域
- (2) 調査対象 町内在住の満20歳以上の町民 1,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布、回収
- (5) 調査期間 平成17年 8月～9月

3 調査項目

項 目	内 容
基本属性	性別、年齢、結婚の状況、共働きの状況
家庭生活	男女の役割に対する考え方、実際の夫婦の役割分担、夫婦の役割分担に対する満足度、男性の家庭参加に必要なこと
介護や老後	介護経験の有無、介護の担い手に対する考え方
子育てや教育	回答者自身の育てられ方、自分の子どもの育て方、学校教育において力をいれてほしいこと
就労	女性が職業をもつこと、女性が仕事を続けるうえでの障害、女性の再就職支援に必要なこと、勤務状況、勤務先における女性の状況
地域活動	地域活動への参加状況、参加している地域活動、参加していない理由、今後参加したい地域活動
人権	女性の人権が尊重されていないと感じるとき、女性に対する暴力をなくすために必要なこと、ドメスティック・バイオレンスだと思う行為
政治や政策への参加	政治への関心、町政における女性の意見の反映度、女性の参画促進のために必要なこと
男女の地位の平等	各分野における男女の平等
町政への要望	男女共同参画を進めるために必要なこと

4 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000	520	52.0%

5 基本属性

【 性 別 】

区 分	実 数（人）	構成比（％）
女 性	295	56.7
男 性	223	42.9
無回答	2	0.4
合 計	520	100.0

【 年 齢 】

区 分	実 数（人）	構成比（％）
20 歳 代	51	9.8
30 歳 代	86	16.5
40 歳 代	97	18.7
50 歳 代	124	23.8
60 歳 代	117	22.5
70歳以上	43	8.3
無回答	2	0.4
合 計	520	100.0

【 結婚の状況 】

区 分	実 数（人）	構成比（％）
未婚	86	16.5
既婚（夫婦同居）	396	76.2
既婚（夫婦別居・離婚・死別）	34	6.5
無回答	4	0.8
合 計	520	100.0

【 共働きの状況 】

区 分	実 数（人）	構成比（％）
夫婦とも働いている	203	39.0
夫だけ、または妻だけ働いている	135	26.0
夫婦とも働いていない	65	12.5
未婚、または配偶者はいない	72	13.8
無回答	45	8.7
合 計	520	100.0

注：端数処理のため、合計が一致しない場合があります。

6 報告書をみる際の注意

(1) 回答率について

回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率（パーセント）で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が1つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%ちょうどにならないものもあります。

また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

(2) 表記について

表、グラフ中では、回答率（%）とともに、その設問に回答すべき数（回答者総数）も表示しています。ただし、スペースの都合により省略している場合もあります。

また、表、グラフ、本文中において、回答選択肢の表記は、スペースの都合により簡略化している場合があります。

(3) 県の調査結果との比較について

本報告書では、一部の調査結果について、平成16年に栃木県で実施した「男女共同参画社会に関する意識調査」の調査結果との比較をしています。

調査の概要については、以下のとおりです。

男女共同参画社会に関する意識調査（栃木県）

- (1) 調査地域 栃木県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人 1,200人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳等に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法 個別面談聴取法
- (5) 調査期間 平成16年10月
- (6) 回収数 812（回収率 67.7%）

(裏白)

Ⅱ 単純集計結果

単位：％

はじめに、家庭生活などについておうかがいします。

問１ 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。〔１つに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
１．男は仕事をもち、女は家庭のことをするのがよい	16.3	13.6	19.7
２．男女ともに仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい	7.5	6.4	9.0
３．男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい	47.5	52.5	41.3
４．男女の役割は固定せずに、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい	24.6	23.1	26.5
５．その他	1.9	1.4	2.7
６．わからない	0.8	1.0	0.4
無回答	1.3	2.0	0.4

【問２と問３は、配偶者のいらっしゃる方におうかがいします。それ以外の方は、問４へお進みください。】

問２ あなたの家庭において、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。最も近いものを選んでください。〔１つに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝396、女性＝228、男性＝168

	全体	女性	男性
１．夫は仕事をもち、妻は家庭のことをしている	27.8	28.1	27.4
２．夫婦ともに仕事をもち、家庭のことは妻が責任をもっている	26.8	33.3	17.9
３．夫婦ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担している	25.5	20.6	32.1
４．夫と妻の役割は固定せずに、どちらかが仕事をしたり家庭にいるようにしている	9.8	6.6	14.3
５．その他	6.1	5.7	6.5
無回答	4.0	5.7	1.8

問3 問2のようなご夫婦の役割分担について満足されていますか。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝396、女性＝228、男性＝168

	全体	女性	男性
1. 満足	25.8	17.5	36.9
2. どちらかという満足	43.9	43.4	44.6
3. どちらかという不満	15.7	22.8	6.0
4. 不満	3.0	4.8	0.6
5. わからない	6.6	5.7	7.7
無回答	5.1	5.7	4.2

問4 男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 夫婦の間で家事などの分担について、十分話し合い、協力しあうこと	58.5	63.1	52.5
2. 男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	32.1	34.2	28.7
3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること	24.0	20.7	28.7
4. 家事、子育てや介護に必要な知識を学べる機会を充実すること	16.2	15.3	17.5
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	20.8	23.1	17.9
6. 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	7.7	5.8	10.3
7. その他	2.1	2.0	1.8
8. 男性の参加は必要ない	0.2	0.3	0.0
9. わからない	2.5	2.7	2.2
無回答	2.9	3.1	2.7

介護や老後のことなどについておうかがいします。

問5 あなたは、ご家族を介護したことがありますか（現在していますか）。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 自分が中心となって介護したことがある（している）	15.2	21.7	6.7
2. 自分が補助的に介護したことがある（している）	23.1	19.0	28.7
3. 介護したことはない	61.0	58.3	64.1
無回答	0.8	1.0	0.4

問6 病人や高齢者などの介護は、女性（母、妻、息子の妻、娘など）が主な担い手となっているケースが多いのが現状です。あなたはこれについてどう思いますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 当然だと思う	3.7	4.7	2.2
2. 問題はあるが、現実的にはやむを得ないと思う	51.5	46.1	58.3
3. 男性も担うべきだと思う	40.8	45.1	35.4
4. わからない	3.5	3.1	4.0
無回答	0.6	1.0	0.0

子育てや教育などについておうかがいします。

問7 子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなた自身はどう育てられましたか。最も近いものを選んでください。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	17.1	12.9	22.4
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	41.3	41.4	41.3
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに	27.9	33.2	21.1
4. 全く性別にとらわれずに	8.7	8.1	9.4
5. わからない	1.9	1.4	2.7
無回答	3.1	3.1	3.1

問8 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。（子どもがいない場合には、いると仮定してお考えください。）[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	20.2	13.6	28.7
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	34.6	33.9	35.9
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに	32.3	37.6	25.1
4. 全く性別にとらわれずに	9.0	10.2	7.6
5. わからない	1.2	1.4	0.9
無回答	2.7	3.4	1.8

問9 男女が対等な関係で、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[2 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1 . 技術・家庭科などを通じて、男女ともに、暮らしに必要な知識や実技を学ぶこと	45.2	49.2	39.5
2 . 性教育などを通じて、心と体を大切にする男女の性のあり方について学ぶこと	16.7	21.0	10.8
3 . 働くことの意味や働き方などについて学ぶ職業教育をすること	43.5	42.0	45.7
4 . クラブ活動などを通じて、男女ともに豊かな人間関係を育てる教育をすること	36.2	34.9	37.7
5 . 歴史や文学などを通じて男女の関係のあり方を学ぶこと	4.6	2.4	7.6
6 . 男女の性別役割分担を是正するために教科書等を見直すこと	5.2	6.1	4.0
7 . クラス委員や係活動など日常の学校生活を通じて男女平等意識を身につけること	16.3	15.9	17.0
8 . その他	3.7	2.0	5.8
9 . 特にない	1.5	1.4	1.8
無回答	1.7	1.7	1.8

就労についておうかがいします。

問10 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1 . 結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける方がよい	21.7	25.1	17.5
2 . 結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムに切り替えるなど、負担を軽くする方がよい	23.1	21.7	25.1
3 . 子どもが生まれたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい	34.4	35.6	33.2
4 . 子どもが生まれたら仕事をやめた方がよい	2.1	1.7	2.7
5 . 結婚したら仕事をやめた方がよい	1.9	1.7	2.2
6 . 女性は仕事を持つことにこだわらなくてよい	11.3	10.2	12.1
7 . 女性は仕事を持たない方がよい	0.2	0.3	0.0
8 . わからない	3.1	2.0	4.5
無回答	2.1	1.7	2.7

問11 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思いますか。〔2つ以内で○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 家事や育児、介護との両立がむずかしいこと	65.6	67.1	63.7
2. 家族の理解や協力が得られないこと	16.5	19.3	13.0
3. 育児や介護について、職場の理解や協力が得られないこと	26.0	24.1	27.8
4. 職場に、結婚・出産時は退職するという慣習があること	7.1	7.1	7.2
5. 育児・介護休暇などが取りにくいこと	22.3	24.7	19.3
6. 昇給、昇格に男女格差があること	8.7	10.5	6.3
7. 補助的な仕事しか与えられないなど仕事内容に魅力がないこと	3.3	1.7	5.4
8. 長く勤めていると、同僚や上司から圧力がかかること	3.3	4.1	2.2
9. 女性自身の就業に対する自覚が不足していること	8.3	6.1	11.2
10. その他	1.7	1.4	2.2
11. 障害となっていることはない	0.4	0.7	0.0
12. わからない	2.5	2.0	3.1
無回答	2.1	1.7	2.7

問12 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。〔2つ以内で○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 出産・育児・介護などで退職しても同一企業に復帰できるようにする	41.9	40.3	44.4
2. 就職に関する相談体制を充実する	11.9	11.2	13.0
3. 求人情報を入手しやすくする	7.5	8.8	5.8
4. 多様な職種や年齢制限の緩和など働く場を多くする	38.8	40.0	37.7
5. パート・アルバイト等の労働条件を向上させる	26.9	25.8	28.7
6. 技術や技能・ビジネスマナーの学習の機会を多くする	3.7	2.7	4.9
7. 保育時間の拡大や0歳児からの受け入れなど保育サービスを充実する	30.2	31.9	27.4
8. 介護・看護の支援体制を充実する	13.5	15.9	9.9
9. その他	1.0	0.3	1.8
10. 特にない	0.6	0.7	0.4
11. わからない	1.5	0.7	2.7
無回答	2.1	2.7	1.3

問13 あなたは現在、会社や団体等に勤務していますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．勤務している	47.7	44.1	52.0
2．勤務していない 問14へお進みください	44.8	48.1	40.8
無回答	7.5	7.8	7.2

問13 - 1 【問13で1を選んだ方におうかがいします。】

あなたが勤務している事業所で次のようなことはありますか。[各項目ごとに1つずつ○]

回答者総数（人）→ 全体＝248、女性＝130、男性＝116

項 目		あ る	な い	わから ない	無回答
ア) 女性は募集・採用で不利なことがある	全体	22.2	58.5	17.7	1.6
	女性	20.8	60.0	16.9	2.3
	男性	23.3	56.9	19.0	0.9
イ) 女性は配置されない部署がある	全体	31.9	51.2	14.1	2.8
	女性	24.6	54.6	16.9	3.8
	男性	39.7	47.4	11.2	1.7
ウ) 女性は昇進・昇格が遅い(望めない)	全体	37.5	37.5	23.0	2.0
	女性	43.8	31.5	22.3	2.3
	男性	30.2	44.0	24.1	1.7
エ) 女性は同期や同年齢の男性より賃金が低い	全体	34.3	37.9	25.4	2.4
	女性	39.2	33.1	24.6	3.1
	男性	27.6	44.0	26.7	1.7
オ) 女性は研修・出張の機会が少ない	全体	32.7	44.4	20.6	2.4
	女性	32.3	43.8	21.5	2.3
	男性	31.9	45.7	19.8	2.6
カ) 女性はお茶くみなどの雑用が多い	全体	35.5	50.8	12.1	1.6
	女性	41.5	45.4	11.5	1.5
	男性	28.4	56.9	12.9	1.7

地域活動についておうかがいします。

問14 あなたは、地域活動に参加していますか。(または、参加したことがありますか。)[1 つに○]

回答者総数(人) → 全体=520、女性=295、男性=223

	全体	女性	男性
1. 参加している(したことがある)	57.7	54.9	61.0
2. 参加していない	39.2	42.0	35.9
無回答	3.1	3.1	3.1

問14 - 1 【問14で1を選んだ方におうかがいします。】

どのような地域活動に参加していますか(参加していましたか)。

[あてはまるものすべてに○]

回答者総数(人) → 全体=300、女性=162、男性=132

	全体	女性	男性
1. 自治会(町内会)などの地域団体の活動	75.0	69.1	82.4
2. 障害者や高齢者などへのボランティア活動	11.7	13.0	9.6
3. まちづくりなどに関する活動	8.0	4.3	12.5
4. P T A役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	41.0	46.9	33.8
5. 子育てサークルなど子どもを通じた活動	5.7	9.9	0.7
6. リサイクルなどの環境保全のための活動	16.3	19.1	13.2
7. 消費生活に関する活動	2.0	1.9	2.2
8. 防犯や防災に関する活動	10.3	4.9	16.9
9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動	24.3	25.3	23.5
10. スポーツ活動	19.3	14.2	25.7
11. 地域での外国人との交流・ボランティア活動	1.3	0.6	2.2
12. その他	1.0	1.9	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0

▶ 問14 - 2 【問14で2を選んだ方におうかがいします。】

あなたが地域活動に参加しないのはどのような理由からですか。[2つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝204、女性＝124、男性＝ 80

	全体	女性	男性
1. 家事・育児が忙しい	7.4	10.5	2.5
2. 介護や看護で忙しい	2.0	3.2	0.0
3. 仕事が忙しい	30.9	28.2	35.0
4. 家族が反対する	0.5	0.8	0.0
5. 人間関係がわずらわしい	12.7	12.9	12.5
6. 身体が丈夫でない	6.9	10.5	1.3
7. 身近に機会がない	33.3	31.5	36.3
8. 自分に適した活動が見つからない	11.8	13.7	8.8
9. どのように参加してよいのかわからない	25.5	25.0	26.3
10. あまり関心がない	15.7	12.9	20.0
11. その他	3.9	4.0	3.8
無回答	4.4	2.4	7.5

問15 あなたは、今後新たに、どのような地域活動に参加したいと思いますか。

[あてはまるものすべてに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 自治会（町内会）などの地域団体の活動	27.1	22.0	34.1
2. 障害者や高齢者などへのボランティア活動	15.8	17.3	13.9
3. まちづくりなどに関する活動	15.6	9.8	23.3
4. P T A役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	4.2	4.1	4.5
5. 子育てサークルなど子どもを通じた活動	7.7	10.8	3.6
6. リサイクルなどの環境保全のための活動	17.7	17.3	17.9
7. 消費生活に関する活動	5.2	6.4	3.1
8. 防犯や防災に関する活動	13.7	7.8	21.1
9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動	39.4	42.4	35.4
10. スポーツ活動	18.3	12.5	26.0
11. 地域での外国人との交流・ボランティア活動	10.4	9.2	12.1
12. その他	1.5	1.4	1.8
13. 参加したいとは思わない	13.8	16.3	10.8
無回答	6.0	5.8	5.8

人権についておうかがいします。

問16 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。

〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 売春・買春・援助交際	34.4	34.2	35.0
2. 夫が妻に暴力をふるうこと（酒に酔って殴る、精神的な苦痛を与えるなど）	45.4	46.4	43.9
3. つきまといなどの女性に対するストーカー行為	26.9	24.4	30.0
4. 女性ということでお茶入れを強要すること	32.1	29.2	35.4
5. 宴会等で女性にお酌やデュエットを強要すること	26.2	25.1	27.4
6. 女性ということで見解が無視されること	34.4	34.2	34.5
7. 女性ということで見進・昇格がさまたげられること	38.8	37.6	40.4
無回答	11.3	9.2	14.3

問17 近年、性犯罪、買売春（援助交際を含む）、家庭内暴力、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）ちかん行為等、女性に対する暴力への関心が高まっています。女性に対する暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる	35.4	34.9	36.3
2. テレビや新聞・雑誌などのメディアが情報の内容に配慮する	42.1	44.1	39.9
3. 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限する	53.3	55.9	50.2
4. 法律・制度・条例の制定や見直しを行う	46.2	46.4	45.3
5. 犯罪の取り締まりを強化する	55.4	53.9	57.4
6. 捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害女性が届けやすいようにする	36.2	37.6	33.6
7. 被害女性を支援し、暴力に反対する住民運動を盛り上げる	18.7	13.2	26.0
8. 被害女性のための相談所や保護施設を整備する	46.9	51.2	41.3
9. その他	2.1	2.0	2.2
10. 特に対策の必要はない	0.6	0.3	0.9
11. わからない	2.3	2.7	1.8
無回答	2.9	3.1	2.7

問18 最近、夫婦や恋人間における暴力に対する関心が高まっています。あなたは、次のようなことが夫婦（パートナー、恋人も含みます）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。

〔各項目ごとに1つずつ○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

項 目		暴力にあたると思う どんな場合でも	暴力の場合と そうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	わからない	無回答
ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る	全体	88.3	5.0	0.2	1.0	5.6
	女性	87.8	4.4	0.0	1.4	6.4
	男性	88.8	5.8	0.4	0.4	4.5
イ) 刃物などを突きつけて、おどす	全体	89.8	3.5	0.4	0.8	5.6
	女性	89.2	3.1	0.3	1.4	6.1
	男性	90.6	4.0	0.4	0.0	4.9
ウ) 平手で打つ	全体	56.9	33.5	2.5	1.0	6.2
	女性	55.3	34.2	2.4	1.4	6.8
	男性	59.2	32.3	2.7	0.4	5.4
エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という	全体	46.3	35.0	8.8	4.0	5.8
	女性	53.9	27.8	7.8	4.4	6.1
	男性	35.9	44.8	10.3	3.6	5.4
オ) 何を言っても長時間無視し続ける	全体	32.3	39.6	16.7	5.2	6.2
	女性	33.2	36.3	16.9	6.4	7.1
	男性	30.5	44.4	16.6	3.6	4.9
カ) 大声でどなる	全体	29.2	48.3	12.9	4.0	5.6
	女性	32.2	45.1	11.2	4.7	6.8
	男性	25.6	52.0	15.2	3.1	4.0

政治や政策への参加についておうかがいします。

問19 あなたは、政治についてどの程度関心を持っていますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．非常に関心がある	20.6	12.9	30.9
2．やや関心がある	49.0	51.2	46.2
3．あまり関心がない	25.0	30.8	17.0
4．全く関心がない	3.3	2.4	4.5
無回答	2.1	2.7	1.3

**問20 あなたは、町の政策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
[1つに○]**

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．十分反映されている	1.5	1.0	2.2
2．ある程度反映されている	23.5	18.6	30.0
3．あまり反映されていない	24.2	25.8	22.0
4．ほとんど反映されていない	11.9	15.3	7.6
5．わからない	37.1	38.0	35.9
無回答	1.7	1.4	2.2

問21 議員や審議会委員など、政策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．男性優位の組織運営を改善すること	34.2	36.3	31.8
2．政策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと	31.7	35.6	26.9
3．女性自身が積極的な参画意識をもつこと	40.4	34.9	47.5
4．女性の能力開発の機会を充実させること	14.2	13.6	15.2
5．女性の参画を積極的に進めようとしている人が増えること	16.2	17.6	13.5
6．政策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること	16.7	14.2	19.7
7．家族からの支援や協力があること	13.3	12.5	14.3
8．その他	1.2	1.0	1.3
9．わからない	5.2	6.1	4.0
無回答	2.7	3.1	2.2

男女の地位の平等感についておうかがいします。

問22 次のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。

〔各項目ごとに1つつ〇〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

項 目		男性の方が優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
ア) 家庭生活で	全体	13.1	44.6	26.5	5.8	1.2	4.2	4.6
	女性	16.3	45.1	23.1	5.1	0.7	5.4	4.4
	男性	9.0	43.9	30.9	6.7	1.8	2.7	4.9
イ) 学校教育の場で	全体	2.5	12.5	56.2	6.2	1.2	14.4	7.1
	女性	3.1	14.9	51.2	4.7	1.0	17.3	7.8
	男性	1.8	9.0	62.8	8.1	1.3	10.8	6.3
ウ) 職場で	全体	18.5	45.6	19.0	2.5	1.0	6.9	6.5
	女性	22.4	45.1	14.2	2.0	0.7	9.2	6.4
	男性	13.5	45.7	25.6	3.1	1.3	4.0	6.7
エ) 自治会等の地域社会で	全体	13.5	37.1	27.7	3.1	1.3	11.7	5.6
	女性	16.3	40.3	21.0	2.0	0.7	13.2	6.4
	男性	9.9	32.3	36.8	4.5	2.2	9.9	4.5
オ) 社会通念・慣習・しきたりなどで	全体	25.4	48.5	11.3	1.3	0.6	6.9	6.0
	女性	30.2	47.1	7.8	0.7	0.3	7.1	6.8
	男性	18.8	50.2	16.1	2.2	0.9	6.7	4.9
カ) 政治の場で	全体	29.0	42.7	15.6	1.0	0.2	5.6	6.0
	女性	35.6	41.0	8.1	1.0	0.0	7.8	6.4
	男性	20.2	44.8	25.6	0.9	0.4	2.7	5.4
キ) 法律や制度の上で	全体	14.0	34.2	30.8	2.3	0.8	11.2	6.7
	女性	19.3	36.9	19.3	2.0	0.3	15.3	6.8
	男性	7.2	30.5	45.7	2.7	1.3	5.8	6.7
ク) 社会全体の中で	全体	17.9	50.8	15.0	2.9	1.0	7.5	5.0
	女性	22.0	50.5	10.5	2.4	0.3	8.8	5.4
	男性	12.6	51.1	21.1	3.6	1.8	5.4	4.5

町政への要望についておうかがいします。

問23 男女共同参画を進めるために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[3 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 男女平等を進めるための町職員の意識を向上させる	33.7	32.5	35.4
2. 学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる	30.4	27.5	34.5
3. 自己啓発のための学習の機会を増やす	19.2	14.6	25.6
4. 就労機会・労働条件における男女平等を進める	34.0	32.5	36.3
5. 再就職準備講座の開催など、女性の就職・再就職を支援する	32.5	38.3	25.1
6. 検診体制や相談など、女性の健康管理システムを充実させる	11.2	13.9	7.2
7. 産休あけ保育の実施等、育児・保育面の福祉サービスを充実させる	46.9	50.2	42.2
8. 審議会など行政政策、方針決定の場に女性の参画・登用を増やす	30.0	25.8	35.9
9. その他	1.2	1.0	1.3
無回答	4.8	5.8	3.6

最後にあなたご自身のことについておうかがいします。

恐縮ですが、回答を整理するのに必要となりますのでご協力ください。

（１）あなたの性別

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 女	56.7	100.0	0.0
2. 男	42.9	0.0	100.0
無回答	0.4	0.0	0.0

（２）あなたの年齢

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 20歳代	9.8	10.5	9.0
2. 30歳代	16.5	18.3	14.3
3. 40歳代	18.7	21.0	15.7
4. 50歳代	23.8	25.8	21.5
5. 60歳代	22.5	16.9	30.0
6. 70歳以上	8.3	7.5	9.4
無回答	0.4	0.0	0.0

(3) 結婚の状況

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 未婚	16.5	14.6	19.3
2. 既婚（夫婦同居）	76.2	77.3	75.3
3. 既婚（夫婦別居・離別・死別）	6.5	7.8	4.9
無回答	0.8	0.3	0.4

(4) 共働きの状況

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 夫婦とも働いている	39.0	40.0	38.1
2. 夫だけ、または妻だけ働いている	26.0	28.8	22.4
3. 夫婦とも働いていない	12.5	10.2	15.7
4. 未婚、または配偶者はいない	13.8	12.2	16.1
無回答	8.7	8.8	7.6

質問については以上です。その他、男女共同参画について、ご意見、ご要望、まちづくりのアイデアなどがありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えくださり、ありがとうございました。
ご記入くださった調査票は、同封の返信用封筒に入れて、9月2日（金）までにご投函ください。

Ⅲ 調査結果の分析

1 家庭生活などについて

1-1 男女の役割に対する考え方（問1）

“男女ともに、仕事、家庭”がよいとする人が約半数。

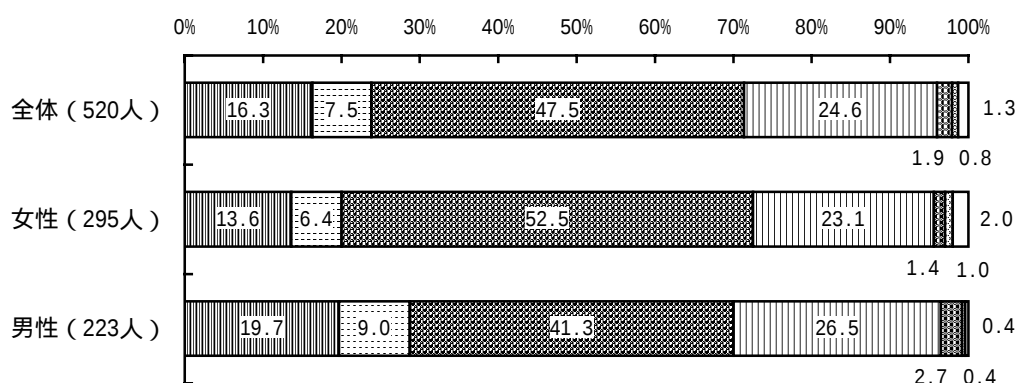
例えば『男は仕事、女は家庭』という考え方など、男女の役割についてどう思うかをたずねました。その結果、「男は仕事、女は家庭がよい」という回答は16.3%にとどまり、「男女ともに、仕事、家庭がよい」が47.5%で多く、約半数を占めています。

これを性別にみると、女性では「男女ともに、仕事、家庭がよい」が52.5%と過半数を占めています。一方、男性では「男女ともに、仕事、家庭がよい」は41.3%となっており、女性の割合と比較すると約11ポイント少なくなっています。

■ 男女の役割に対する考え方

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○]

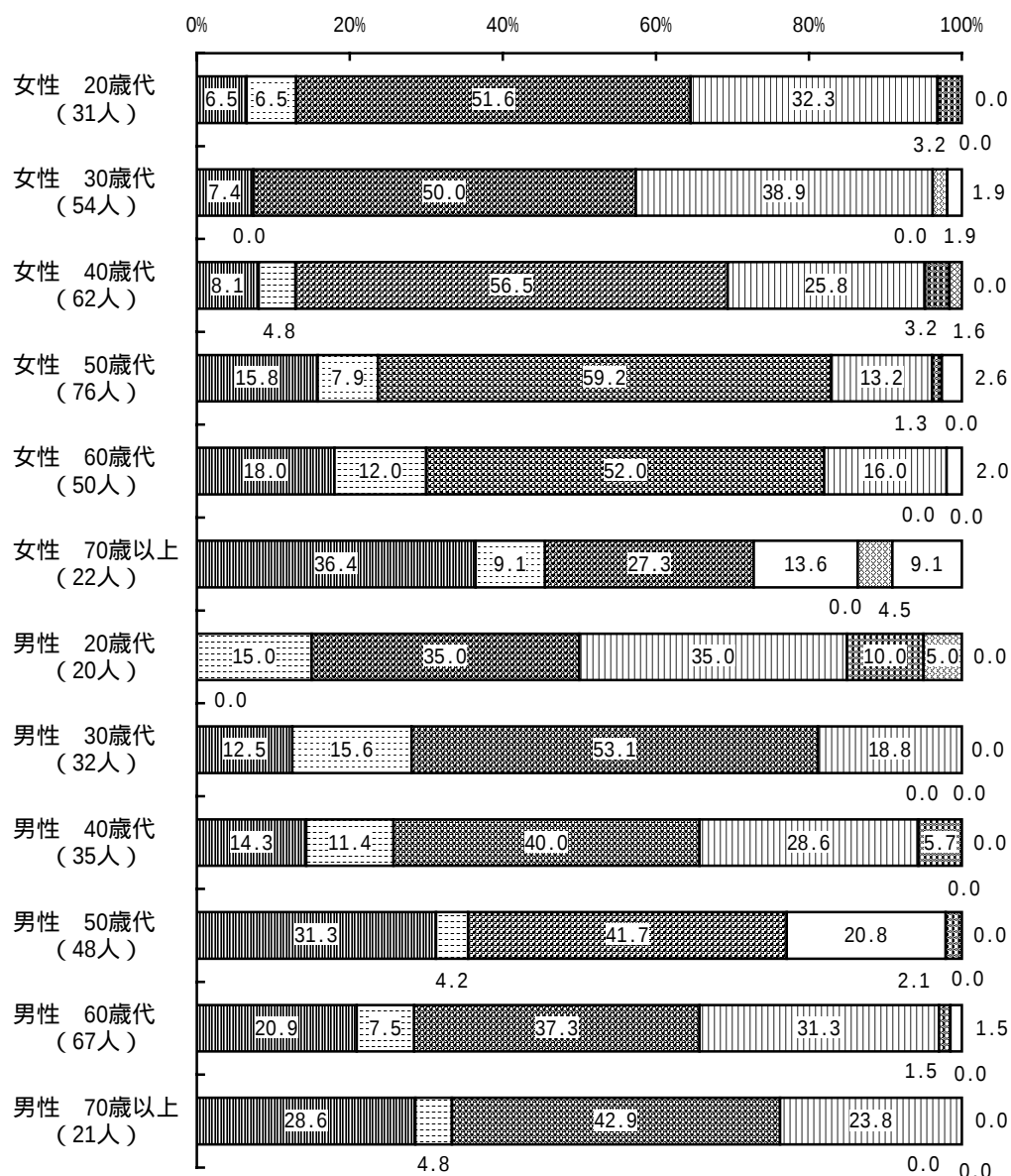
■ 男は仕事、女は家庭がよい □ 男女ともに、仕事、家庭は女性がよい ■ 男女ともに、仕事、家庭がよい □ 男女の役割は固定しない ■ その他 ■ わからない □ 無回答



性・年齢別にみると、女性の20歳代から60歳代の各年代で「男女ともに、仕事、家庭がよい」という割合が過半数を占めており、特に40歳代と50歳代では約6割で多くなっています。男性では30歳代で「男女ともに、仕事、家庭がよい」が53.1%で過半数ですが、他の年代では4割程度にとどまっています。しかし、男性でも30歳代から70歳以上まで「男女ともに、仕事、家庭がよい」という回答が最も多くなっています。また、男性の20歳代では、「男女ともに、仕事、家庭がよい」と「男女の役割は固定しない」という回答が同率で35.0%となっています。

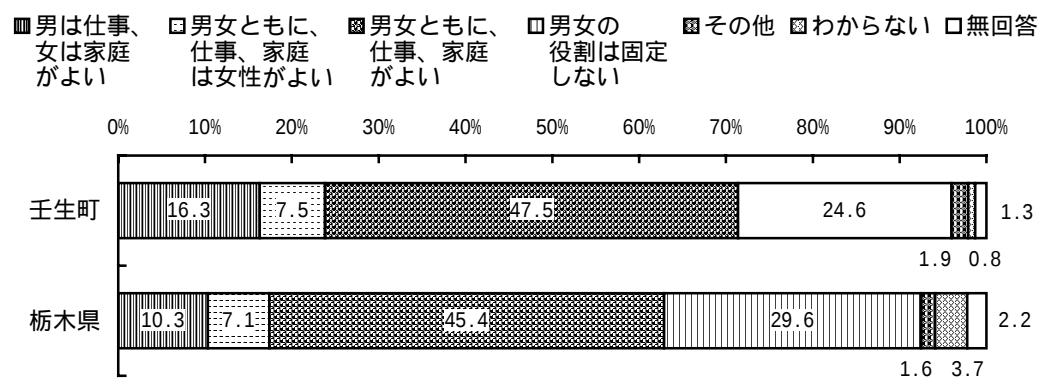
■ 性・年齢別でみた男女の役割に対する考え方

■ 男は仕事、女は家庭がよい
 □ 男女ともに、仕事、家庭は女性がよい
 ■ 男女ともに、仕事、家庭がよい
 □ 男女の役割は固定しない
 ■ その他
 ■ わからない
 □ 無回答



男女の役割に対する考え方について、県の調査結果と比較しました。「男女ともに、仕事、家庭がよい」という割合は県の割合とほぼ同じですが、「男は仕事、女は家庭がよい」という割合は県より6ポイント多くなっています。

■ 県との比較でみた男女の役割に対する考え方



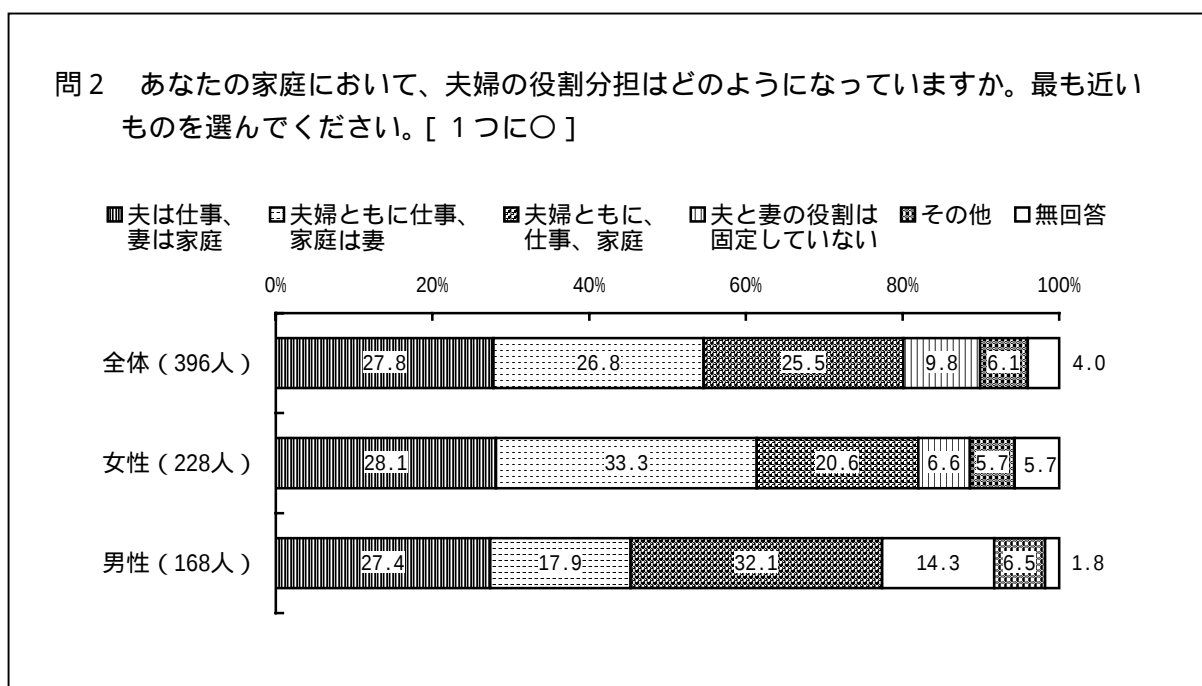
1-2 実際の夫婦の役割分担（問2）

“ 夫は仕事、妻は家庭 ” が27.8%。

現在、配偶者がいる人に、家庭内の夫婦の役割分担についてたずねたところ、「夫は仕事、妻は家庭」が27.8%、「夫婦ともに仕事、家庭は妻」が26.8%、「夫婦ともに、仕事、家庭」が25.5%となっています。

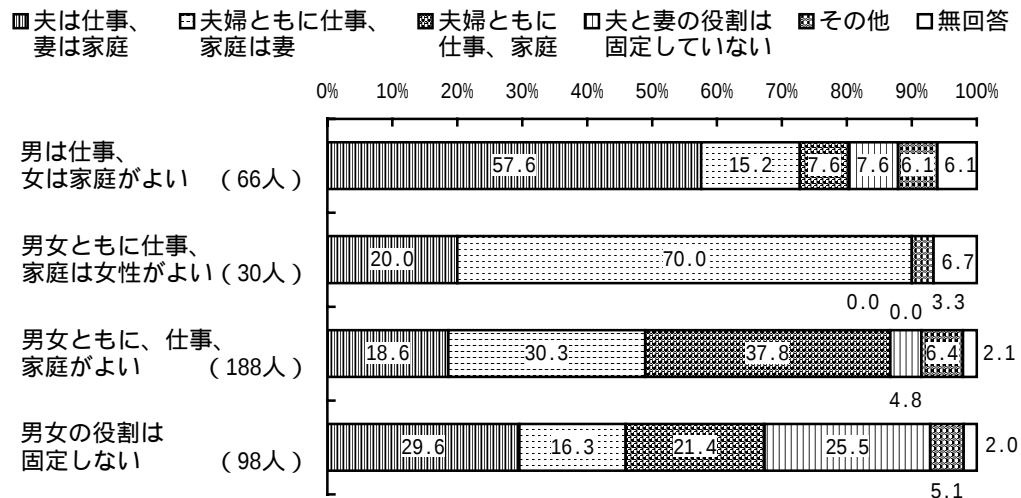
これを性別にみると、「夫婦ともに、仕事、家庭は妻」については、女性では33.3%ですが、男性では17.9%にとどまっています。一方、「夫婦ともに、仕事、家庭」については、男性では32.1%ですが、女性では20.6%にとどまっています。性別によって認識の違いがうかがえます。

■ 実際の夫婦の役割分担



問1でたずねた男女の役割に対する考え方別に集計しました。その結果、『男は仕事、女は家庭がよい』という考え方の人のうち、57.6%が実際の役割分担でも「夫は仕事、妻は家庭」であるとしています。また、『男女ともに仕事、家庭は女性がよい』という考え方の人のうち、70.0%が実際の役割分担でも「夫婦ともに仕事、家庭は妻」であるとしています。一方、『男女ともに、仕事、家庭がよい』という考え方の人のうち、実際に「夫婦ともに、仕事、家庭」であるとしたのは37.8%にとどまり、「夫婦ともに仕事、家庭は妻」が30.3%となっています。

■ 男女の役割に対する考え方（問1）別にみた実際の夫婦の役割分担



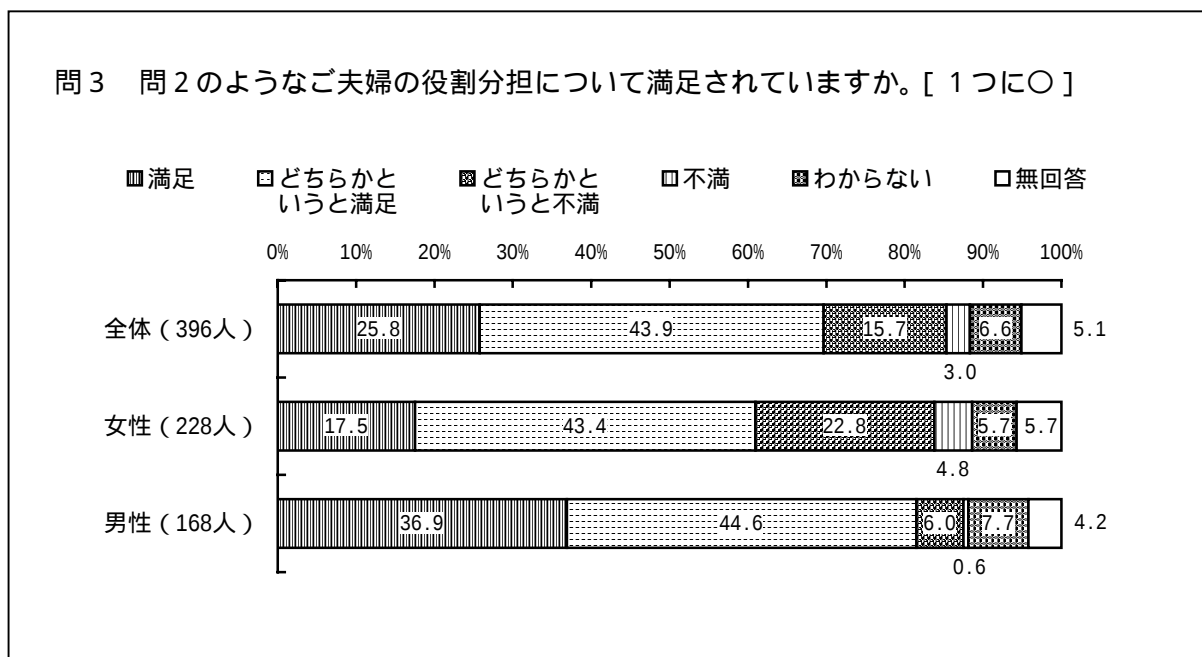
1-3 夫婦の役割分担に対する満足度（問3）

“満足派”が約7割。

問2でたずねたような家庭内の夫婦の役割分担に満足しているかについては、「満足」が25.8%、「どちらかという満足」が43.9%で、これらを合わせると満足派は約7割を占めています。

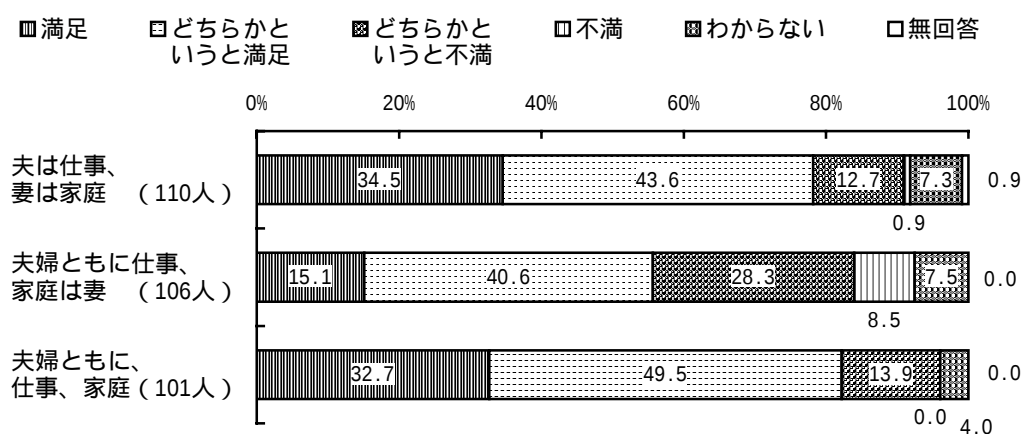
これを性別にみると、男性では「満足」が36.9%、「どちらかという満足」が44.6%で、これらを合わせると満足派は約8割を占め、満足度が高くなっています。一方、女性では、「満足」が17.5%にとどまり、「どちらかという満足」の43.4%を合わせると、満足派は約6割になっています。また女性では、「どちらかという不満」が22.8%であるなど、男性より満足度が低くなっています。

■ 夫婦の役割分担に対する満足度



問2でたずねた夫婦の役割分担別にみると、役割分担が『夫は仕事、妻は家庭』と『夫婦ともに、仕事、家庭』という人では、「満足」と「どちらかという満足」を合わせた満足派がどちらも約8割を占めて多くなっています。一方、役割分担が『夫婦ともに仕事、家庭は妻』という人では、満足派が約6割にとどまり、「どちらかという不満」(28.3%)と「不満」(8.5%)を合わせた不満派が4割近くおり、満足度が低くなっています。

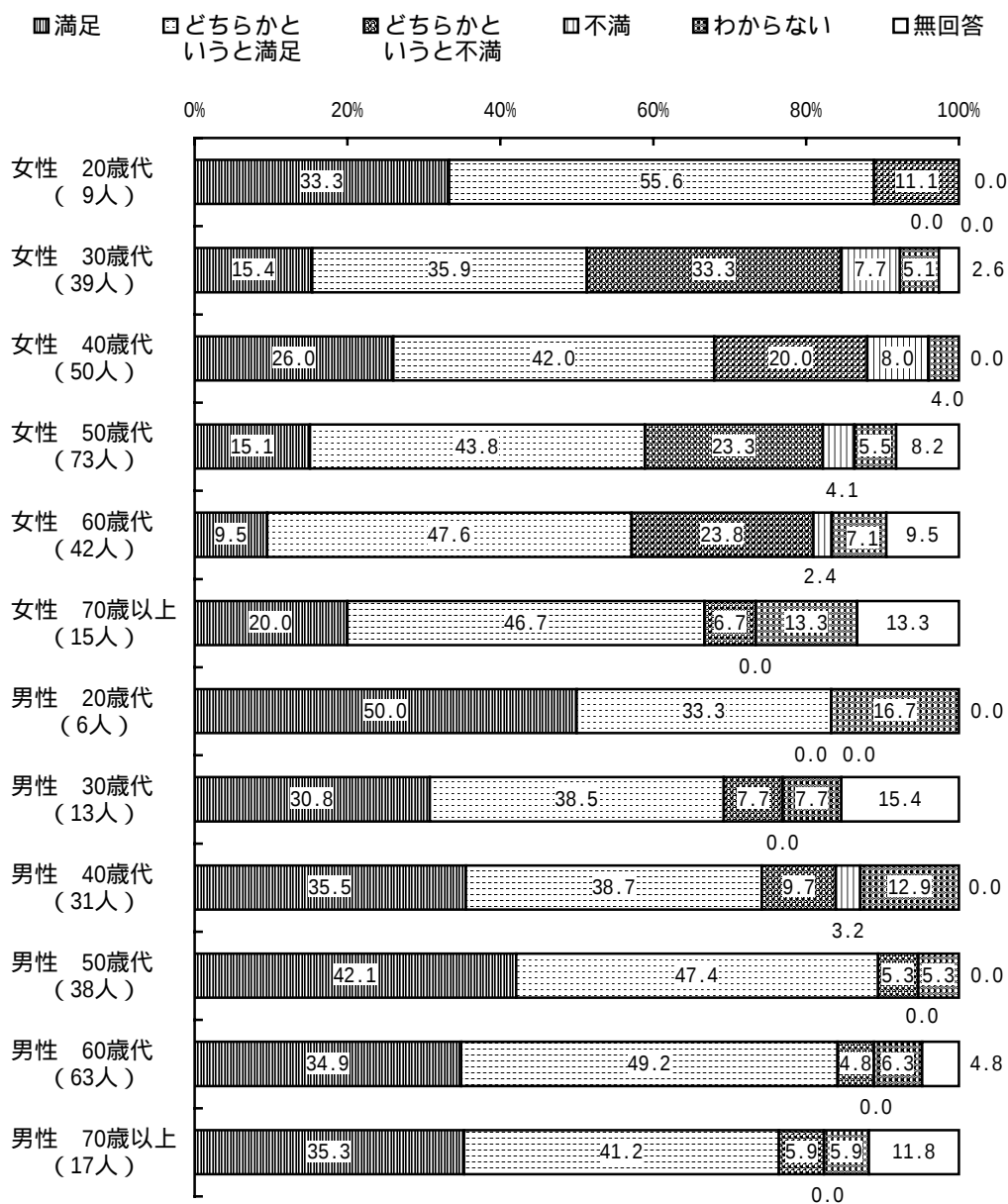
■ 実際の夫婦の役割分担（問2）別にみた満足度



性・年齢別にみると、女性の20歳代では満足派が多く約9割を占めています。しかし女性の30歳代では満足派が約5割にとどまり、不満派が約4割と多くなっています。

男性では、年代で満足派の割合に差はあるものの、全体的に満足派の割合が多くなっています。

■ 性・年齢別でみた夫婦の役割分担に対する満足度



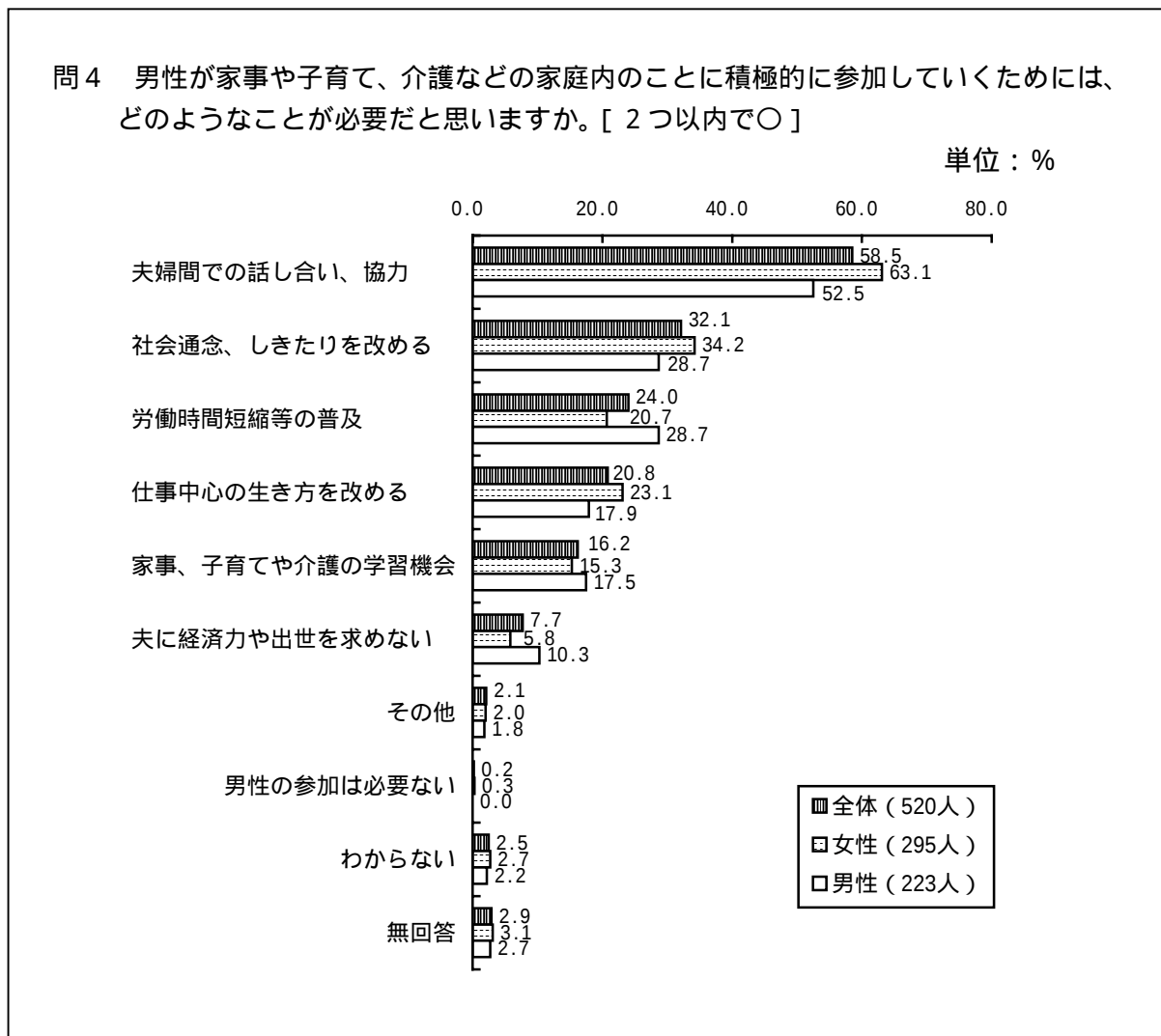
1-4 男性の家庭参加に必要なこと（問4）

“夫婦間での話し合い、協力”が58.5%。

男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思ふかをたずねたところ、「夫婦間での話し合い、協力」が最も多く、58.5%となっています。次いで、「社会通念、しきたりを改める」が32.1%、「労働時間短縮等の普及」が24.0%となっています。

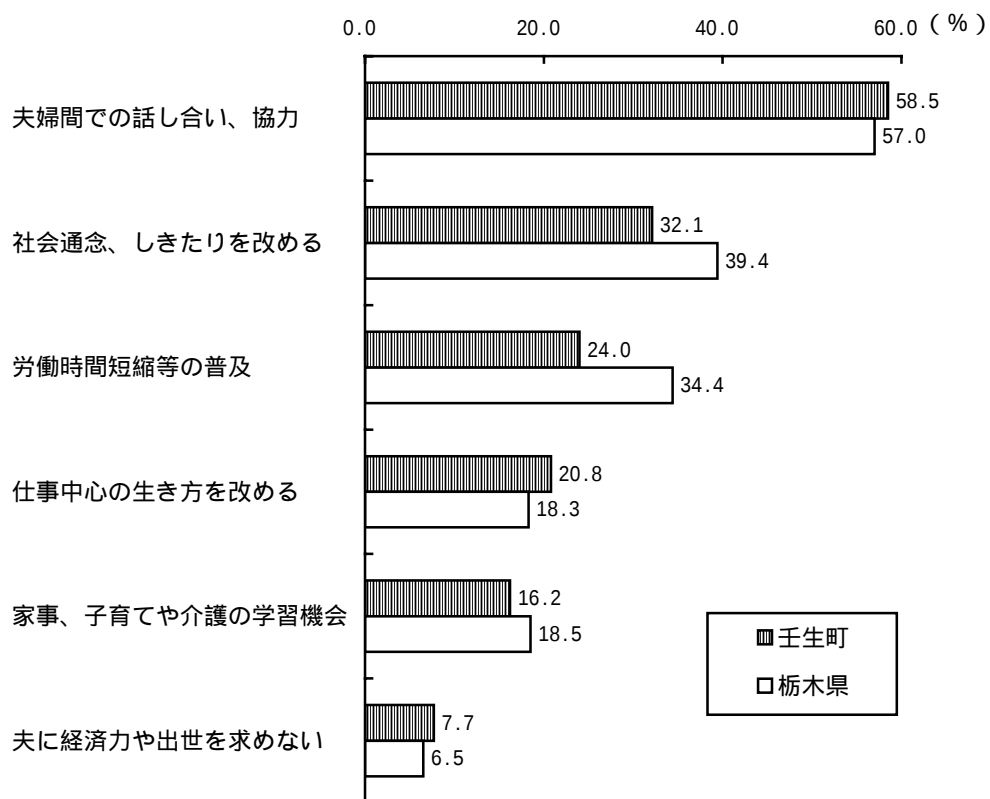
これを性別にみると、「夫婦間での話し合い、協力」については、男性では52.5%であるのに対して、女性では63.1%となっており、女性のほうが約11ポイント多くなっています。また、「労働時間短縮等の普及」については、女性では20.7%であるのに対して、男性では28.7%となっており、男性のほうが8ポイント多くなっています。

■ 男性の家庭参加に必要なこと（複数回答）



男性の家庭参加に必要なことについて、県の調査結果と比較しました。その結果、「夫婦間での話し合い、協力」については、県の割合とほぼ同様に最も多くなっています。一方、「社会通念、しきたりを改める」や「労働時間短縮等の普及」などでは、県の割合より下回っています。

■ 県との比較でみた男性の家庭参加に必要なこと



2 介護や老後について

2-1 介護経験の有無（問5）

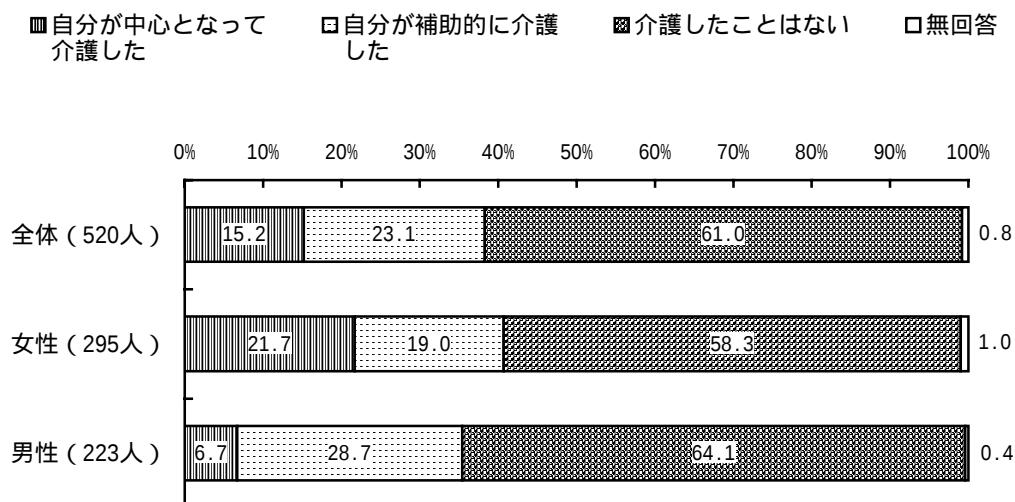
“介護経験のある人”は約4割。

これまでに、家族の介護をしたことがあるか（または、現在しているか）という介護経験の有無についてたずねたところ、「自分が中心となって介護した」が15.2%、「自分が補助的に介護した」が23.1%で、これらを合わせると介護経験のある人は、約4割となっています。

これを性別にみると、「自分が中心となって介護した」は、男性では6.7%であるのに対して、女性では21.7%になっています。また、「自分が補助的に介護した」は、女性では19.0%ですが、男性では28.7%になっています。

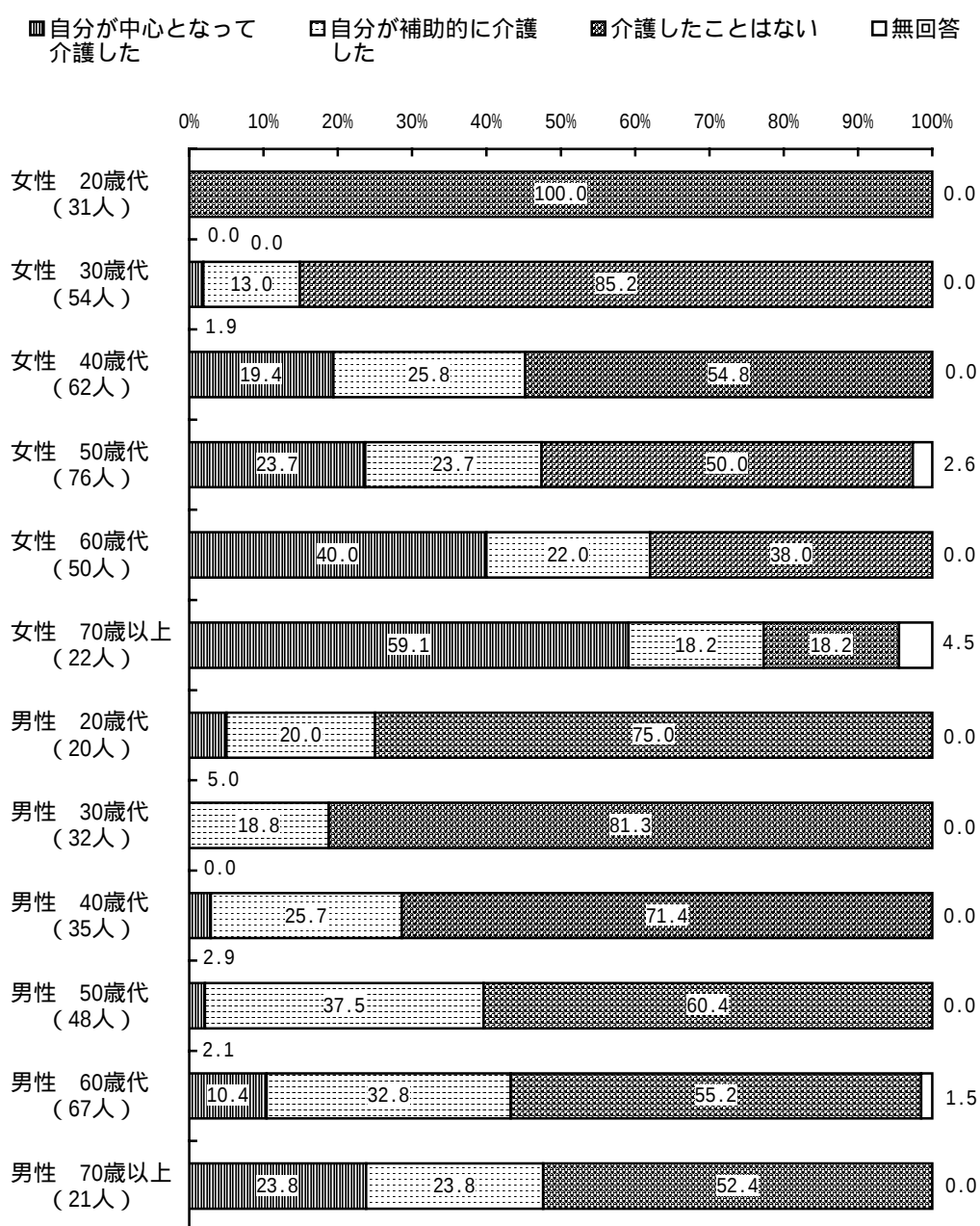
■ 介護経験の有無

問5 あなたは、ご家族を介護したことがありますか（現在していますか）〔1つに○〕



性・年齢別にみると、女性は年代が上がるのにしたがって介護経験のある人が多くなっており、50歳代では約半数、70歳以上になると約8割が介護経験があるとしています。また、「自分が中心となって介護した」は、女性の60歳代で40.0%、70歳以上で59.1%となっています。一方、男性も年代があがるのにしたがって介護経験のある人が多くなる傾向はありますが、60歳代以下ではその多くが「自分が補助的に介護した」という回答になっています。家族介護にたずさわる男性は多くいますが、補助的な役割が多く、介護の主な担い手は女性であるという実態がうかがえます。

■ 性・年齢別でみた介護経験の有無



2-2 介護の担い手に対する考え方（問6）

“現実的にはやむを得ない”が約半数。

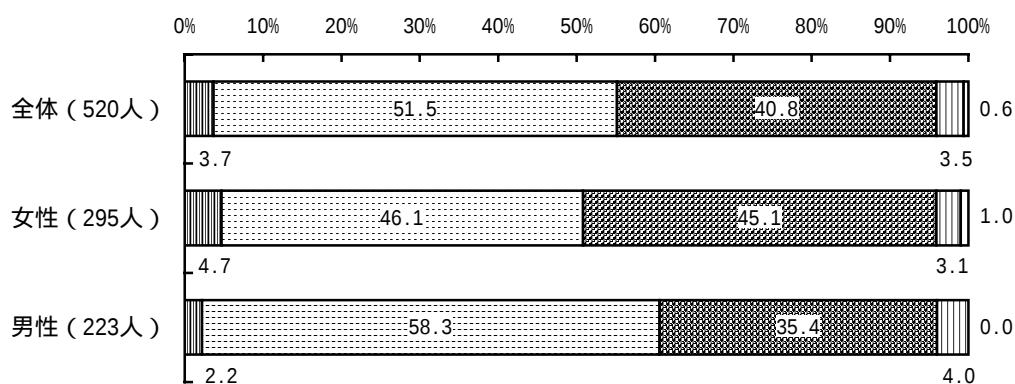
病人や高齢者などの介護は、女性（母、妻、息子の妻、娘など）が主な担い手となっている現状について、どう思うかをたずねました。その結果、「現実的にはやむを得ないと思う」が51.5%で約半数を占めています。次いで「男性も担うべきだと思う」が40.8%で多くなっています。「当然だと思う」は3.7%にとどまっています。

これを性別にみると、「現実的にはやむを得ないと思う」については、男性では58.3%と約6割を占めており、女性の46.1%と比較すると約12ポイント多くなっています。

■ 介護の担い手に対する考え方

問6 病人や高齢者などの介護は、女性（母、妻、息子の妻、娘など）が主な担い手となっているケースが多いのが現状です。あなたはこれについてどう思いますか。
[1つに○]

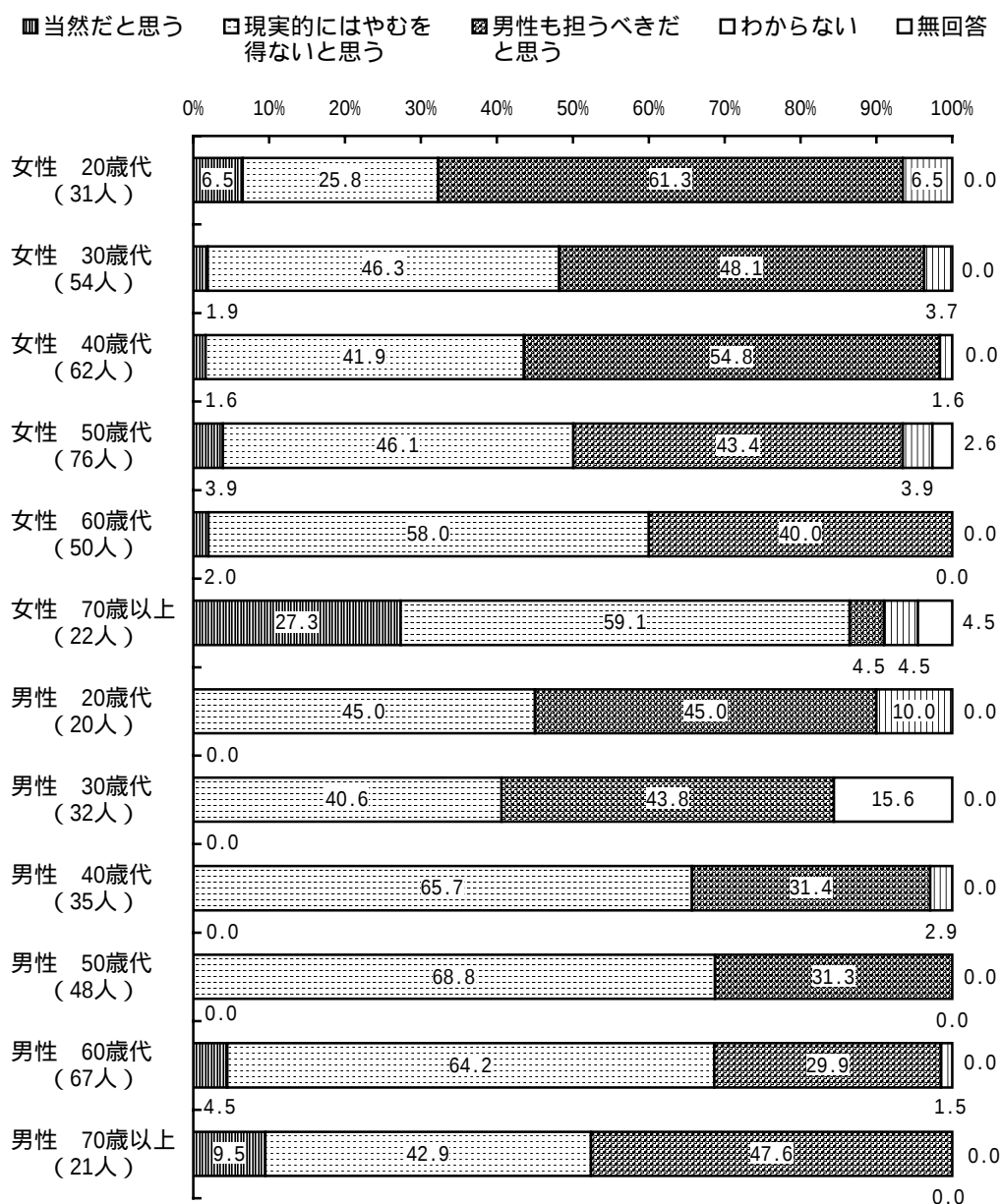
■ 当然だと思う □ 現実的にはやむを得ないと思う ■ 男性も担うべきだと思う □ わからない □ 無回答



性・年齢別にみると、女性の20歳代では「男性も担うべきだと思う」が61.3%で多くなっています。一方、女性の70歳以上では「男性も担うべきだと思う」は4.5%にとどまり、「当然だと思う」が27.3%で、他の層とは異なる割合となっています。

また、男性の40歳代から60歳代では、「現実的にはやむを得ないと思う」が6割台を占めています。

■ 性・年齢別でみた介護の担い手に対する考え方



3 子育てや教育について

3-1 回答者自身の育てられ方（問7）

“ どちらかといえば男らしく、女らしく ” が41.3%。

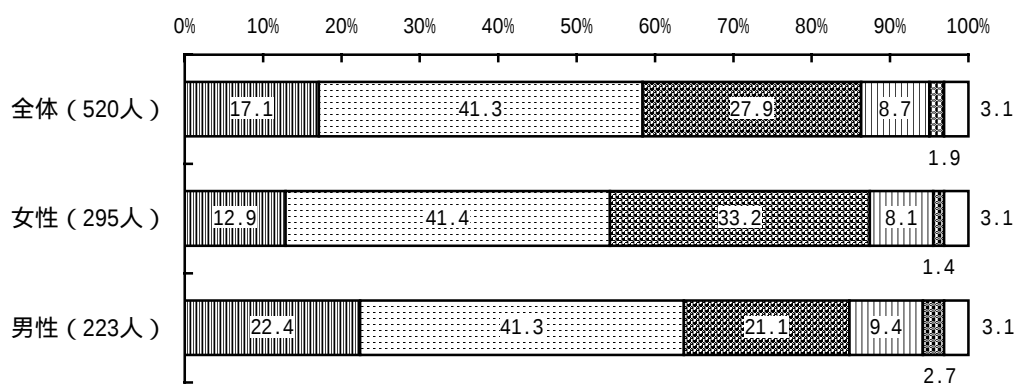
子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、回答者自身はどう育てられたかについてたずねました。その結果、「どちらかといえば男らしく、女らしく」が41.3%で最も多くなっています。次いで、「どちらかといえば、とらわれずに」が27.9%となっています。

これを性別にみると、「どちらかといえば男らしく、女らしく」については、女性では41.4%、男性では41.3%となっており、ほとんど差はありません。しかし、「男らしく、女らしく」については、男性では22.4%であるのに対して、女性では12.9%となっており、男性のほうが約10ポイント多くなっています。また、「どちらかといえば、とらわれずに」は、男性では21.1%であるのに対して、女性では33.2%となっており、女性のほうが約12ポイント多くなっています。男性より女性のほうが、性別にとらわれない育てられ方をしていることがうかがえます。

■ 回答者自身の育てられ方

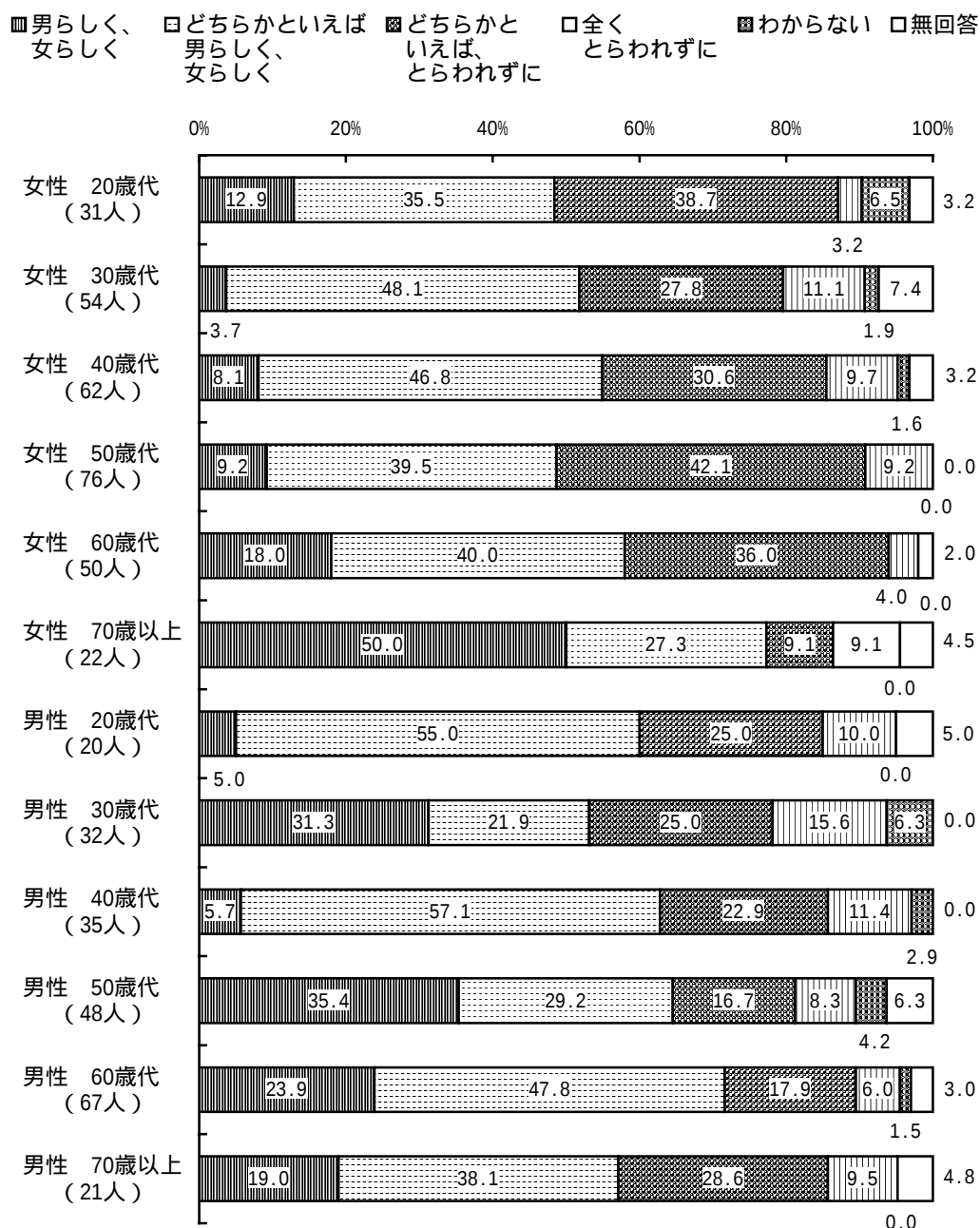
問7 子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなた自身はどう育てられましたか。最も近いものを選んでください。[1 つに○]

☐ 男らしく、女らしく
 ☐ どちらかといえば男らしく、女らしく
 ☒ どちらかといえば、とらわれずに
 ☐ 全くとらわれずに
 ☐ わからない
 ☐ 無回答



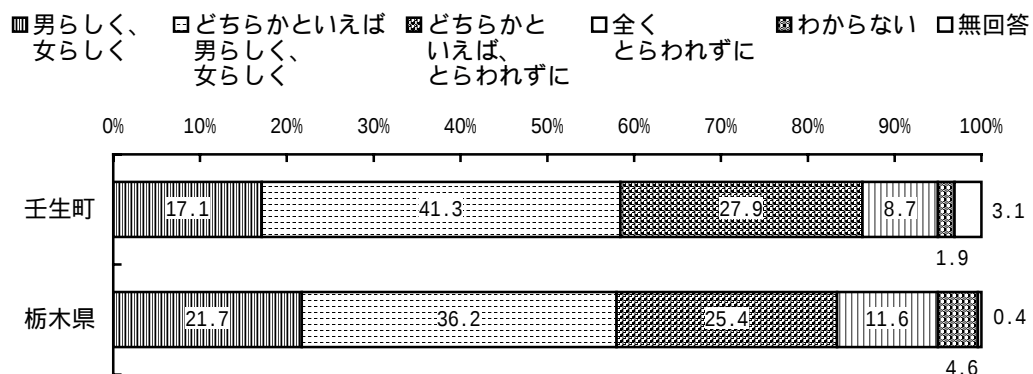
性・年齢別にみると、女性の20歳代と50歳代では「どちらかといえば、とらわれずに」が約4割を占めて多くなっています。また、女性の70歳以上では、「男らしく、女らしく」が50.0%で半数を占めて、特に多くなっています。さらに、男性の30歳代と50歳代では「男らしく、女らしく」が3～4割を占めており、他の年代より多くなっています。

■ 性・年齢別でみた回答者自身の育てられ方



回答者自身の育てられ方について、県の調査結果と比較しました。その結果、「男らしく、女らしく」については、県の割合より下回り、反対に「どちらかといえば男らしく、女らしく」については、上回っています。また、「どちらかといえば、とらわれずに」については県の割合を上回っており、中間的な回答が多くなっています。

■ 県との比較でみた回答者自身の育てられ方



3-2 自分の子どもの育て方（問8）

“ どちらかといえば男らしく、女らしく育てたい ” が34.6%。

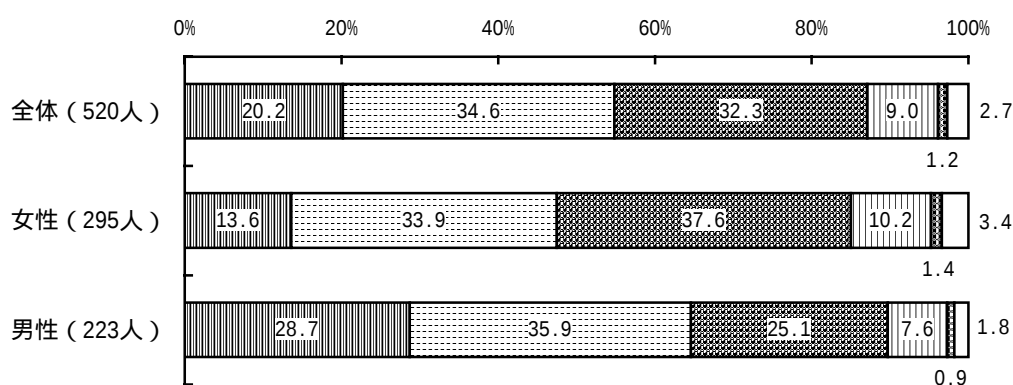
自分の子どもをどう育てたいかについては、「どちらかといえば男らしく、女らしく」が34.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば、とらわれずに」が32.3%となっています。「男らしく、女らしく」は20.2%です。

これを性別にみると、女性では「どちらかといえば、とらわれずに」が37.6%で最も多くなっていますが、男性では「どちらかといえば男らしく、女らしく」が35.9%で最も多くなっています。また、「男らしく、女らしく」については、女性では13.6%にとどまっていますが、男性では28.7%となっており、男性のほうが約15ポイント多くなっています。男女とも「どちらかといえば」という中間的な回答が多くなっていますが、男性のほうが“ 男らしく、女らしく ” 育てたいという意識が強いことがうかがえます。

■ 自分の子どもの育て方

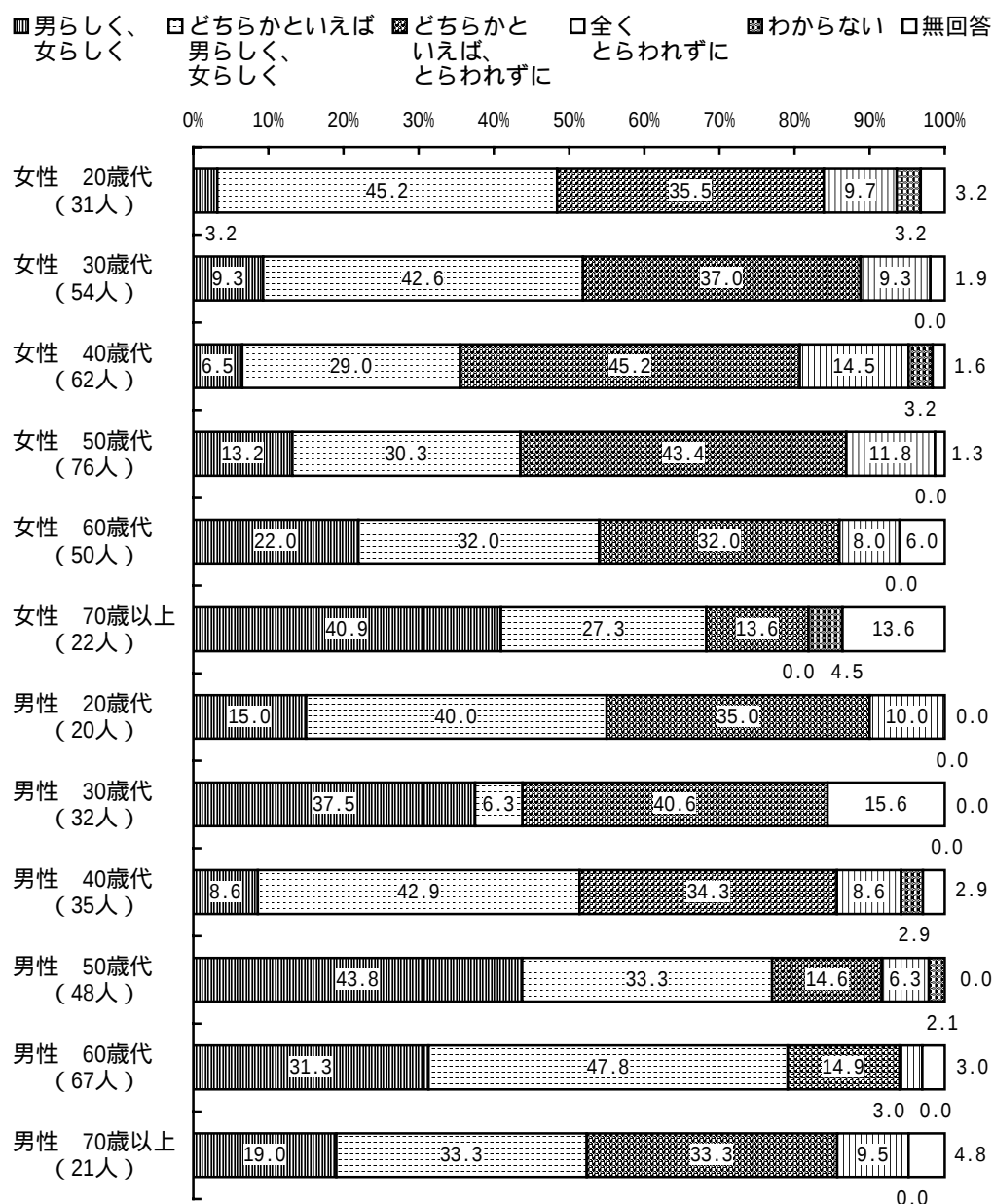
問8 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。（子どもがいない場合には、いると仮定してお考えください。）
[1つに○]

■男らしく、女らしく □どちらかといえば男らしく、女らしく ■どちらかといえば、とらわれずに □全くとらわれずに ■わからない □無回答



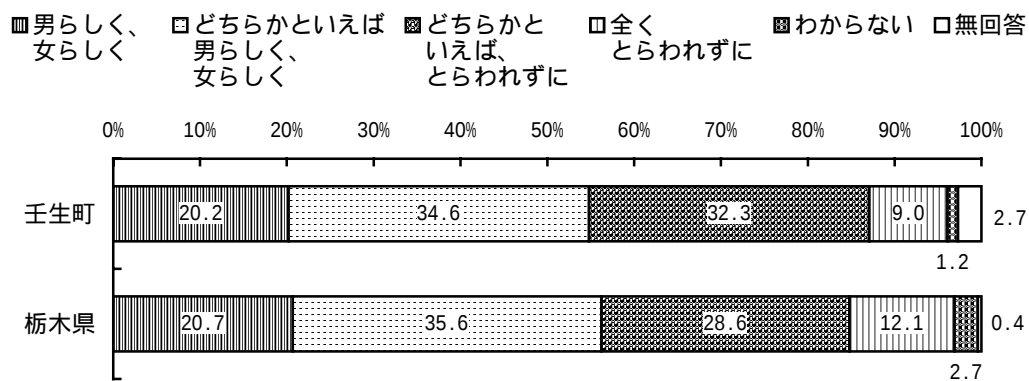
性・年齢別にみると、女性では年代が上がるのにしたがって「男らしく、女らしく」育てたいという回答が多くなる傾向がみられ、20歳代では 3.2% であるのに対して、70歳以上では 40.9% と多くなっています。女性の20歳代から50歳代では、「どちらかといえば男らしく、女らしく」または「どちらかといえば、とらわれずに」育てたいという中間的な回答が多くなっています。一方、男性では、30歳代や50歳代、60歳代で、「男らしく、女らしく」育てたいという回答が、3～4割を占めて比較的多くなっています。

■ 性・年齢別でみた自分の子どもの育て方



自分の子どもの育て方について、県の調査結果と比較しました。その結果、県の回答の割合とほぼ同様となっており、大きな違いはみられませんでした。

■ 県との比較でみた自分の子どもの育て方



3-3 学校教育において力をいれてほしいこと（問9）

“暮らしに必要な知識や実技を学ぶ”が45.2%。

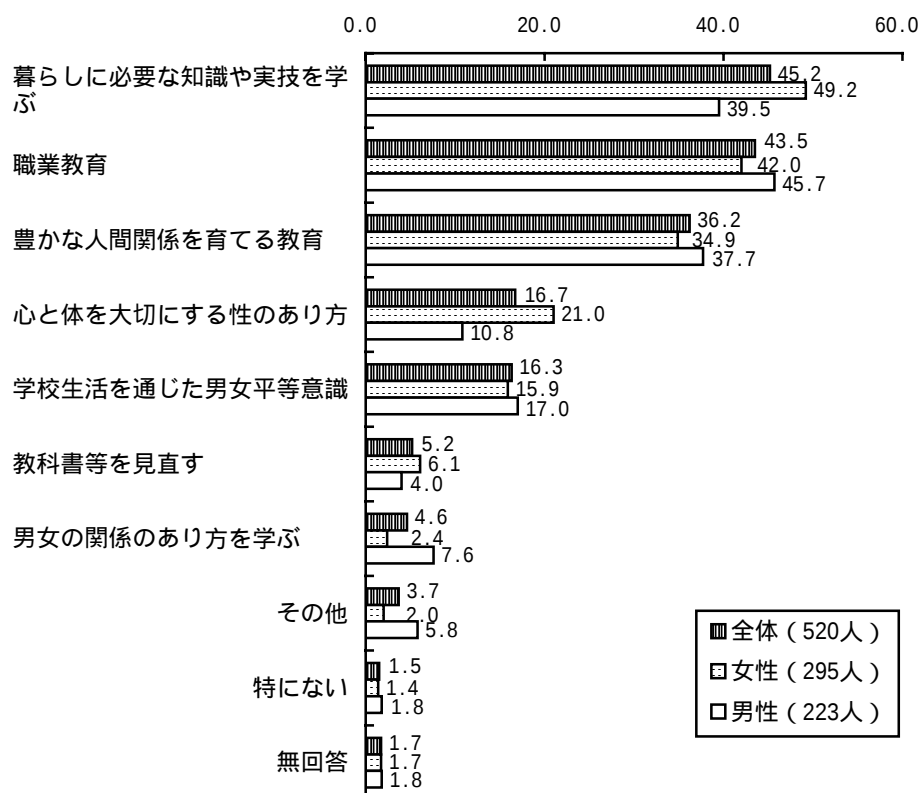
男女が対等な関係で、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものについてたずねました。その結果、「暮らしに必要な知識や実技を学ぶ」が45.2%で最も多く、次いで、働くことの意味や働き方を学ぶ「職業教育」が43.5%となっています。

これを性別にみると、女性では、「暮らしに必要な知識や実技を学ぶ」が49.2%で最も多くなっていますが、男性では、「職業教育」が45.7%で最も多くなっています。また、「心と体を大切にできる性のあり方」については、男性では10.8%にとどまっていますが、女性では21.0%となっており、女性のほうが約10ポイント多くなっています。

■ 学校教育において力をいれてほしいこと（複数回答）

問9 男女が対等な関係で、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[2 つ以内で ○]

単位：%



4 就労について

4-1 女性が職業をもつこと（問10）

“子どもが大きくなったら再び仕事をもつ”が34.4%。

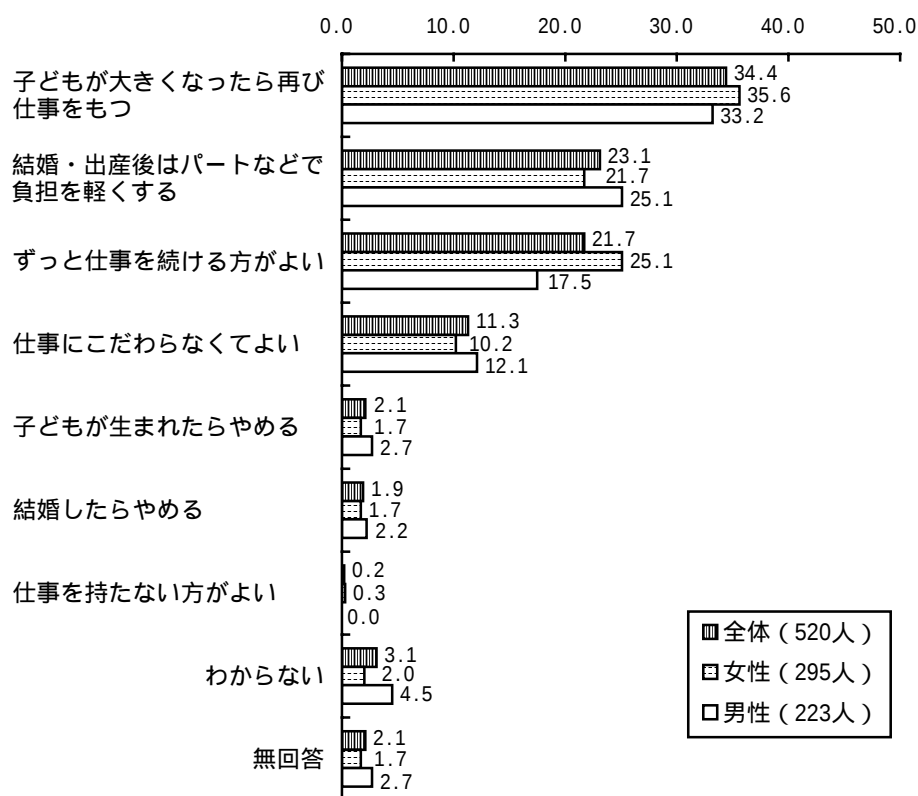
女性が職業を持つことについてどう思うかについては、「子どもが大きくなったら再び仕事をもつ」が34.4%で、最も多くなっています。次いで「結婚・出産後はパートなどで負担を軽くする」が23.1%、「ずっと仕事を続ける方がよい」が21.7%となっています。

性別にみると、男性では、「子どもが大きくなったら再び仕事をもつ」（33.2%）が最も多く、次いで「結婚・出産後はパートなどで負担を軽くする」（25.1%）、「ずっと仕事を続ける方がよい」（17.5%）となっています。一方、女性では、「子どもが大きくなったら再び仕事をもつ」（35.6%）の次に、「ずっと仕事を続ける方がよい」が25.1%で多く、その次に「結婚・出産後はパートなどで負担を軽くする」が21.7%となっています。

■ 女性が職業を持つこと

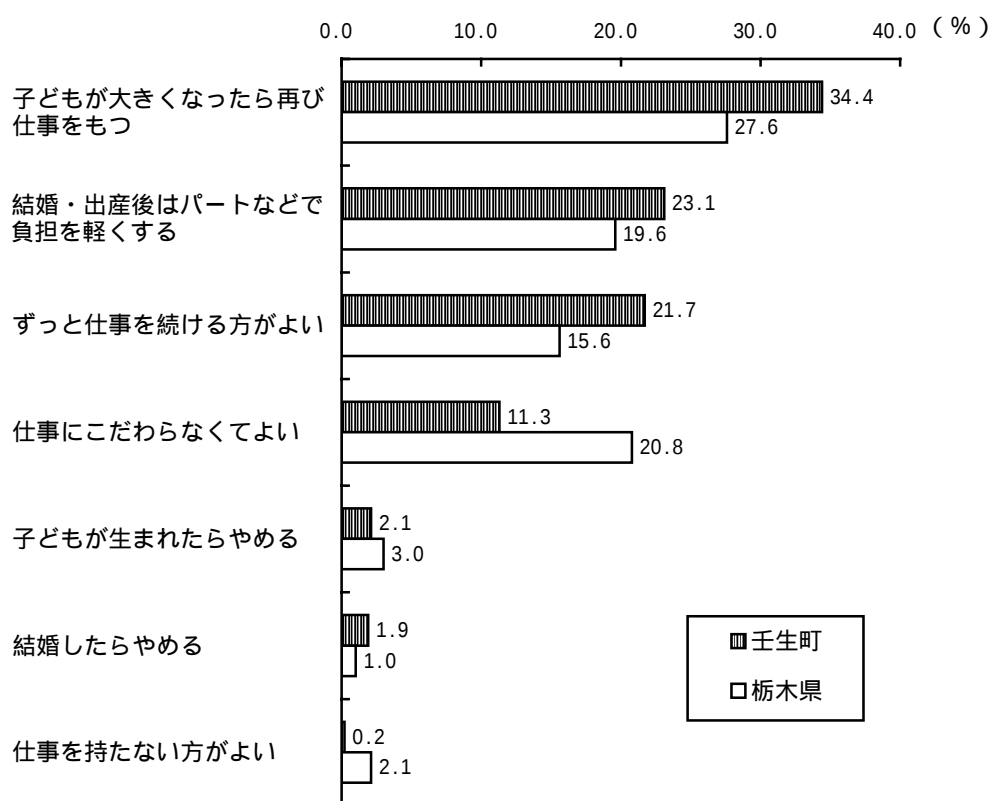
問10 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1 つに○]

単位：%



女性が職業を持つことについて、県の調査結果と比較しました。その結果、「子どもが大きくなったら再び仕事をもつ」、「結婚・出産後はパートなどで負担を軽くする」、「ずっと仕事を続ける方がよい」については、県の割合より多くなっています。一方、「仕事にこだわらなくてよい」は、県の割合より少なくなっています。

■ 県との比較でみた女性が職業を持つこと



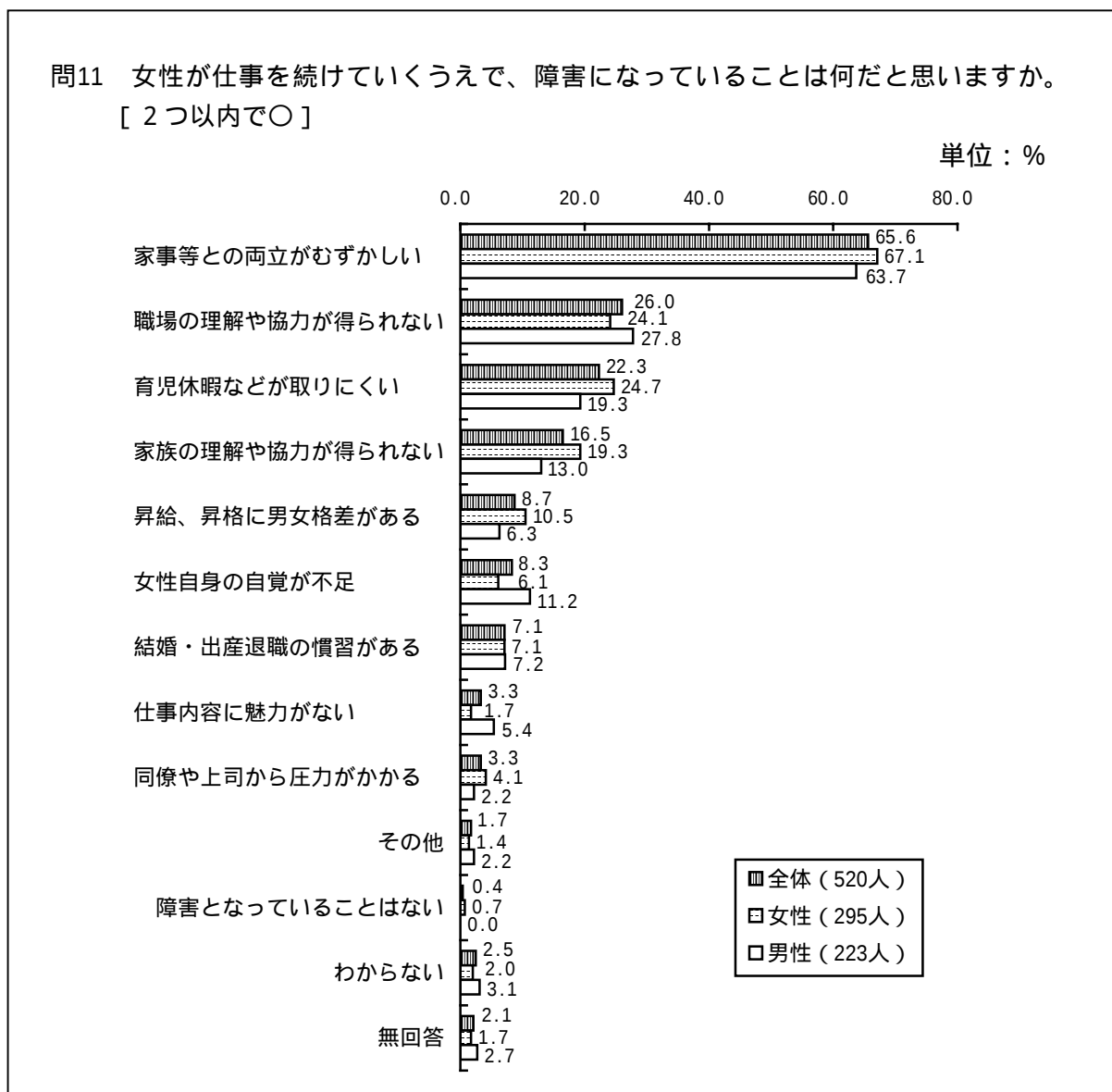
4-2 女性が仕事を続けるうえでの障害（問11）

“家事等との両立がむずかしい”が65.6%。

女性が仕事を続けていくうえで、何が障害になっていると思うかについてたずねたところ、「家事等との両立がむずかしい」が65.6%で、最も多くなっています。次いで、「職場の理解や協力が得られない」が26.0%、「育児休暇などが取りにくい」が22.3%となっています。

これを性別にみると、男性では、「家事等との両立がむずかしい」（63.7%）が最も多く、次いで、「職場の理解や協力が得られない」（27.8%）、「育児休暇などが取りにくい」（19.3%）となっています。一方、女性では、「家事等との両立がむずかしい」（67.1%）の次に、「育児休暇などが取りにくい」が24.7%と多く、その次に「職場の理解や協力が得られない」が24.1%となっています。

■ 女性が仕事を続けるうえでの障害（複数回答）



4-3 女性の再就職支援に必要なこと（問12）

“退職しても同一企業に復帰できる”が41.9%。

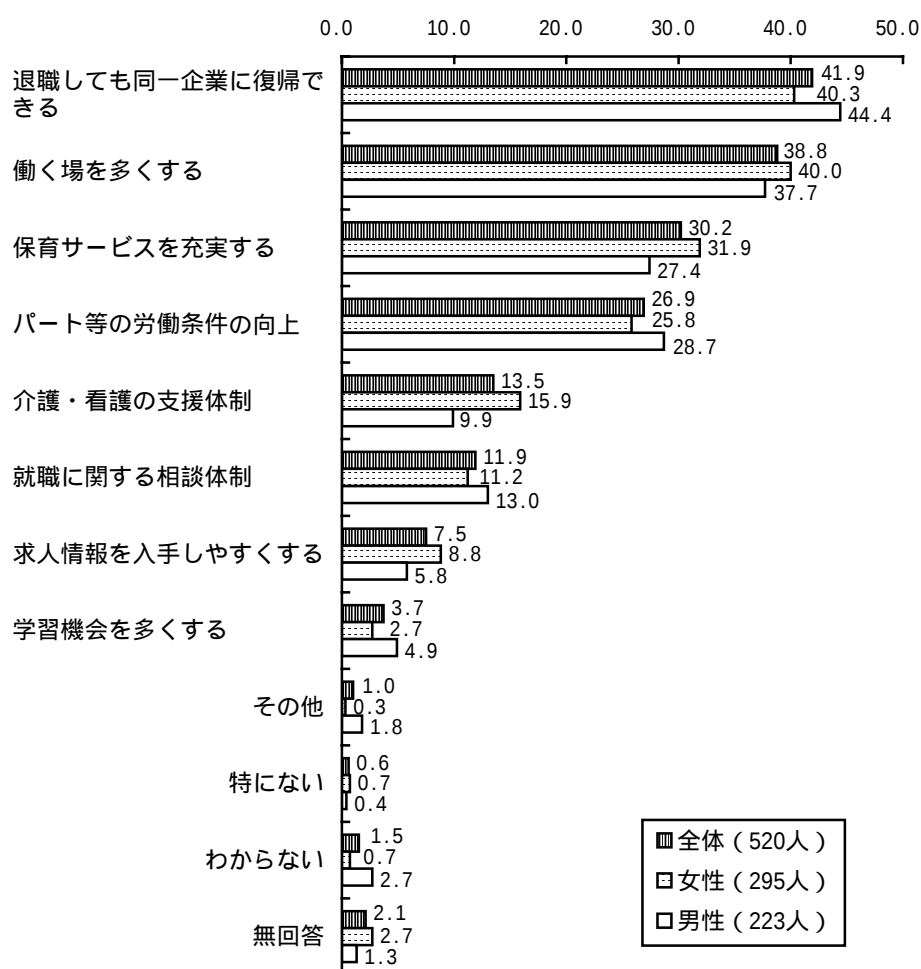
退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いうかについては、「退職しても同一企業に復帰できる」が41.9%で最も多くなっています。次いで、「働く場を多くする」が38.8%、「保育サービスを充実する」が30.2%となっています。

これを性別にみると、女性では、「退職しても同一企業に復帰できる」が40.3%で最も多く、これに続いて「働く場を多くする」も40.0%で多くなっています。

■ 女性の再就職支援に必要なこと（複数回答）

問12 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。[2 つ以内で○]

単位：%



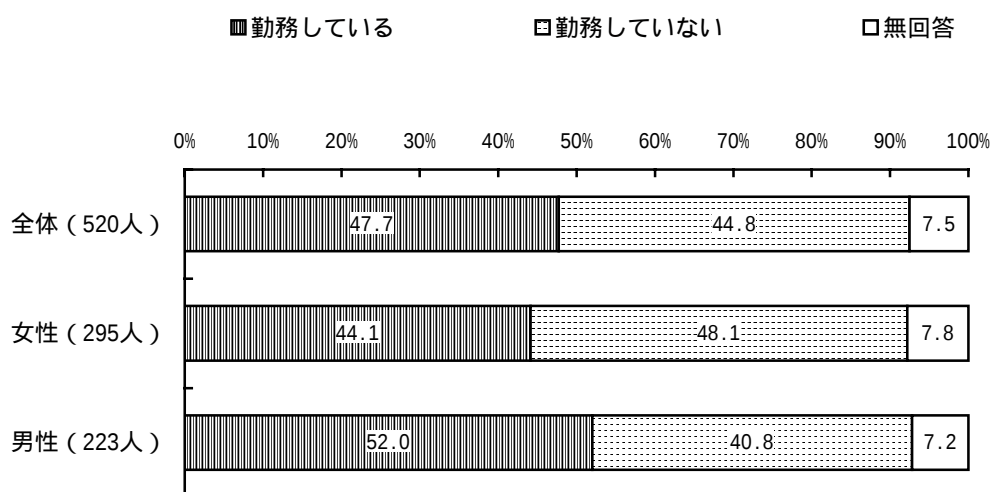
4-4 勤務状況（問13）

会社や団体に“勤務している”が約半数。

現在、会社や団体等に勤務しているかについては、「勤務している」が47.7%で約半数を占めています。男性では「勤務している」が52.0%で過半数ですが、女性では44.1%と、男性より少なくなっています。

■ 勤務状況

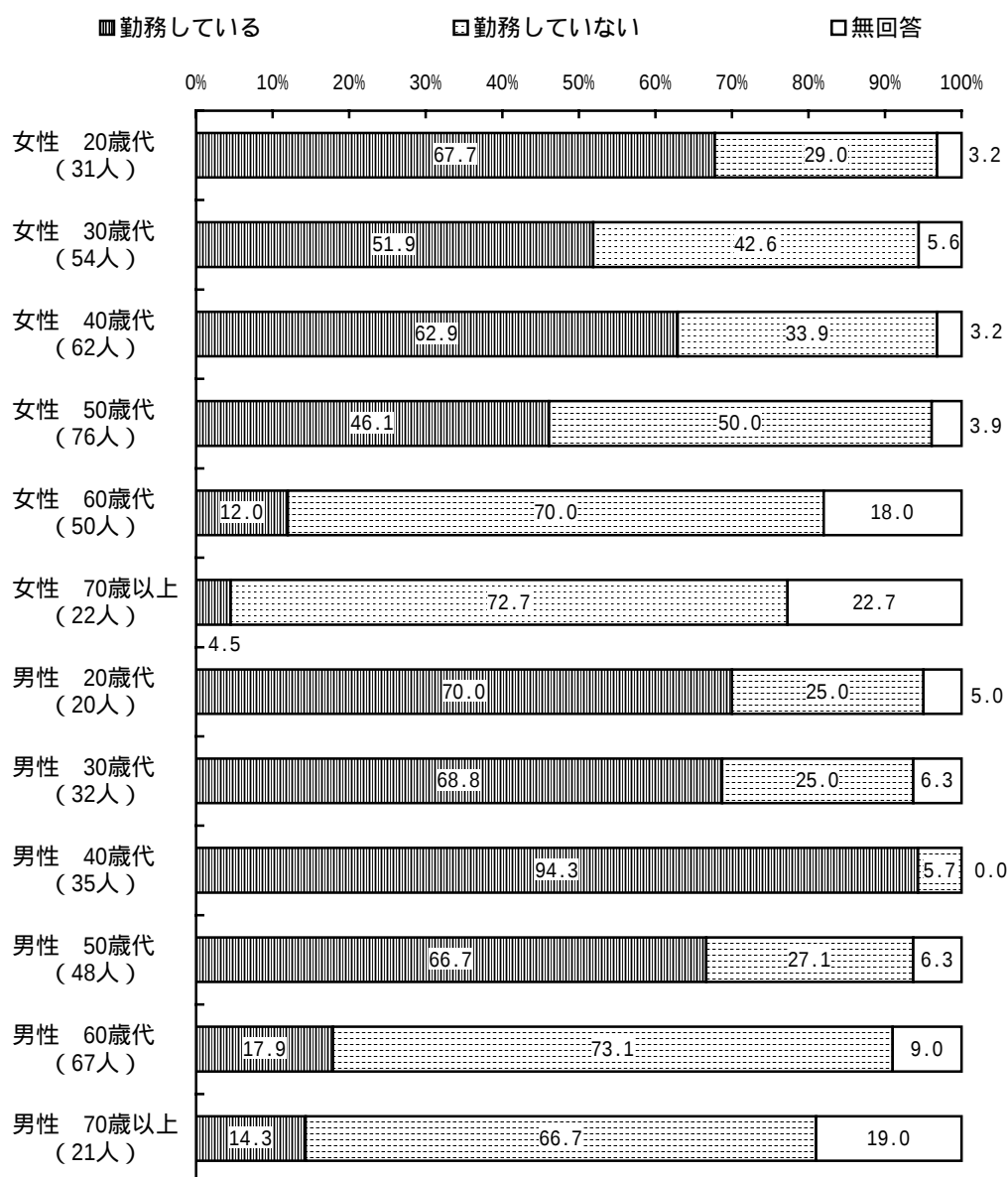
問13 あなたは現在、会社や団体等に勤務していますか。[1 つに○]



性・年齢別にみると、女性の20歳代では67.7%が「勤務している」としていますが、30歳代では51.9%に減少し、40歳代になると再び62.9%に増加しています。女性の勤務状況が、いわゆるM字型となっているのがわかります。

男性では、20歳代から50歳代まで「勤務している」という回答が多く、40歳代では9割を超えています。

■ 性・年齢別でみた勤務状況



4-5 事業所における女性の状況（問13 - 1）

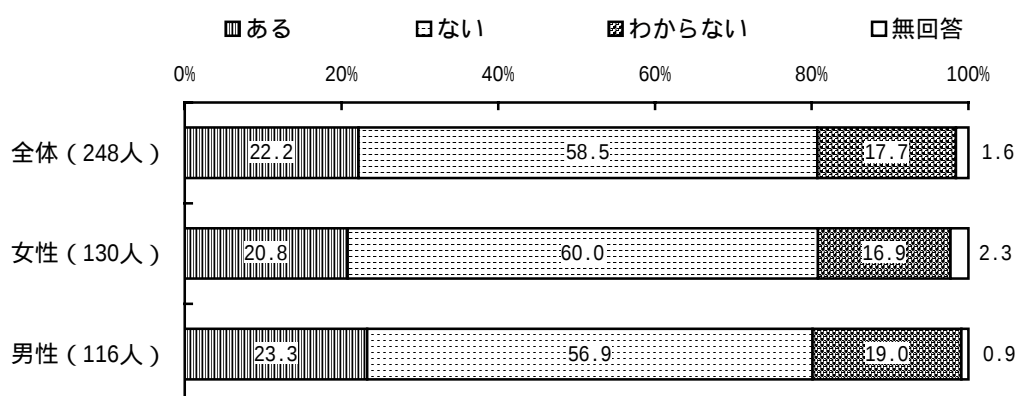
“昇進・昇格”“賃金”“雑用”などで男女間の格差がある。

問13で会社や団体等に「勤務している」と回答した人に、事業所における女性の就労環境などについて、項目ごとにたずねました。その結果、『女性は募集・採用で不利なことがある』については、「ある」という回答が22.2%ですが、その他の項目では、「ある」が3割を超えています。また、『女性は昇進・昇格が遅い（望めない）』や『女性は同期や同年齢の男性より賃金が低い』、『女性はお茶くみなどの雑用が多い』では、「ある」という割合が、男性より女性のほうが10ポイント以上多く、約4割を占めています。

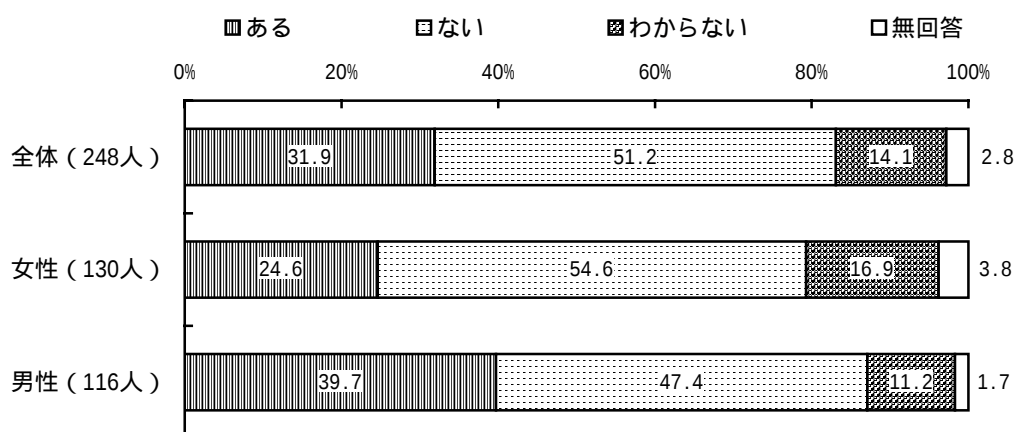
■ 事業所における女性の状況

問13 - 1 【問13で1を選んだ方におうかがいします。】
あなたが勤務している事業所で次のようなことはありますか。
[各項目ごとに1つずつ○]

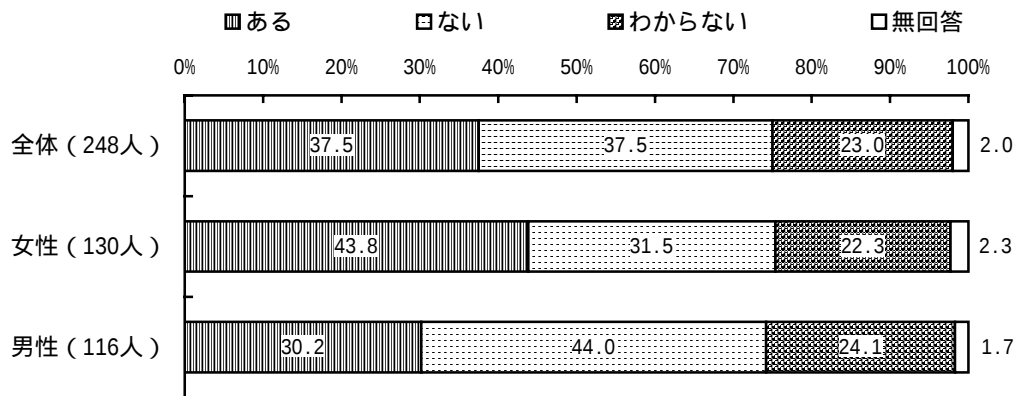
ア) 女性は募集・採用で不利なことがある



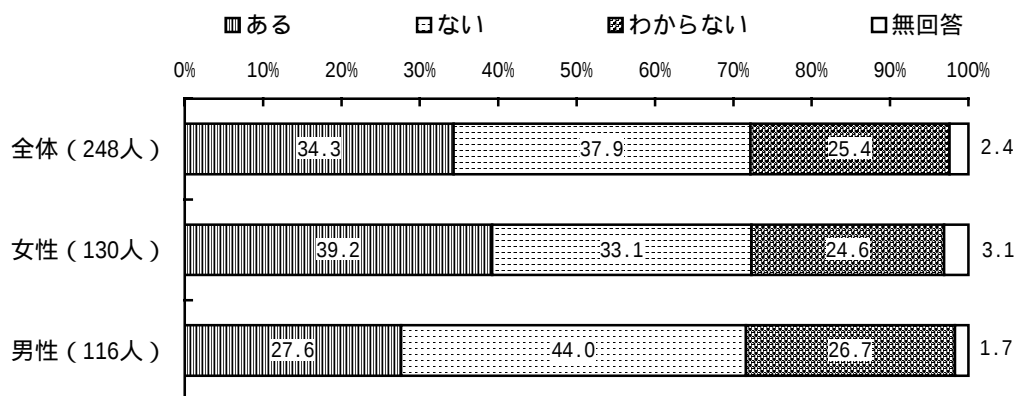
イ) 女性は配置されない部署がある



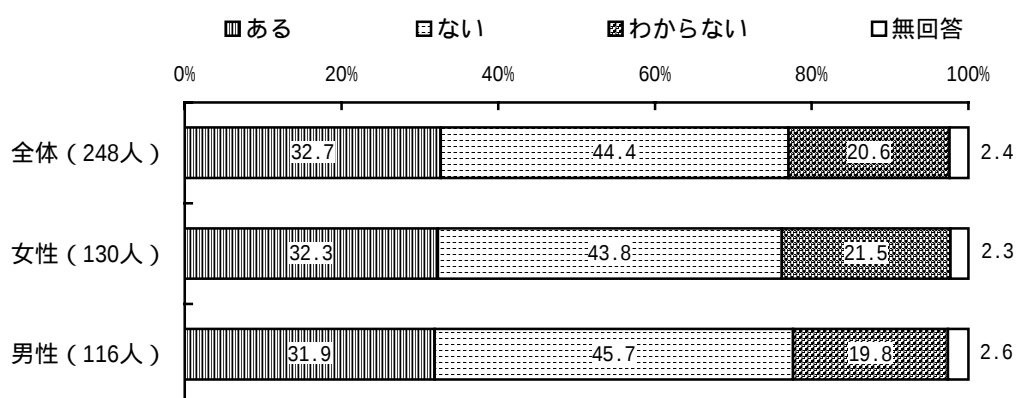
ウ) 女性は昇進・昇格が遅い(望めない)



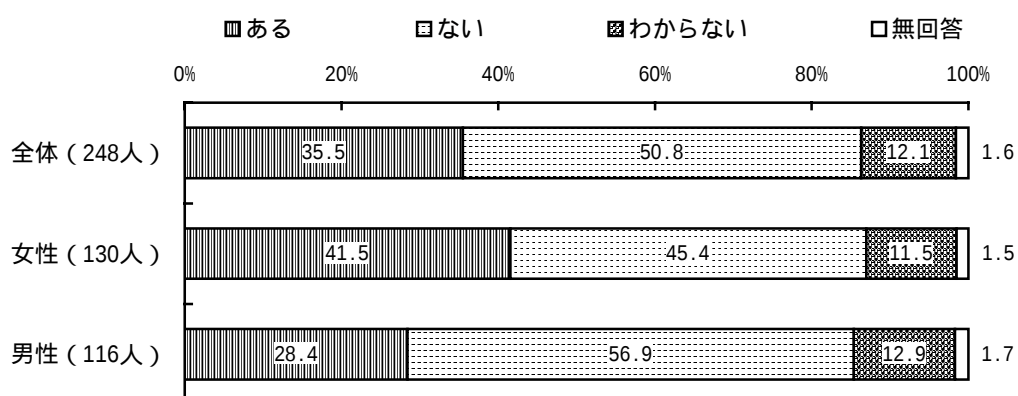
エ) 女性は同期や同年齢の男性より賃金が高い



オ) 女性は研修・出張の機会が少ない



カ) 女性はお茶くみなどの雑用が多い



5 地域活動について

5-1 地域活動への参加状況（問14）

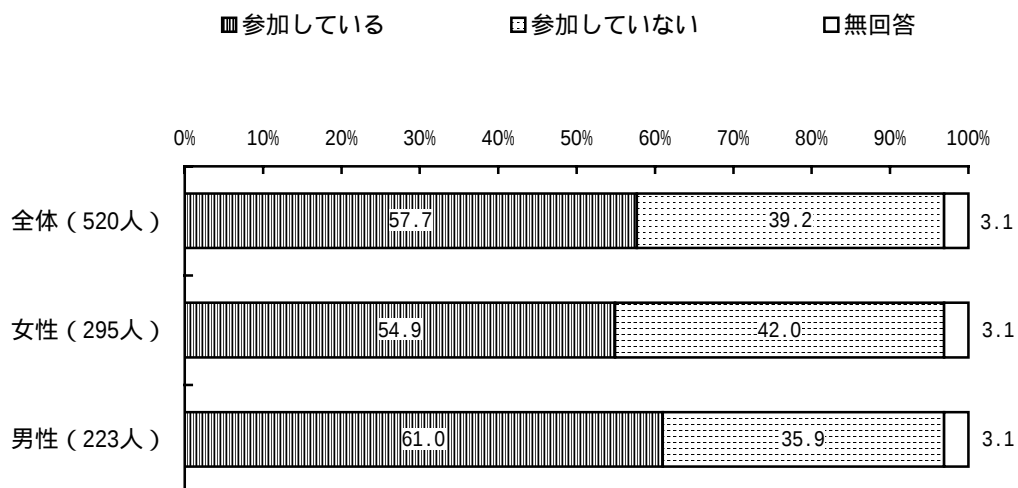
“参加している”が57.7%。

地域活動の参加状況については、「参加している」が57.7%、「参加していない」が39.2%で、参加している人が約6割を占めています。

これを性別にみると、男性では「参加している」が61.0%となっており、女性の54.9%と比較すると約6ポイント多くなっています。

■ 地域活動への参加状況

問14 あなたは、地域活動に参加していますか。（または、参加したことがありますか。）
[1 つに○]



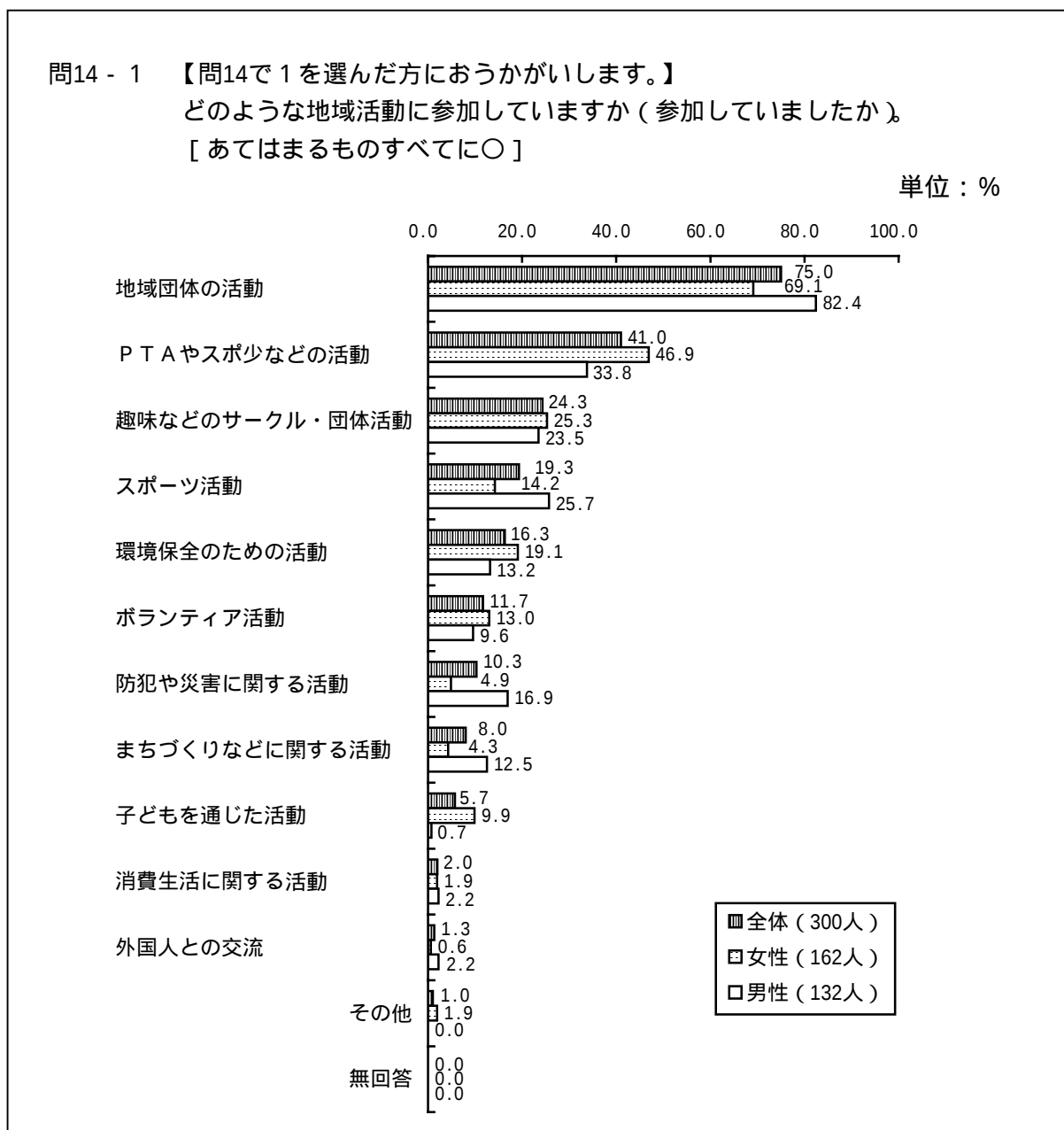
5-2 参加している地域活動（問14 - 1）

“ 地域団体の活動 ” が75.0%。

問14で地域活動に参加していると回答した人に、どのような地域活動に参加しているか（参加していたか）をたずねました。その結果、「地域団体の活動」が75.0%で最も多く、次いで「PTAやスポ少などの活動」が41.0%となっています。

これを性別にみると、「地域団体の活動」については、男性では82.4%と特に多くなっています。また、「PTAやスポ少などの活動」については、女性では46.9%で、男性より約13ポイント多くなっています。

■ 参加している地域活動（複数回答）



5-3 参加していない理由（問14 - 2）

“ 身近に機会がない ” が33.3%。

問14で地域活動に「参加していない」と回答した人に、参加しない理由をたずねました。その結果、「身近に機会がない」が33.3%で最も多く、次いで「仕事が忙しい」が30.9%となっています。

これを性別にみると、男女とも「身近に機会がない」と「仕事が忙しい」が多くなっていますが、どちらも男性のほうが割合が多くなっています。また、「家事・育児が忙しい」については、女性では10.5%となっており、男性より8ポイント多くなっています。

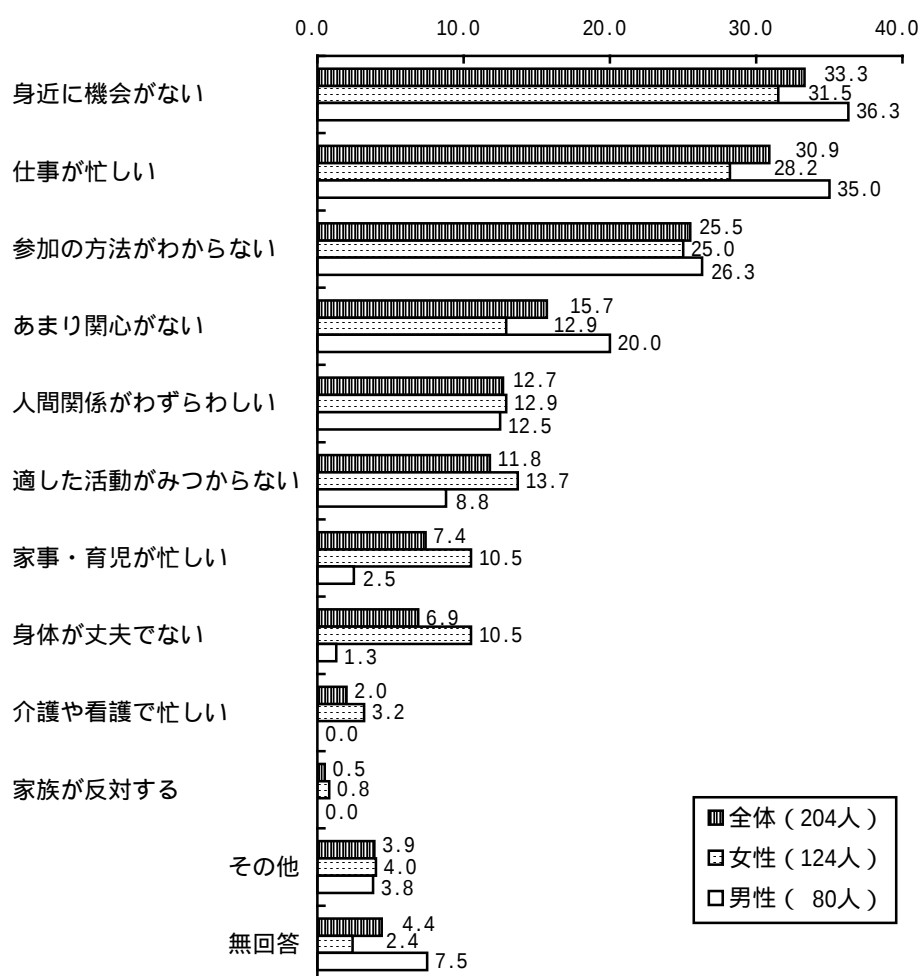
■ 参加していない理由（複数回答）

問14 - 2 【問14で2を選んだ方におうかがいします。】

あなたが地域活動に参加しないのはどのような理由からですか。

[2 つ以内で○]

単位：%



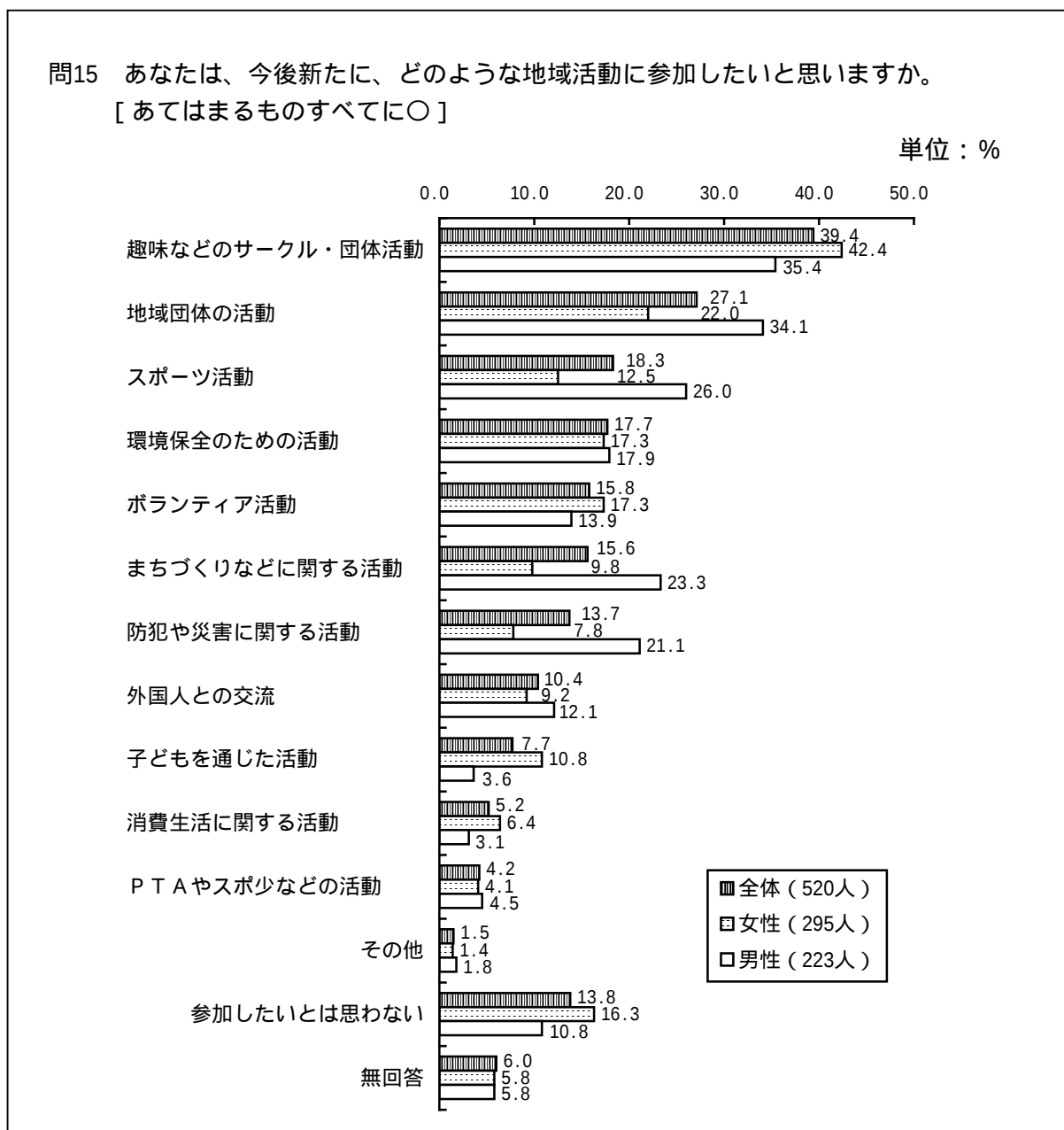
5-4 今後参加したい地域活動（問15）

“ 趣味などのサークル・団体活動 ” が39.4%。

今後新たに、どのような地域活動に参加したいかについては、「趣味などのサークル・団体活動」が39.4%で最も多くなっています。次いで、「地域団体の活動」が27.1%、「スポーツ活動」が18.3%となっています。

これを性別にみると、男性では、「地域団体の活動」や「スポーツ活動」、「まちづくりなどに関する活動」、「防犯や災害に関する活動」などで、女性の割合より10ポイント以上多くなっています。

■ 今後参加したい地域活動（複数回答）



性・年齢別に上位３項目をみると、男女ともに各年代で「趣味などのサークル・団体活動」が上位となっています。また、女性の20歳代と30歳代、男性の20歳代といった若い年代では、「子どもを通じた活動」が上位に入っているほか、女性の50歳代以上では「環境保全のための活動」が、男性の40歳代や60歳代以上では「まちづくりなどに関する活動」が上位に入っています。

■ 性・年齢別でみた今後参加したい地域活動の内容

区分	女 性					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
第１位	趣味などのサークル・団体活動 (41.9%)	趣味などのサークル・団体活動 (40.7%)	趣味などのサークル・団体活動 (45.2%)	趣味などのサークル・団体活動 (53.9%)	趣味などのサークル・団体活動 (36.0%)	地域団体の活動 (31.8%)
第２位	スポーツ活動 (32.3%)	子どもを通じた活動 (25.9%)	地域団体の活動 (17.7%)	地域団体の活動 (31.6%)	環境保全のための活動 (26.0%)	環境保全のための活動／趣味などのサークル・団体活動／スポーツ活動 (13.6%)
第３位	子どもを通じた活動 (25.8%)	外国人との交流 (22.2%)	スポーツ活動 (16.1%)	ボランティア活動／環境保全のための活動 (18.4%)	ボランティア活動 (24.0%)	

区分	男 性					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
第１位	スポーツ活動 (40.0%)	趣味などのサークル・団体活動 (31.3%)	趣味などのサークル・団体活動 (48.6%)	趣味などのサークル・団体活動 (47.9%)	地域団体の活動 (47.8%)	趣味などのサークル・団体活動 (38.1%)
第２位	子どもを通じた活動／趣味などのサークル・団体活動 (20.0%)	スポーツ活動 (28.1%)	まちづくりなどに関する活動 (45.7%)	地域団体の活動 (39.6%)	まちづくりなどに関する活動／趣味などのサークル・団体活動 (25.4%)	ボランティア活動 (28.6%)
第３位		防犯や災害に関する活動 (25.0%)	スポーツ活動 (42.9%)	防犯や災害に関する活動 (29.2%)		まちづくりなどに関する活動 (19.0%)

6 人権について

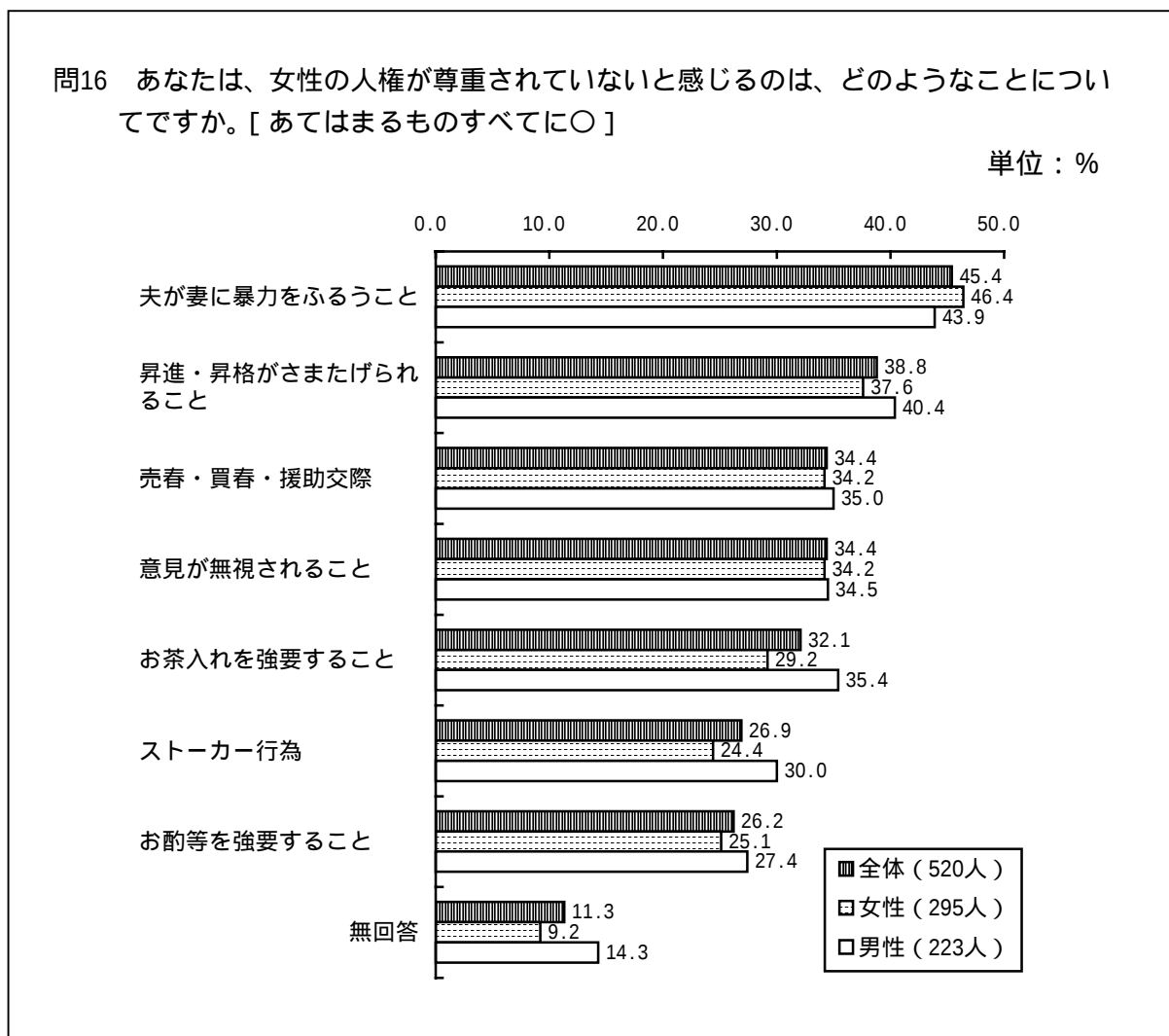
6-1 女性の人権が尊重されていないと感じるとき（問16）

“ 夫が妻に暴力をふるうこと ” が45.4%。

どのようなときに女性の人権が尊重されていないと思うかをたずねたところ、「夫が妻に暴力をふるうこと」については、45.4%が尊重されていないとしており、最も多くなっています。

これを性別にみると、「お茶入れを強要すること」や「ストーカー行為」などの項目で、女性より男性の割合が多くなっています。

■ 女性の人権が尊重されていないと感じるとき（複数回答）



6-2 女性に対する暴力をなくすために必要なこと（問17）

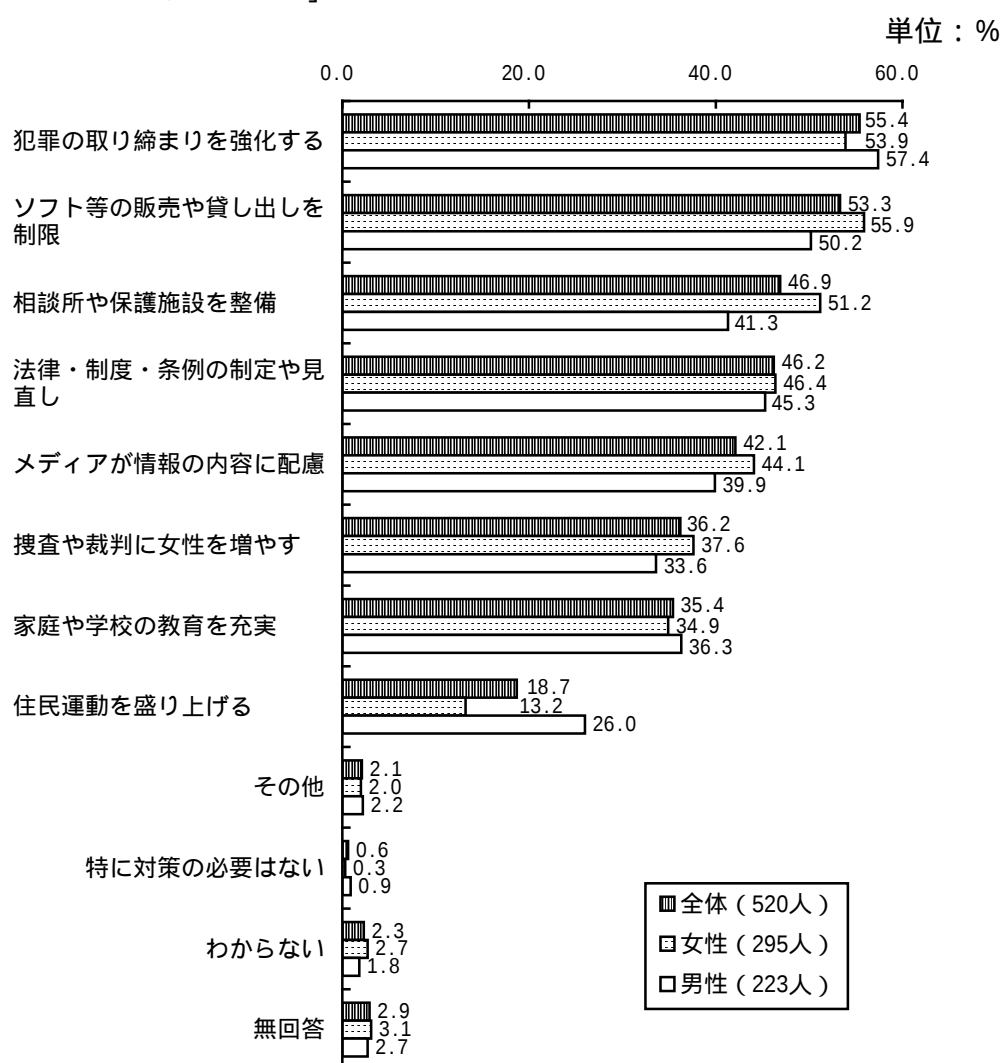
“ 犯罪の取り締まりを強化する ” が55.4%。

女性に対する暴力をなくすために必要なことについては、「犯罪の取り締まりを強化する」が55.4%で最も多く、次いで「ソフト等の販売や貸し出しを制限」が53.3%、「相談所や保護施設を整備」が46.9%となっています。

これを性別にみると、女性では「ソフト等の販売や貸し出しを制限」が55.9%で最も多く、次いで「犯罪の取り締まりを強化する」が53.9%となっています。また、「相談所や保護施設を整備」については、女性では51.2%となっており男性より約10ポイント多くなっています。

■ 女性に対する暴力をなくすために必要なこと（複数回答）

問17 近年、性犯罪、買売春（援助交際を含む）、家庭内暴力、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）、ちかん行為等、女性に対する暴力への関心が高まっています。女性に対する暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。〔あてはまるものすべてに○〕



6-3 ドメスティック・バイオレンスだと思う行為（問18）

“殴る”や“刃物などでおどす”は、9割が暴力であると回答している。

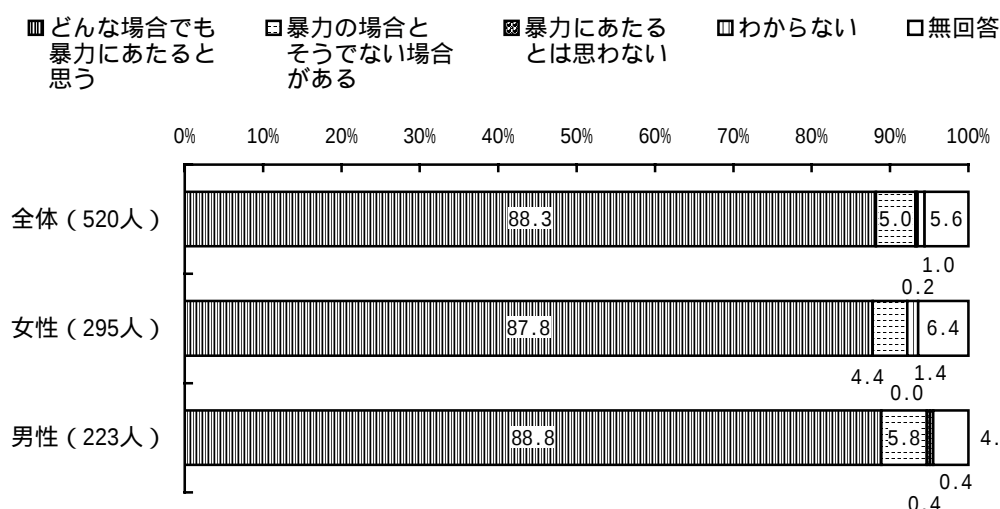
夫婦や恋人間で、どのような場合を暴力と思うかについて、各項目ごとにたずねました。その結果、『身体を傷つける可能性のあるもので殴る』と『刃物などを突きつけて、おどす』については、約9割が「どんな場合でも暴力にあたると思う」としています。

性別にみると、男女で意識の違いが大きい項目は、『「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という』についてで、女性では53.9%が「どんな場合でも暴力にあたると思う」としていますが、男性では35.9%にとどまっています。

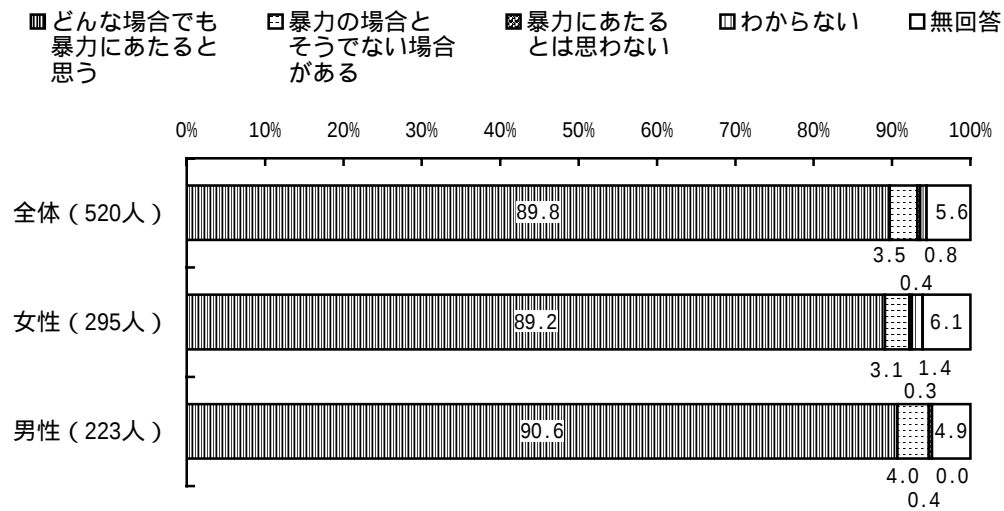
■ ドメスティック・バイオレンスだと思う行為

問18 最近、夫婦や恋人間における暴力に対する関心が高まっています。あなたは、次のようなことが夫婦（パートナー、恋人も含みます）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。[各項目ごとに1つずつ○]

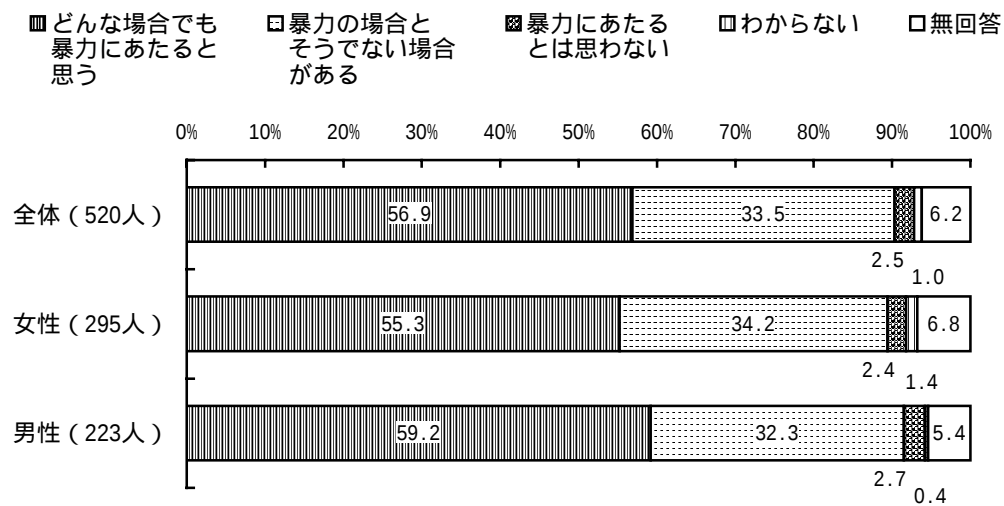
ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る



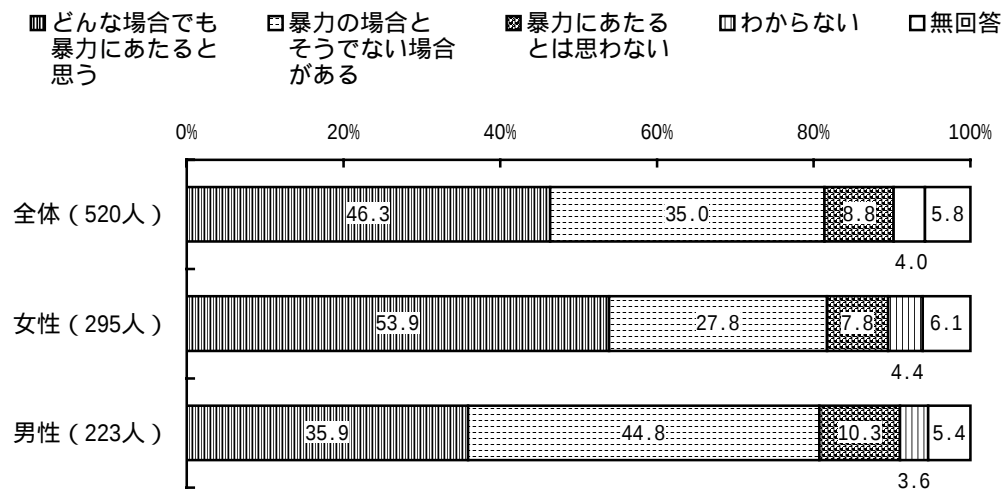
イ) 刃物などを突きつけて、おどす



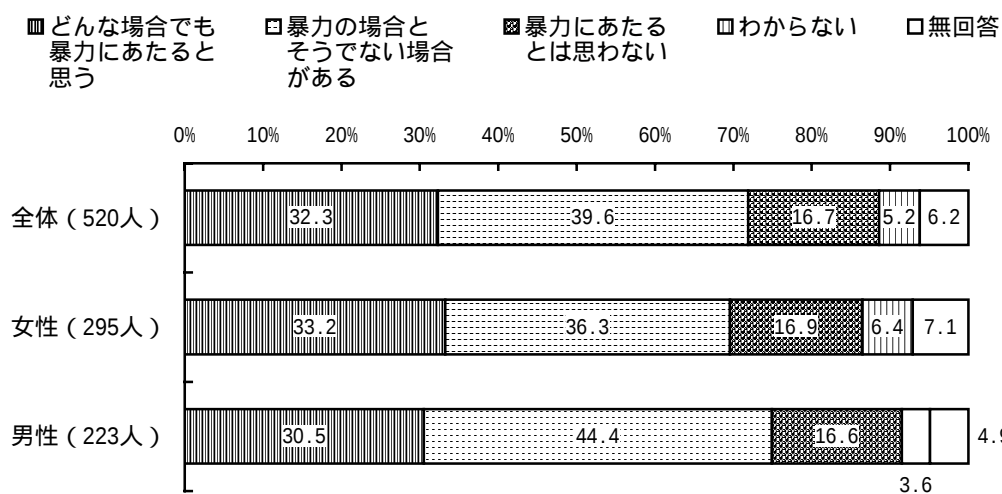
ウ) 平手で打つ



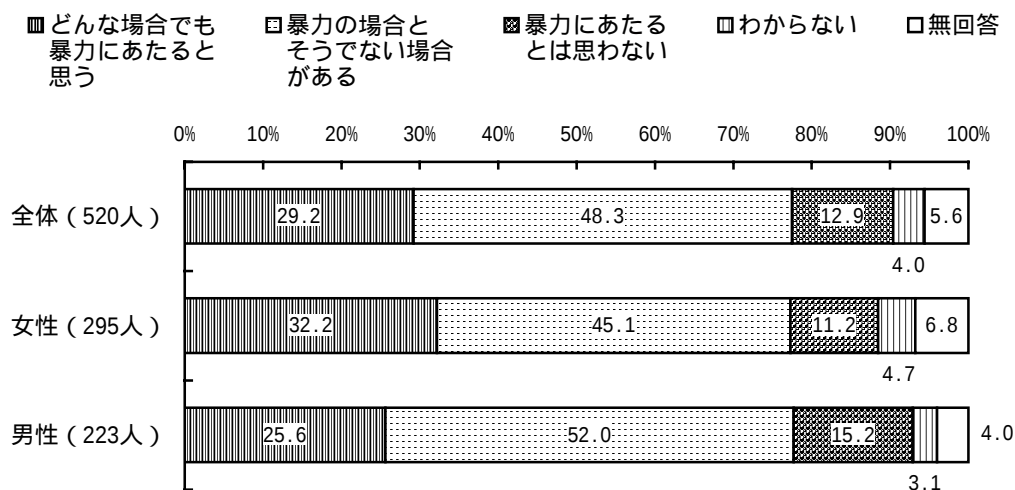
エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という



オ) 何を言っても長時間無視し続ける



カ) 大声でどなる



7 政治や政策への参加について

7-1 政治への関心（問19）

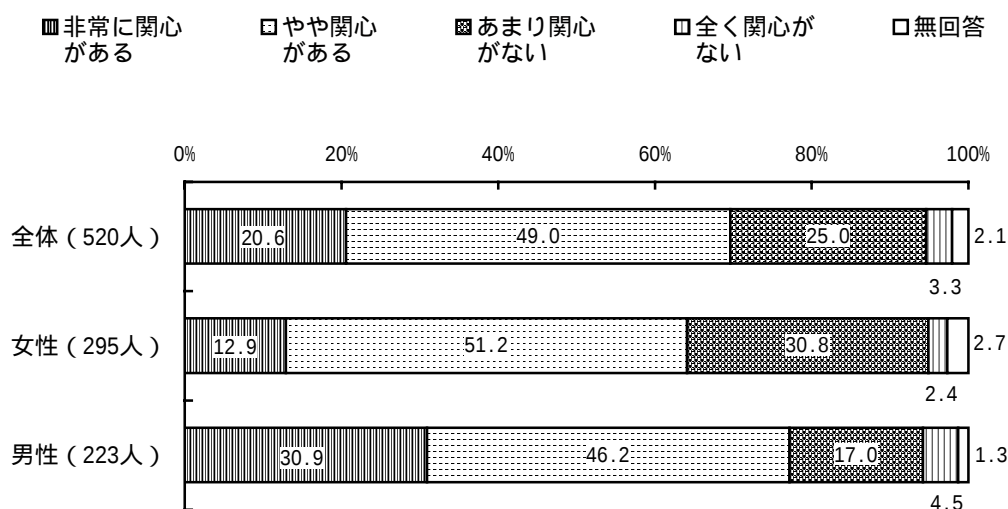
“ 関心がある ” 人が約 7 割。

政治についてどの程度関心を持っているかをたずねたところ、「非常に関心がある」が20.6%、「やや関心がある」が49.0%となっており、これらを合わせると、約7割が関心があるとしています。一方、「あまり関心がない」は25.0%、「全く関心がない」は3.3%で、約3割が関心がないとしています。

これらを性別にみると、男性では「非常に関心がある」が30.9%であるのに対して、女性では12.9%にとどまり、反対に、女性では「あまり関心がない」が30.8%であるのに対して、男性では17.0%となっており、男性のほうが関心が高いという結果となっています。

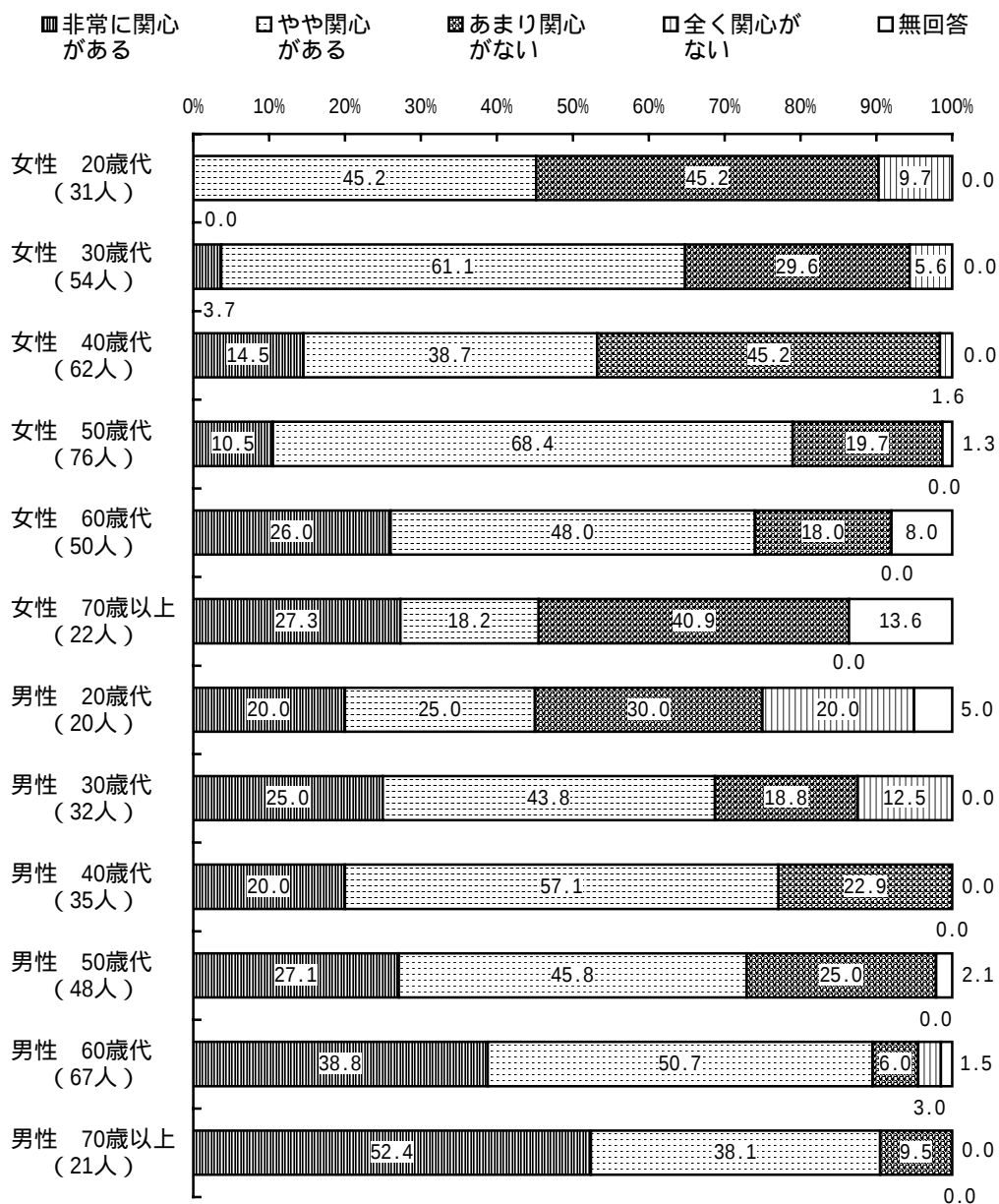
■ 政治への関心

問19 あなたは、政治についてどの程度関心を持っていますか。[1 つに○]



性・年齢別にみると、男女ともに20歳代では関心派が半数を下回り、女性の20歳代では「非常に関心がある」が0.0%、男性の20歳代では「全く関心がない」が20.0%で、傾向に違いがあるものの、特に関心が低い年代となっています。また、女性では30歳代から60歳代にかけて関心派が多くなっていますが、70歳以上では半数以下となっています。一方、男性では30歳代以上で関心派が多く、70歳以上では「非常に関心がある」が52.4%であるなど、関心度は強くなっています。

■ 性・年齢別でみた政治への関心



7-2 町政における女性の意見の反映度（問20）

“わからない”が37.1%。

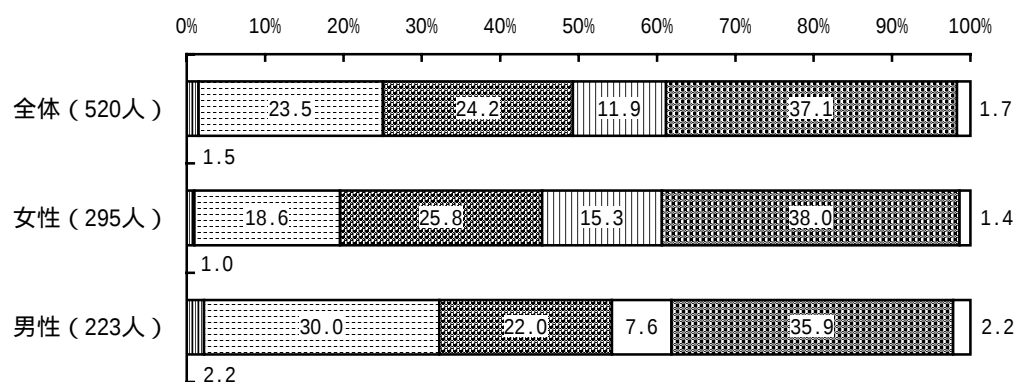
町の政策において女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思うかをたずねたところ、「わからない」が37.1%で最も多くなっています。「十分反映されている」が1.5%、「ある程度反映されている」が23.5%となっており、これらを合わせると、反映されていると思う人は約2割となっています。一方、「あまり反映されていない」は24.2%、「ほとんど反映されていない」は11.9%で、反映されていないと思う人は約4割となっています。

これを性別にみると、女性では、反映されていると思う人が約2割にとどまり、反映されていないと思う人が約4割を占めています。一方、男性では、反映されていると思う人が3割以上あり、反映されていないと思う人の割合をわずかに上回っています。

■ 町政における女性の意見の反映度

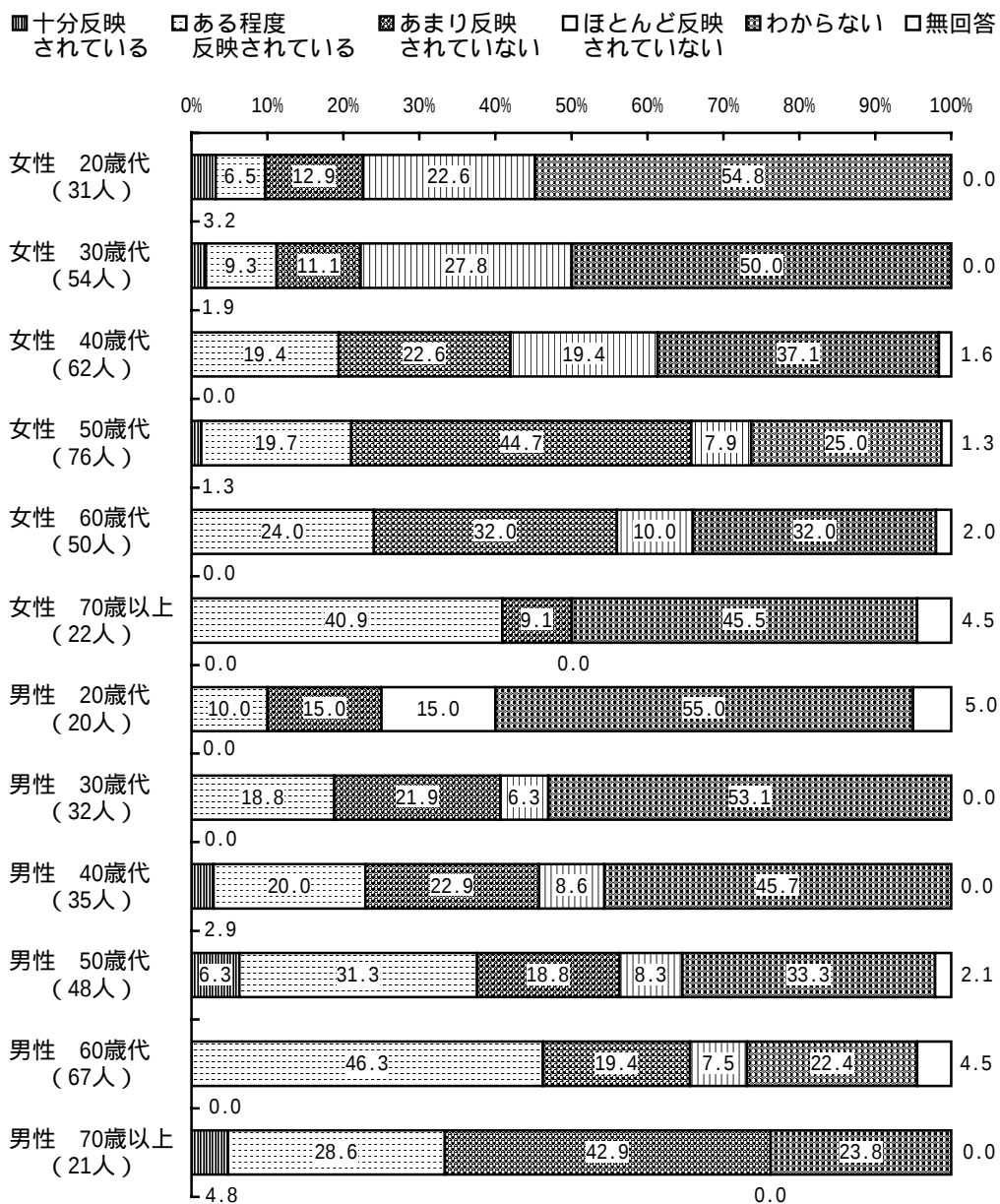
問20 あなたは、町の政策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。[1 つに○]

■ 十分反映 されている □ ある程度 反映されている ■ あまり反映 されていない □ ほとんど反映 されていない ■ わからない □ 無回答



性・年齢別にみると、男女ともに20歳代と30歳代では「わからない」が過半数となっているほか、女性の20歳代と30歳代では「ほとんど反映されていない」が2割台を占めて、他の層より多くなっています。また、男女とも年代が上がるのにしたがって、反映されていると思う人の割合は多くなる傾向がみられ、女性の70歳以上では「ある程度反映されている」が40.9%となっています。しかし、男性の70歳以上では「ある程度反映されている」は28.6%にとどまり、「あまり反映されていない」が42.9%と多く、同じ年代でも意識の違いがみられます。

■ 性・年齢別でみた町政における女性の意見の反映度



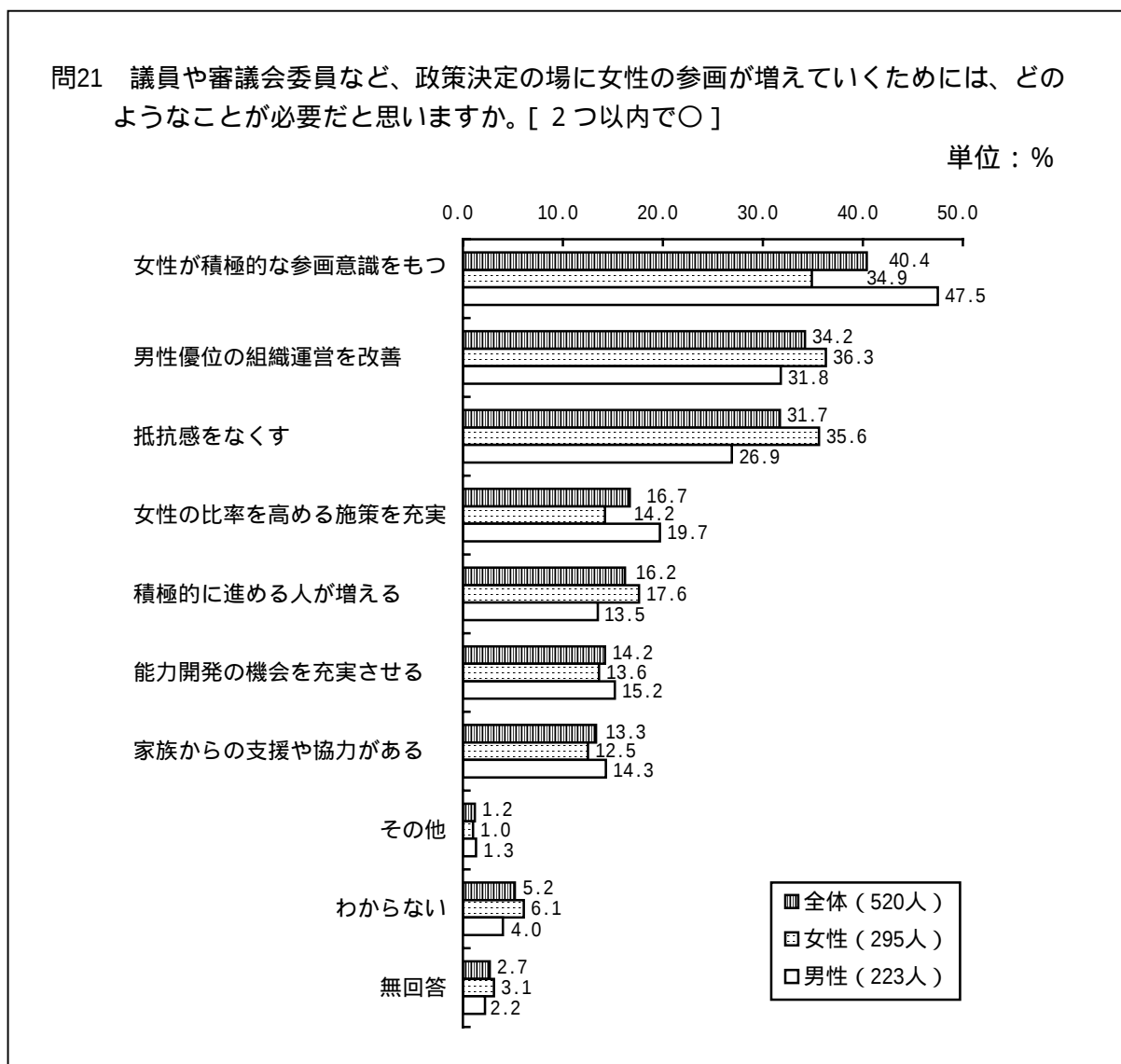
7-3 女性の参画促進のために必要なこと（問21）

“女性が積極的な参画意識をもつ”が40.4%。

議員や審議会委員など、政策決定の場に女性の参画が増えていくために必要なことについてたずねたところ、「女性が積極的な参画意識をもつ」が40.4%で最も多くなっています。次いで、「男性優位の組織運営を改善」が34.2%、「抵抗感をなくす」が31.7%となっています。

これを性別にみると、男性では「女性が積極的な参画意識をもつ」が47.5%と多く、女性の割合より約13ポイント多くなっています。一方、女性では、「男性優位の組織運営を改善」が36.3%で最も多く、次いで「抵抗感をなくす」が35.6%となっています。

■ 女性の参画促進のために必要なこと（複数回答）



8 男女の地位の平等について

8-1 各分野における男女の平等（問22）

全体として男性優遇と思う人が多い。

男女の地位が平等になっているかについて8分野にわけてたずねました。その結果、「平等になっている」という割合が比較的多かったのは『学校教育の場で』であり、56.2%となっています。その他の分野では、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば、男性が優遇」を合わせた男性優遇の割合が多くなっています。

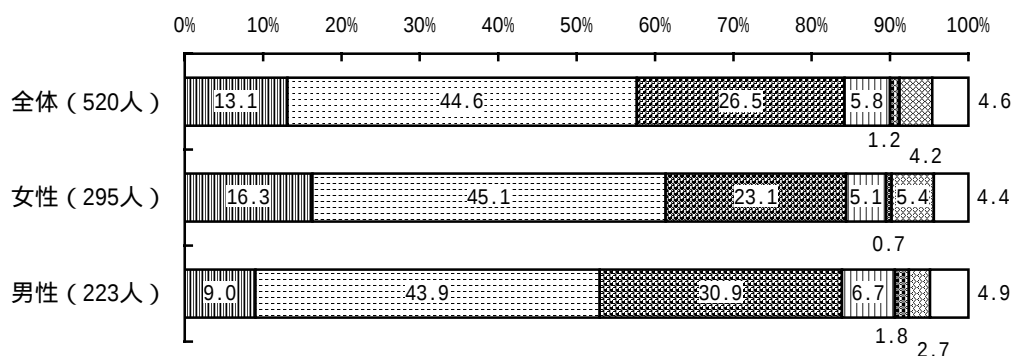
性別にみると、全ての分野で、「平等になっている」の割合は男性のほうが多くなっており、反対に、男性優遇の割合は女性のほうが多くなっています。女性では、男性が優遇されているという意識が強いことがうかがえます。

■ 各分野における男女の平等

問22 次のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。[各項目ごとに1つずつ○]

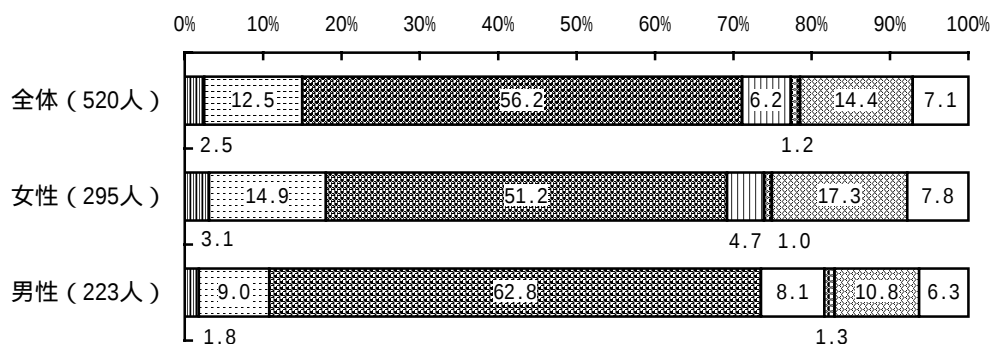
ア) 家庭生活上で

■ 男性が優遇されている □ どちらかといえば、男性が優遇 ■ 平等になっている □ どちらかといえば、女性が優遇 ■ 女性が優遇されている ■ わからない □ 無回答

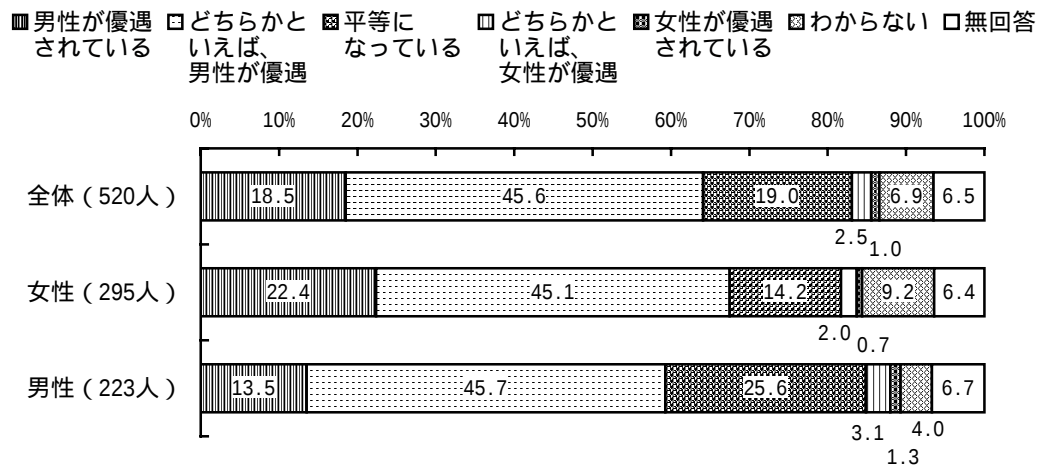


イ) 学校教育の場で

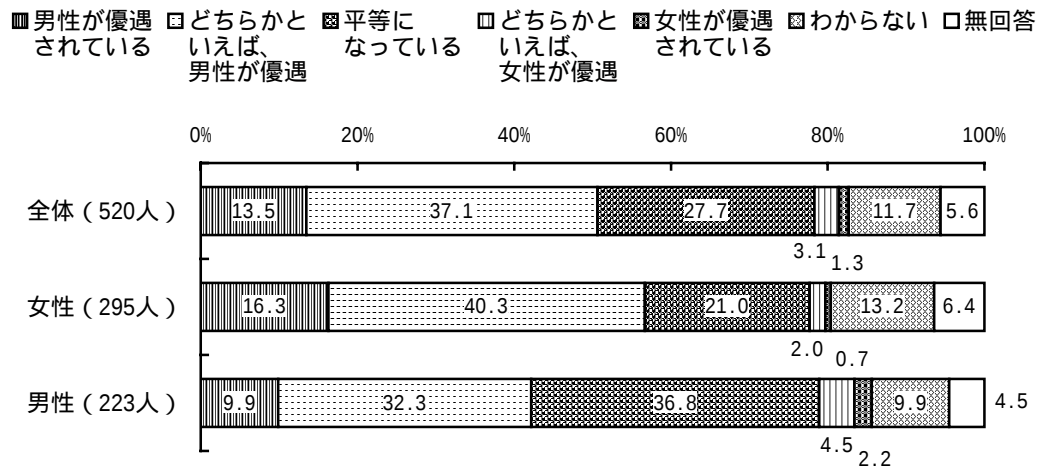
■ 男性が優遇されている □ どちらかといえば、男性が優遇 ■ 平等になっている □ どちらかといえば、女性が優遇 ■ 女性が優遇されている ■ わからない □ 無回答



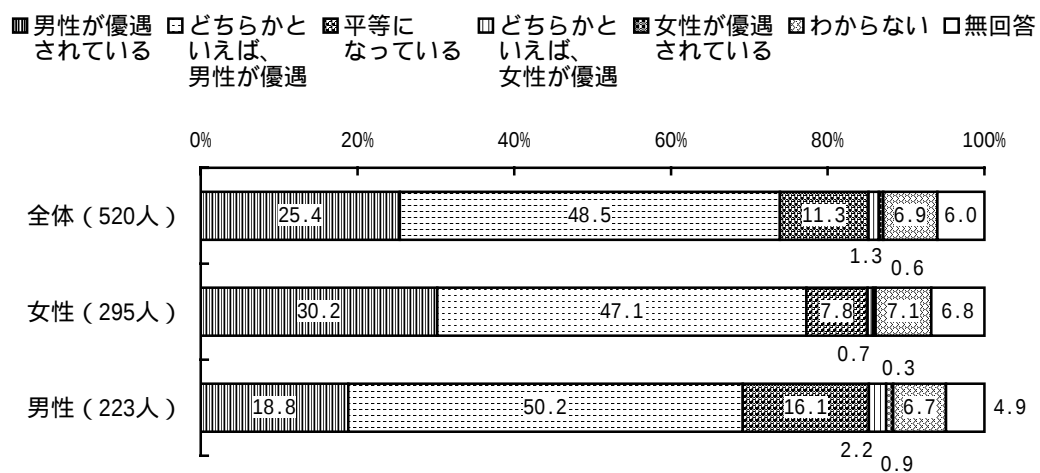
ウ) 職場で



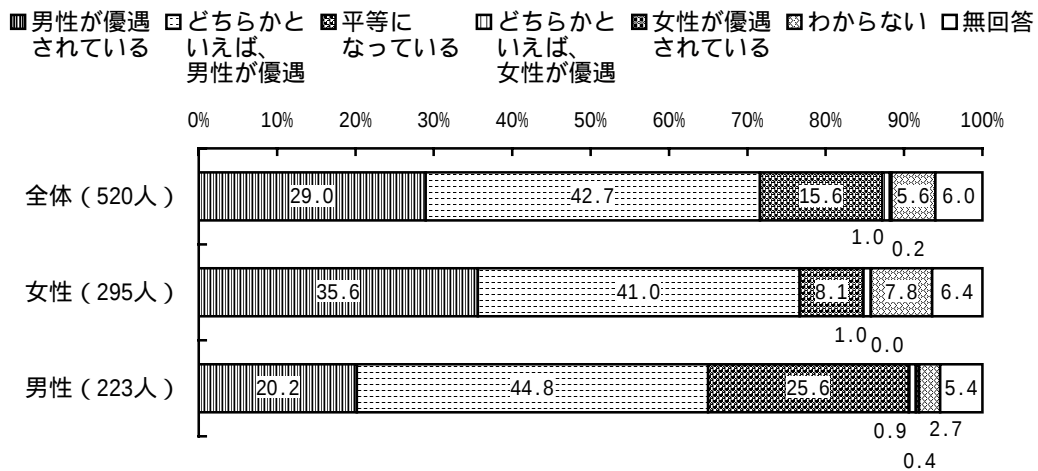
エ) 自治会等の地域社会で



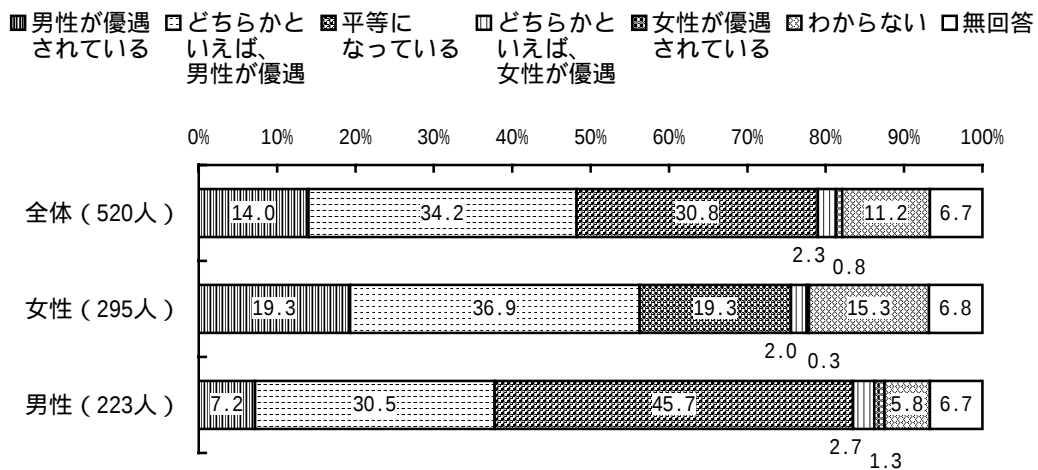
オ) 社会通念・慣習・しきたりなどで



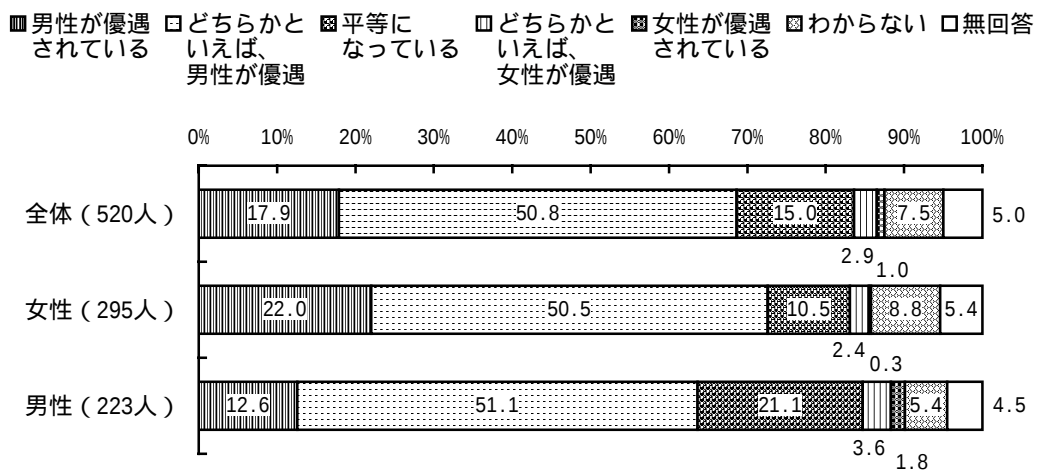
カ) 政治の場で



キ) 法律や制度の上で



ク) 社会全体の中で



9 町政への要望について

9-1 男女共同参画を進めるために必要なこと（問23）

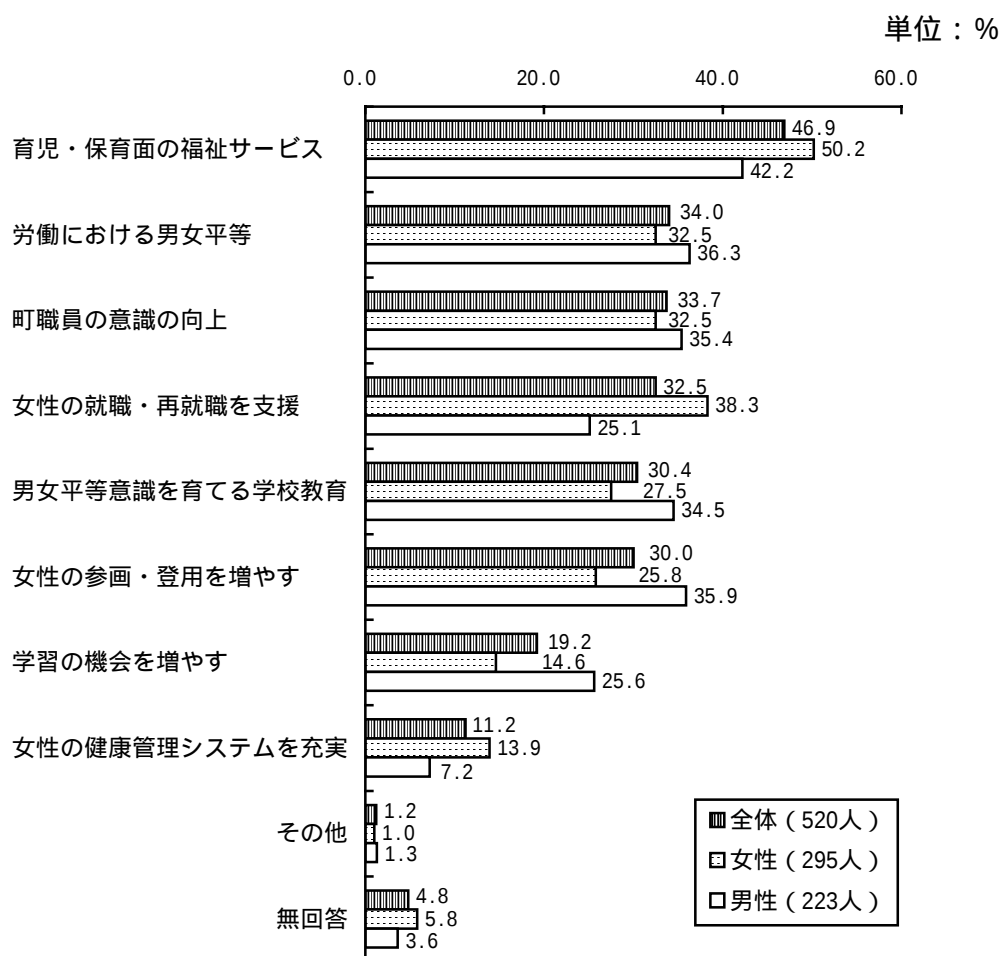
“ 育児・保育面での福祉サービス ” が46.9%。

男女共同参画を進めるために町に力を入れてほしいと思うものをたずねたところ、「育児・保育面での福祉サービス」が46.9%で最も多くなっています。次いで、「労働における男女平等」が34.0%、「町職員の意識の向上」が33.7%となっています。

これを性別にみると、「女性の就職・再就職を支援」については、女性では38.3%となっており、男性の割合より約13ポイント多くなっています。また、「女性の参画・登用を増やす」や「学習の機会を増やす」については、女性より男性のほうが約10ポイント多くなっています。

■ 男女共同参画を進めるために必要なこと（複数回答）

問23 男女共同参画を進めるために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。
[3つ以内で○]



Ⅳ 調査結果のまとめ

今回の調査結果を、以下の5項目についてまとめました。

(1) 男女の役割分担と家庭生活について

仕事と家庭の分担には、理想と現実ギャップがみられる。

男女の役割に対する考え方については(問1) 女性では「男女ともに、仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」という《男女共同型》が最も多くなっていますが、実際の役割分担の状況をみると(問2) 「夫婦ともに仕事をもち、家庭のことは妻が責任をもつ」が最も多くなっています。さらに、《男女共同型》とした人のなかで、実際も「夫婦ともに、仕事、家庭を分担」しているという人は約4割で、「夫婦ともに仕事、家庭は妻」という人も約3割を占めています。「男女ともに仕事・家庭」が理想であるのに対して、現実には「家庭のことは妻に」という分担が多く、理想と現実のギャップがあることがわかります。

家庭での負担が大きい女性。役割分担にも不満がある。

現在の夫婦の役割分担に満足感を得ている人は(問3) 男性では約8割ですが、女性では約6割にとどまっており、女性の方が満足度が低いといえます。また、実際に『夫婦ともに仕事、家庭のことは妻』という分担になっている人では、役割分担に不満を感じている人が約4割を占めて多くなっています。

女性が仕事を続けるうえで障害になっていることについても(問11) 「家事等との両立がむずかしい」という女性が約7割おり、女性が仕事をしていく上で、家事や育児・介護などの負担が大きく、このような役割分担の状況に対して満足していない女性が多いことがうかがえます。

現状では介護の主な担い手は女性。でも「男性も担うべき」と考える男性も多い。

介護経験についてみると(問5) 女性は年代が上がるのに従って介護経験がある人が多くなり、特に70歳以上の女性では約6割が《中心となって介護をしたことがある》という経験をもっています。このように主な担い手が女性となっている現状に対して(問6) 男性の中にも「男性も介護を担うべき」が約4割、「現実的にやむを得ない」が約6割を占めています。『女性だけでなく男性も介護を担うべき』という意識が男性自身にも高まっており、高齢化の進行により、介護の問題が男性にも身近な問題として実感されるようになったことがうかがえます。

家庭での協力体制を見直して、もっと男性の家庭参画を進める方策が必要。

このように家事・育児・介護などの負担が女性に重くのしかかっている現状から、男性も家庭におけるかかわり方や働き方を見直し、ともに家事・育児・介護を行って、家庭での共同参画を進めることが求められています。家庭における男性の参画をもっと進めるために必要なことについては（問４）男女ともに「夫婦間での話し合い、協力」が最も多くなっています。続いて女性では「社会通念、しきたりを改める」が多く、男性ではその他に「労働時間短縮等の普及」が多くなっています。男性の働き方や労働条件の見直しを促進するとともに、男性が家庭参画することに対する周囲の理解、意識の改革が必要となっています。

（２）子育てや教育について

男性のほうが“男らしさ、女らしさ”にこだわる傾向がある。

回答者自身が、“男らしく、女らしく”と育てられたかについては（問７）男性のほうが「男らしく、女らしくと育てられた」という回答が多くなっています。

さらに、自分の子どもの育て方についてみると（問８）男性では「男らしく、女らしく育てたい」という回答が多く、女性は「どちらかといえば男らしく、女らしく」または「どちらかといえば、とらわれずに」という中間的な回答が多くなっています。男性の方が「男らしさ、女らしさ」を求める傾向が強いようです。

固定的な性別役割に縛られず、子どもの可能性が発揮できる環境づくりが必要。

学校教育の中で力を入れてほしいと思うものについては（問９）、女性では「暮らしに必要な知識や実技を学ぶ」が最も多く、男性では「働くことなどを学ぶ職業教育」が最も多くなっています。性別により要望の度合いは違いますが、生活面や家庭運営とともに働くことに関する教育への期待が大きくなっています。また、女性では、「心と体を大切にする男女の性のあり方」についても学んでほしいという声も比較的多くなっています。

次代を担っていく子どもたちが、固定的な性別役割に縛られることなく、個人の可能性を発揮でき、個性が尊重されるよう、学校や地域、家庭など子どもを取りまく環境が一体となって取り組んでいくことが重要です。

(3) 就労について

職場では依然として男女格差が残っている。能力を十分発揮でき、働きやすい環境に。

事業所における女性の就労環境についてみると(問13-1) 募集や採用に関しての男女格差は少なくなりつつあるものの、女性は昇進・昇格が遅い、賃金が低い、研修等の機会が少ない、お茶くみなどの雑用が多いなどの実態が、依然として3割以上の事業所で存在することが明らかになっています。職場においても固定的な性別役割分担が存在し、女性は雑用などの補助的作業を担うという状況が根強く残っている現状がみられます。

このような意識や習慣、しぐみを改善し、女性が能力を十分発揮できる就労環境づくりが求められますが、それに伴う教育や研修機会を拡充するなど、事業所に対する啓発などにより環境整備を促進することが必要です。

働く場の確保と保育サービスの充実が必要。

再就職しようとしている女性に対する必要な援助や対策については(問12)「退職しても同一企業に復帰できる」や「働く場を多くする」など、働く場の確保に関するものが上位にあがっています。その次に、「保育サービスを充実する」が多くなっています。

女性が職業をもつことについては(問10)「子どもが大きくなったら再び仕事をもつ」という《中断再就職型》を支持する人が最も多くなっていますが、女性では「結婚や出産後も仕事を続ける方がよい」とする人も25.1%います。これを実現するためには、「働く場」と子どもがいても安心して働ける「保育サービス」が必要であるという意識がうかがえます。

(4) 人権について

暴力に対する認識をはじめとして、人権意識をより高めていくことが必要。

「夫が妻に暴力をふるうこと」については、男女ともに4割以上が、女性の人権が尊重されていないこととしています(問16)。また、夫婦や恋人間でどのような場合を暴力と思うか(ドメスティック・バイオレンス)については(問18)「殴る」や「刃物などでおどす」などの身体的なものについては、暴力であるという認識が高くなっています。しかし、「無視する」や「大声でどなる」などの、言葉の暴力や精神的苦痛を与えるものについては、暴力であるという認識は低くなっています。

平成13年には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」が成立するなど、人権に関する法の整備が進んでいます。

しかし、言葉や精神的な暴力に対する認識が低いことなどからみても、人権に対する

認識が、住民に十分浸透しているとはいえない状況となっています。人権問題が、家庭や職場、地域などの身近な問題であるという視点から、これら法律の周知を図りつつ、男性と女性がお互いを尊重しあうという人権意識をより高めていくことが必要です。

女性を暴力から守るためには、住民と行政が連携した取り組みが必要。

女性に対する暴力をなくすためには（問17）「犯罪の取り締まりを強化する」、「過激な内容のソフト等の販売や貸し出しを制限」、「相談所や保護施設を整備」といった項目で、要望が高くなっています。暴力を防止するとともに、女性が安心して被害の訴えができるような体制づくりのため、国や県に対して要望していくことや関係機関との連携を強化するなど、住民活動と連携した行政の取り組みが必要となっています。

（５）地域活動とまちづくりについて

男性は「地域やまちづくりに関するもの」に関心が高い。

今後新たに参加したい地域活動については（問15）男女とも「趣味などのサークル・団体活動」が最も多くなっています。しかし、男性では、そのほかに「地域団体の活動」、「まちづくりなどに関する活動」なども多くなっており、女性の割合を大きく上回っています。男性では、趣味やスポーツだけでなく、地域やまちづくりに対しても関心が高いことがうかがえます。

女性は、政治や地域・まちづくりに対する参画が低いだけでなく、関心も低い。

政治に対する関心度についてみると（問19）女性は関心の度合いは低く、男性の方が関心が高くなっています。

また、地域活動の参加状況については（問14）男性では参加しているという人が約６割を占めており、女性の割合のほうが少ないです。また、参加している（または参加していた）地域活動の内容については（問14-1）男性では「地域団体の活動」が約８割と多くなっています。

女性は男性より、政治や地域・まちづくりに対する関心が低い傾向があり、地域やまちづくりにおける実際の女性の参画状況も男性より低くなっていることがわかります。

男性優位の実態が、職場や慣習・しきたり、政治に根強く残っている。

『職場』や『慣習・しきたり』、『政治』という分野は、「男性が優遇されている」という回答が多かった分野です（問22）。また、『家庭』や『学校教育』、『地域社会』、『法律や制度』、『社会全体』なども含めて全ての分野で、「平等」という割合は男性のほうが多く、反対に、男性優遇の割合は女性のほうが多くなっています。女性では、男性が優遇されているという意識が強いことがうかがえます。

さらに、女性が政策・方針決定の場へ参画するために必要なこと（問21）では、女性では「男性優位の組織運営を改善」が最も多く、一方男性では「女性が積極的な参画意識をもつ」が最も多くなっています。このようなことから、男性優位の状況や女性の参画意欲が低いことなどが存在していることがわかります。

まちづくりに対する女性自身の意識の高揚と、参画しやすいしくみづくりが必要。

安心して住み、いきいきとした生活を送れるまちを形成していくためには、女性も地域やまちづくりの担い手として活躍していくことが大いに期待されています。そのためには、身近な活動はもとより、政策・方針決定の場への女性の参画を促進する必要があります。女性も担い手としてまちづくりに参画していくという積極的な意識の高揚を図るとともに、より共同参画しやすいしくみへと変革していくことも重要となっています。

(裏白)

Ⅱ 単純集計結果

単位：％

はじめに、家庭生活などについておうかがいします。

問１ 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。〔１つに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
１．男は仕事をもち、女は家庭のことをするのがよい	16.3	13.6	19.7
２．男女ともに仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい	7.5	6.4	9.0
３．男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい	47.5	52.5	41.3
４．男女の役割は固定せずに、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい	24.6	23.1	26.5
５．その他	1.9	1.4	2.7
６．わからない	0.8	1.0	0.4
無回答	1.3	2.0	0.4

【問２と問３は、配偶者のいらっしゃる方におうかがいします。それ以外の方は、問４へお進みください。】

問２ あなたの家庭において、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。最も近いものを選んでください。〔１つに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝396、女性＝228、男性＝168

	全体	女性	男性
１．夫は仕事をもち、妻は家庭のことをしている	27.8	28.1	27.4
２．夫婦ともに仕事をもち、家庭のことは妻が責任をもっている	26.8	33.3	17.9
３．夫婦ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担している	25.5	20.6	32.1
４．夫と妻の役割は固定せずに、どちらかが仕事をしたり家庭にいるようにしている	9.8	6.6	14.3
５．その他	6.1	5.7	6.5
無回答	4.0	5.7	1.8

問3 問2のようなご夫婦の役割分担について満足されていますか。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝396、女性＝228、男性＝168

	全体	女性	男性
1. 満足	25.8	17.5	36.9
2. どちらかという満足	43.9	43.4	44.6
3. どちらかという不満	15.7	22.8	6.0
4. 不満	3.0	4.8	0.6
5. わからない	6.6	5.7	7.7
無回答	5.1	5.7	4.2

問4 男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 夫婦の間で家事などの分担について、十分話し合い、協力しあうこと	58.5	63.1	52.5
2. 男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	32.1	34.2	28.7
3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること	24.0	20.7	28.7
4. 家事、子育てや介護に必要な知識を学べる機会を充実すること	16.2	15.3	17.5
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	20.8	23.1	17.9
6. 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	7.7	5.8	10.3
7. その他	2.1	2.0	1.8
8. 男性の参加は必要ない	0.2	0.3	0.0
9. わからない	2.5	2.7	2.2
無回答	2.9	3.1	2.7

介護や老後のことなどについておうかがいします。

問5 あなたは、ご家族を介護したことがありますか（現在していますか）。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 自分が中心となって介護したことがある（している）	15.2	21.7	6.7
2. 自分が補助的に介護したことがある（している）	23.1	19.0	28.7
3. 介護したことはない	61.0	58.3	64.1
無回答	0.8	1.0	0.4

問6 病人や高齢者などの介護は、女性（母、妻、息子の妻、娘など）が主な担い手となっているケースが多いのが現状です。あなたはこれについてどう思いますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 当然だと思う	3.7	4.7	2.2
2. 問題はあるが、現実的にはやむを得ないと思う	51.5	46.1	58.3
3. 男性も担うべきだと思う	40.8	45.1	35.4
4. わからない	3.5	3.1	4.0
無回答	0.6	1.0	0.0

子育てや教育などについておうかがいします。

問7 子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなた自身はどう育てられましたか。最も近いものを選んでください。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	17.1	12.9	22.4
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	41.3	41.4	41.3
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに	27.9	33.2	21.1
4. 全く性別にとらわれずに	8.7	8.1	9.4
5. わからない	1.9	1.4	2.7
無回答	3.1	3.1	3.1

問8 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。（子どもがいない場合には、いると仮定してお考えください。）[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	20.2	13.6	28.7
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	34.6	33.9	35.9
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに	32.3	37.6	25.1
4. 全く性別にとらわれずに	9.0	10.2	7.6
5. わからない	1.2	1.4	0.9
無回答	2.7	3.4	1.8

問9 男女が対等な関係で、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[2 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1 . 技術・家庭科などを通じて、男女ともに、暮らしに必要な知識や実技を学ぶこと	45.2	49.2	39.5
2 . 性教育などを通じて、心と体を大切にする男女の性のあり方について学ぶこと	16.7	21.0	10.8
3 . 働くことの意味や働き方などについて学ぶ職業教育をすること	43.5	42.0	45.7
4 . クラブ活動などを通じて、男女ともに豊かな人間関係を育てる教育をすること	36.2	34.9	37.7
5 . 歴史や文学などを通じて男女の関係のあり方を学ぶこと	4.6	2.4	7.6
6 . 男女の性別役割分担を是正するために教科書等を見直すこと	5.2	6.1	4.0
7 . クラス委員や係活動など日常の学校生活を通じて男女平等意識を身につけること	16.3	15.9	17.0
8 . その他	3.7	2.0	5.8
9 . 特にない	1.5	1.4	1.8
無回答	1.7	1.7	1.8

就労についておうかがいします。

問10 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1 つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1 . 結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける方がよい	21.7	25.1	17.5
2 . 結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムに切り替えるなど、負担を軽くする方がよい	23.1	21.7	25.1
3 . 子どもが生まれたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい	34.4	35.6	33.2
4 . 子どもが生まれたら仕事をやめた方がよい	2.1	1.7	2.7
5 . 結婚したら仕事をやめた方がよい	1.9	1.7	2.2
6 . 女性は仕事を持つことにこだわらなくてよい	11.3	10.2	12.1
7 . 女性は仕事を持たない方がよい	0.2	0.3	0.0
8 . わからない	3.1	2.0	4.5
無回答	2.1	1.7	2.7

問11 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思いますか。〔2つ以内で○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 家事や育児、介護との両立がむずかしいこと	65.6	67.1	63.7
2. 家族の理解や協力が得られないこと	16.5	19.3	13.0
3. 育児や介護について、職場の理解や協力が得られないこと	26.0	24.1	27.8
4. 職場に、結婚・出産時は退職するという慣習があること	7.1	7.1	7.2
5. 育児・介護休暇などが取りにくいこと	22.3	24.7	19.3
6. 昇給、昇格に男女格差があること	8.7	10.5	6.3
7. 補助的な仕事しか与えられないなど仕事内容に魅力がないこと	3.3	1.7	5.4
8. 長く勤めていると、同僚や上司から圧力がかかること	3.3	4.1	2.2
9. 女性自身の就業に対する自覚が不足していること	8.3	6.1	11.2
10. その他	1.7	1.4	2.2
11. 障害となっていることはない	0.4	0.7	0.0
12. わからない	2.5	2.0	3.1
無回答	2.1	1.7	2.7

問12 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。〔2つ以内で○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 出産・育児・介護などで退職しても同一企業に復帰できるようにする	41.9	40.3	44.4
2. 就職に関する相談体制を充実する	11.9	11.2	13.0
3. 求人情報を入手しやすくする	7.5	8.8	5.8
4. 多様な職種や年齢制限の緩和など働く場を多くする	38.8	40.0	37.7
5. パート・アルバイト等の労働条件を向上させる	26.9	25.8	28.7
6. 技術や技能・ビジネスマナーの学習の機会を多くする	3.7	2.7	4.9
7. 保育時間の拡大や0歳児からの受け入れなど保育サービスを充実する	30.2	31.9	27.4
8. 介護・看護の支援体制を充実する	13.5	15.9	9.9
9. その他	1.0	0.3	1.8
10. 特にない	0.6	0.7	0.4
11. わからない	1.5	0.7	2.7
無回答	2.1	2.7	1.3

問13 あなたは現在、会社や団体等に勤務していますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 勤務している	47.7	44.1	52.0
2. 勤務していない 問14へお進みください	44.8	48.1	40.8
無回答	7.5	7.8	7.2

問13 - 1 【問13で1を選んだ方におうかがいします。】

あなたが勤務している事業所で次のようなことはありますか。[各項目ごとに1つずつ○]

回答者総数（人）→ 全体＝248、女性＝130、男性＝116

項 目		あ る	な い	わから ない	無回答
ア) 女性は募集・採用で不利なことがある	全体	22.2	58.5	17.7	1.6
	女性	20.8	60.0	16.9	2.3
	男性	23.3	56.9	19.0	0.9
イ) 女性は配置されない部署がある	全体	31.9	51.2	14.1	2.8
	女性	24.6	54.6	16.9	3.8
	男性	39.7	47.4	11.2	1.7
ウ) 女性は昇進・昇格が遅い(望めない)	全体	37.5	37.5	23.0	2.0
	女性	43.8	31.5	22.3	2.3
	男性	30.2	44.0	24.1	1.7
エ) 女性は同期や同年齢の男性より賃金が低い	全体	34.3	37.9	25.4	2.4
	女性	39.2	33.1	24.6	3.1
	男性	27.6	44.0	26.7	1.7
オ) 女性は研修・出張の機会が少ない	全体	32.7	44.4	20.6	2.4
	女性	32.3	43.8	21.5	2.3
	男性	31.9	45.7	19.8	2.6
カ) 女性はお茶くみなどの雑用が多い	全体	35.5	50.8	12.1	1.6
	女性	41.5	45.4	11.5	1.5
	男性	28.4	56.9	12.9	1.7

地域活動についておうかがいします。

問14 あなたは、地域活動に参加していますか。(または、参加したことがありますか。)[1 つに○]

回答者総数(人) → 全体=520、女性=295、男性=223

	全体	女性	男性
1. 参加している(したことがある)	57.7	54.9	61.0
2. 参加していない	39.2	42.0	35.9
無回答	3.1	3.1	3.1

▶ 問14 - 1 【問14で1を選んだ方におうかがいします。】

どのような地域活動に参加していますか(参加していましたか)。

[あてはまるものすべてに○]

回答者総数(人) → 全体=300、女性=162、男性=132

	全体	女性	男性
1. 自治会(町内会)などの地域団体の活動	75.0	69.1	82.4
2. 障害者や高齢者などへのボランティア活動	11.7	13.0	9.6
3. まちづくりなどに関する活動	8.0	4.3	12.5
4. PTA役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	41.0	46.9	33.8
5. 子育てサークルなど子どもを通じた活動	5.7	9.9	0.7
6. リサイクルなどの環境保全のための活動	16.3	19.1	13.2
7. 消費生活に関する活動	2.0	1.9	2.2
8. 防犯や防災に関する活動	10.3	4.9	16.9
9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動	24.3	25.3	23.5
10. スポーツ活動	19.3	14.2	25.7
11. 地域での外国人との交流・ボランティア活動	1.3	0.6	2.2
12. その他	1.0	1.9	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0

▶ 問14 - 2 【問14で2を選んだ方におうかがいします。】

あなたが地域活動に参加しないのはどのような理由からですか。[2つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体=204、女性=124、男性= 80

	全体	女性	男性
1. 家事・育児が忙しい	7.4	10.5	2.5
2. 介護や看護で忙しい	2.0	3.2	0.0
3. 仕事が忙しい	30.9	28.2	35.0
4. 家族が反対する	0.5	0.8	0.0
5. 人間関係がわずらわしい	12.7	12.9	12.5
6. 身体が丈夫でない	6.9	10.5	1.3
7. 身近に機会がない	33.3	31.5	36.3
8. 自分に適した活動が見つからない	11.8	13.7	8.8
9. どのように参加してよいのかわからない	25.5	25.0	26.3
10. あまり関心がない	15.7	12.9	20.0
11. その他	3.9	4.0	3.8
無回答	4.4	2.4	7.5

問15 あなたは、今後新たに、どのような地域活動に参加したいと思いますか。

[あてはまるものすべてに○]

回答者総数（人）→ 全体=520、女性=295、男性=223

	全体	女性	男性
1. 自治会（町内会）などの地域団体の活動	27.1	22.0	34.1
2. 障害者や高齢者などへのボランティア活動	15.8	17.3	13.9
3. まちづくりなどに関する活動	15.6	9.8	23.3
4. P T A役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	4.2	4.1	4.5
5. 子育てサークルなど子どもを通じた活動	7.7	10.8	3.6
6. リサイクルなどの環境保全のための活動	17.7	17.3	17.9
7. 消費生活に関する活動	5.2	6.4	3.1
8. 防犯や防災に関する活動	13.7	7.8	21.1
9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動	39.4	42.4	35.4
10. スポーツ活動	18.3	12.5	26.0
11. 地域での外国人との交流・ボランティア活動	10.4	9.2	12.1
12. その他	1.5	1.4	1.8
13. 参加したいとは思わない	13.8	16.3	10.8
無回答	6.0	5.8	5.8

人権についておうかがいします。

問16 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。

〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 売春・買春・援助交際	34.4	34.2	35.0
2. 夫が妻に暴力をふるうこと（酒に酔って殴る、精神的な苦痛を与えるなど）	45.4	46.4	43.9
3. つきまといなどの女性に対するストーカー行為	26.9	24.4	30.0
4. 女性ということでお茶入れを強要すること	32.1	29.2	35.4
5. 宴会等で女性にお酌やデュエットを強要すること	26.2	25.1	27.4
6. 女性ということで見解が無視されること	34.4	34.2	34.5
7. 女性ということで見進・昇格がさまたげられること	38.8	37.6	40.4
無回答	11.3	9.2	14.3

問17 近年、性犯罪、買売春（援助交際を含む）、家庭内暴力、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）ちかん行為等、女性に対する暴力への関心が高まっています。女性に対する暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる	35.4	34.9	36.3
2. テレビや新聞・雑誌などのメディアが情報の内容に配慮する	42.1	44.1	39.9
3. 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限する	53.3	55.9	50.2
4. 法律・制度・条例の制定や見直しを行う	46.2	46.4	45.3
5. 犯罪の取り締まりを強化する	55.4	53.9	57.4
6. 捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害女性が届けやすいようにする	36.2	37.6	33.6
7. 被害女性を支援し、暴力に反対する住民運動を盛り上げる	18.7	13.2	26.0
8. 被害女性のための相談所や保護施設を整備する	46.9	51.2	41.3
9. その他	2.1	2.0	2.2
10. 特に対策の必要はない	0.6	0.3	0.9
11. わからない	2.3	2.7	1.8
無回答	2.9	3.1	2.7

問18 最近、夫婦や恋人間における暴力に対する関心が高まっています。あなたは、次のようなことが夫婦（パートナー、恋人も含みます）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。
 [各項目ごとに1つずつ○]

回答者総数（人）→ 全体=520、女性=295、男性=223

項 目		暴力にあたると思う どんな場合でも	暴力の場合と そうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	わからない	無回答
ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る	全体	88.3	5.0	0.2	1.0	5.6
	女性	87.8	4.4	0.0	1.4	6.4
	男性	88.8	5.8	0.4	0.4	4.5
イ) 刃物などを突きつけて、おどす	全体	89.8	3.5	0.4	0.8	5.6
	女性	89.2	3.1	0.3	1.4	6.1
	男性	90.6	4.0	0.4	0.0	4.9
ウ) 平手で打つ	全体	56.9	33.5	2.5	1.0	6.2
	女性	55.3	34.2	2.4	1.4	6.8
	男性	59.2	32.3	2.7	0.4	5.4
エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という	全体	46.3	35.0	8.8	4.0	5.8
	女性	53.9	27.8	7.8	4.4	6.1
	男性	35.9	44.8	10.3	3.6	5.4
オ) 何を言っても長時間無視し続ける	全体	32.3	39.6	16.7	5.2	6.2
	女性	33.2	36.3	16.9	6.4	7.1
	男性	30.5	44.4	16.6	3.6	4.9
カ) 大声でどなる	全体	29.2	48.3	12.9	4.0	5.6
	女性	32.2	45.1	11.2	4.7	6.8
	男性	25.6	52.0	15.2	3.1	4.0

政治や政策への参加についておうかがいします。

問19 あなたは、政治についてどの程度関心を持っていますか。[1つに○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．非常に関心がある	20.6	12.9	30.9
2．やや関心がある	49.0	51.2	46.2
3．あまり関心がない	25.0	30.8	17.0
4．全く関心がない	3.3	2.4	4.5
無回答	2.1	2.7	1.3

**問20 あなたは、町の政策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
[1つに○]**

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．十分反映されている	1.5	1.0	2.2
2．ある程度反映されている	23.5	18.6	30.0
3．あまり反映されていない	24.2	25.8	22.0
4．ほとんど反映されていない	11.9	15.3	7.6
5．わからない	37.1	38.0	35.9
無回答	1.7	1.4	2.2

問21 議員や審議会委員など、政策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1．男性優位の組織運営を改善すること	34.2	36.3	31.8
2．政策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと	31.7	35.6	26.9
3．女性自身が積極的な参画意識をもつこと	40.4	34.9	47.5
4．女性の能力開発の機会を充実させること	14.2	13.6	15.2
5．女性の参画を積極的に進めようとしている人が増えること	16.2	17.6	13.5
6．政策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること	16.7	14.2	19.7
7．家族からの支援や協力があること	13.3	12.5	14.3
8．その他	1.2	1.0	1.3
9．わからない	5.2	6.1	4.0
無回答	2.7	3.1	2.2

男女の地位の平等感についておうかがいします。

問22 次のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。

〔各項目ごとに1つつ〇〕

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

項 目		男性の方が優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
ア) 家庭生活で	全体	13.1	44.6	26.5	5.8	1.2	4.2	4.6
	女性	16.3	45.1	23.1	5.1	0.7	5.4	4.4
	男性	9.0	43.9	30.9	6.7	1.8	2.7	4.9
イ) 学校教育の場で	全体	2.5	12.5	56.2	6.2	1.2	14.4	7.1
	女性	3.1	14.9	51.2	4.7	1.0	17.3	7.8
	男性	1.8	9.0	62.8	8.1	1.3	10.8	6.3
ウ) 職場で	全体	18.5	45.6	19.0	2.5	1.0	6.9	6.5
	女性	22.4	45.1	14.2	2.0	0.7	9.2	6.4
	男性	13.5	45.7	25.6	3.1	1.3	4.0	6.7
エ) 自治会等の地域社会で	全体	13.5	37.1	27.7	3.1	1.3	11.7	5.6
	女性	16.3	40.3	21.0	2.0	0.7	13.2	6.4
	男性	9.9	32.3	36.8	4.5	2.2	9.9	4.5
オ) 社会通念・慣習・しきたりなどで	全体	25.4	48.5	11.3	1.3	0.6	6.9	6.0
	女性	30.2	47.1	7.8	0.7	0.3	7.1	6.8
	男性	18.8	50.2	16.1	2.2	0.9	6.7	4.9
カ) 政治の場で	全体	29.0	42.7	15.6	1.0	0.2	5.6	6.0
	女性	35.6	41.0	8.1	1.0	0.0	7.8	6.4
	男性	20.2	44.8	25.6	0.9	0.4	2.7	5.4
キ) 法律や制度の上で	全体	14.0	34.2	30.8	2.3	0.8	11.2	6.7
	女性	19.3	36.9	19.3	2.0	0.3	15.3	6.8
	男性	7.2	30.5	45.7	2.7	1.3	5.8	6.7
ク) 社会全体の中で	全体	17.9	50.8	15.0	2.9	1.0	7.5	5.0
	女性	22.0	50.5	10.5	2.4	0.3	8.8	5.4
	男性	12.6	51.1	21.1	3.6	1.8	5.4	4.5

町政への要望についておうかがいします。

問23 男女共同参画を進めるために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[3 つ以内で○]

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 男女平等を進めるための町職員の意識を向上させる	33.7	32.5	35.4
2. 学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる	30.4	27.5	34.5
3. 自己啓発のための学習の機会を増やす	19.2	14.6	25.6
4. 就労機会・労働条件における男女平等を進める	34.0	32.5	36.3
5. 再就職準備講座の開催など、女性の就職・再就職を支援する	32.5	38.3	25.1
6. 検診体制や相談など、女性の健康管理システムを充実させる	11.2	13.9	7.2
7. 産休あけ保育の実施等、育児・保育面の福祉サービスを充実させる	46.9	50.2	42.2
8. 審議会など行政政策、方針決定の場に女性の参画・登用を増やす	30.0	25.8	35.9
9. その他	1.2	1.0	1.3
無回答	4.8	5.8	3.6

最後にあなたご自身のことについておうかがいします。

恐縮ですが、回答を整理するのに必要となりますのでご協力ください。

（１）あなたの性別

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 女	56.7	100.0	0.0
2. 男	42.9	0.0	100.0
無回答	0.4	0.0	0.0

（２）あなたの年齢

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 20歳代	9.8	10.5	9.0
2. 30歳代	16.5	18.3	14.3
3. 40歳代	18.7	21.0	15.7
4. 50歳代	23.8	25.8	21.5
5. 60歳代	22.5	16.9	30.0
6. 70歳以上	8.3	7.5	9.4
無回答	0.4	0.0	0.0

(3) 結婚の状況

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 未婚	16.5	14.6	19.3
2. 既婚（夫婦同居）	76.2	77.3	75.3
3. 既婚（夫婦別居・離別・死別）	6.5	7.8	4.9
無回答	0.8	0.3	0.4

(4) 共働きの状況

回答者総数（人）→ 全体＝520、女性＝295、男性＝223

	全体	女性	男性
1. 夫婦とも働いている	39.0	40.0	38.1
2. 夫だけ、または妻だけ働いている	26.0	28.8	22.4
3. 夫婦とも働いていない	12.5	10.2	15.7
4. 未婚、または配偶者はいない	13.8	12.2	16.1
無回答	8.7	8.8	7.6

質問については以上です。その他、男女共同参画について、ご意見、ご要望、まちづくりのアイデアなどがありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えくださり、ありがとうございました。
ご記入くださった調査票は、同封の返信用封筒に入れて、9月2日（金）までにご投函ください。